

官報

號外

明治三十四年三月十五日

金曜日

印刷局

第十五回 帝國議會 衆議院議事速記録第十二號

明治三十四年三月十四日(木曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十二號 明治三十四年三月十四日

午後一時開議

一 北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

三 明治三十三年勅令第二百九十四號(承諾ヲ求ムル件)(政府送付) 貴族院

四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

五 印紙稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

六 印紙稅法中改正法律案(星松三郎外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

七 社寺上地林處分法案(出水彌太郎外六名提出) 第一讀會

八 存置ヲ要セサル國有林野ノ特賣ニ關スル法律案(佐治外六名提出) 第一讀會

九 霜害地方畑地租免除ニ關スル法律案(菅野善右衛門外五名提出) 第一讀會

十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(栗原亮一外四名提出) 第一讀會

十一 未成年者飲酒禁止法案(根本正外六名提出) 第二讀會

十二 帝國古蹟取調會國庫補助ニ關スル建議案(早川龍介外五名提出) 第一讀會

十三 利根川修築ニ關スル建議案(鈴木鐵左衛門提出) 第一讀會

十四 中等學校教員養成ニ關スル建議案(安藤龜太郎外一名提出) 第一讀會

十五 國費ヲ以テ小學校用教科書ヲ編纂スルノ建議案(星松三郎外一名提出) (委員長報告)

十六 齒科醫養成ニ關スル建議案(山口熊野外四名提出) (委員長報告)

十七 鐵道敷設法改正ニ關スル建議案(石黑瀧一郎外三名提出) (委員長報告)

十八 鐵道線路調查費ニ關スル建議案(重野謙次郎提出) (委員長報告)

十九 史談會國庫補助ニ關スル建議案(根本正外二名提出) (委員長報告)

二十 酒類造石稅納期改正ニ關スル建議案(長坂重孝外四名提出) (委員長報告)

二十一 札幌農學校ヲ大學ト爲スノ建議案(西原清東外十二名提出) (委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案

(追加)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

(第二號)明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案

(特追第二號)明治三十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案

野間五造君提出外交ニ關スル質問及白井哲夫君提出朝鮮國馬山浦ニ關スル質問ニ對シ加藤外務大臣ヨリ左ノ答辯アリ

衆議院議員野間五造君提出外交ニ關スル質問ニ對シ別紙外務大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年二月二十七日

衆議院議長片岡健吉殿

(別紙) 衆議院議員野間五造君ヨリ提出ノ在外國我帝國臣民ノ權利義務ニ關スル質問書ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十四年二月二十六日

衆議院議長片岡健吉殿

(別紙) 衆議院議員野間五造君ヨリ提出ノ在外帝國臣民ノ權利義務ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

一 質問第一ニ就テハ英領加奈太ノ一部タル英領哥倫比亞州ニ於ケル移民法ノ制定ハ政府ニ於テ帝國臣民ノ爲メ不利益ナル法律ト認ムルモ英領加奈太ハ日英通商航海條約ニ加入セザリシヲ以テ條約上ノ問題トシテ英國政府ニ抗議ヲ爲スコトヲ得サルニ付同國政府ノ好意ニ訴ヘ加奈太領政府ヲシテ該法ヲ否認セシムルコトニ交渉中ナリ

一 質問第二ニ就テハ政府ハ明治三十三年十月在盤谷帝國領事ノ報告ニ據リ帝國臣民ノ交趾支那ニ在留スルモノ百十四人東京ニ在留スルモノ百七人安南ニ在留スルモノ七人東清塞ニ在留スルモノ十七人アルヲ知り得タル外質問書ノ指示セシ如キ事實ノ公報ニ接セス尙ホ之ヲ最寄ノ帝國公使及領事ニ電問セシモ目下帝國臣民ノ交趾支那ニ在留スルモノ約百八十八人アル旨回電アリタル外右様ノ事實ヲ確メタル回報未タ到達セス東京及柴棍ハ日佛通商條約ノ適用外ニ在リト雖モ政府ハ該地在留ニ帝國臣民カ果シテ他ノ外國人ト異ナリ特ニ不利益ナル取扱ヲ受タル事實ヲ確ムルニ於テハ救済ノ手段ヲ執ルニ怠ラサルヘシ

一 質問第三ニ就テハ政府ハ該事實ノ發生スルヤ直ニ北米合衆國政府ニ抗議シ其匡正ヲ求メ尙ホ將來同様ノ行爲ノ再演ヲ豫防センカ爲メ目下同政府ニ向テ交渉中ナリ

右及答辯候也

明治三十四年二月二十六日

外務大臣加藤高明

衆議院議員白井哲夫君提出韓國馬山浦ニ關スル質問ニ對シ別紙外務大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年三月十四日

衆議院議長片岡健吉殿

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

(別紙)

衆議院議員白井哲夫君提出ノ韓國馬山浦ニ關スル質問書ニ對スル別紙答辯書差進候也

明治三十四年三月七日

衆議院議長片岡健吉殿

外務大臣加藤高明

(別紙)

衆議院議員白井哲夫君提出ノ韓國馬山浦ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

露國軍艦ガ砲臺建設ノ爲昨年十二月大砲其他ノ材料ヲ馬山浦ニ陸揚シタル事實ナシ政府ハ露國カ馬山浦居留地外十韓里以內ニ在ル粟九味ニ於ケル其借入地ニ石炭庫及病院ヲ設置セントスルノ計畫アリヤニ聞クト雖未タ起工セラレタルノ報ニ接セス

明治三十四年三月七日

委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

府縣制中改正法律案外六件

委員長 多田 作兵衛君

明治三十四年三月十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案

委員長 征矢野半彌君

理事 伊藤 直純君

民事訴訟用印紙法中改正法律案

委員長 山下 千代雄君

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法改正ニ關スル建議案

提出者 石黑 滿一郎君

小田 貫一君

狩獵法改正法律案

提出者 恆松 隆慶君

秋岡 義一君

田畑地價特別修正法律案

提出者 後藤 文一郎君

野田 卯太郎君

佐藤 昌藏君

根本 正君

野蒜築港ニ關スル建議案

提出者 菅原 傳君

首藤 陸三君

島田 三郎君、原田 越城君、大村 和吉郎君、鈴木 重遠君、花井 卓藏君、田中正造君ヨリ足尾銅山鑛毒ノ件ニ關シ院議ヲ空クセシ處置ニ對シ工藤行幹君ヨリ

外交ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

足尾銅山鑛毒ノ件ニ關シ院議ヲ空クセシ處置ニ對スル質問書

明治三十四年三月十四日

提出者 島田 三郎

鈴木 重遠

贊成者 佐々友房

外三十七名

質問趣意書

足尾銅山鑛毒ノ害ハ世上ノ公問題ト爲テヨリ十有餘年ヲ經タリ政府責任ヲ負フテ之ヲ解決スルニ昂メス無告ノ被害人民ヲシテ已ムヲ得ス起テ中央政府ニ泣訴スルニ至ラシム然ルニ政府ハ其多數ノ上京ヲ途ニ沮止シ爲メニ一大刑獄ヲ釀出セリ彼等ノ困窮ニ繫カレ家族ノ茅屋ニ餓ル其原因ハ政府カ防害ノ方法ヲ忽ニシテ公ニハ國土ヲ荒廢シ私ニハ人民ヲ殘害シタル一大過失ニ出ツ前期ノ議會ニ於テ貴族院ハ多數ヲ以テ被害民ノ請願書ヲ政府ニ回送シ衆議院ハ調查會ヲ設置シテ防毒除害ノ方法ヲ定メンコトヲ建議シ本年又大村代議士ヨリ質問書ヲ呈シタルモ今ニ至リテ杳トシテ消息ナシ是レ院議ヲ無視シ議院法ヲ輕蔑シ國土ノ荒廢ヲ願フ斯民ノ塗炭ヲ意トセサル者ナリ實地ヲ觀察スルニ鑛毒ハ現ニ渡良瀨利根二川ノ流域ヲ浸シテ其範圍益大ナラントス政府ハ如何ニ之ヲ處セント欲スル乎

外交ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年三月十四日

提出者 工藤 行幹

贊成者 佐藤 宗彌

外三十九名

質問主意書

二月六日加藤外務大臣ノ演說中本員ハ露清密約ノ有無ニ關シ質問スル所アリシニ外務大臣ハ是ハ重大ナル事件ナルヲ以テ取調ノ上辯明スヘキニ付相當ノ手續ヲ經テ質問アルヘキ旨答辯セリ依テ更ニ左ノ數項ヲ質問ス

一 滿州ニ關スル露清密約ハ政府ニ於テ未タ其實ヲ慥メサルヤ

二 露都ニ於テ同國外務大臣ランズドル伯ト清國公使楊儒トノ間ニ商定セラレタル特別條約ハ果シテ成立シタルモノナリヤ又政府ハ未タ其要領ヲ得サルカ

三 前項ノ條約ハ我國ノ利害ニ關スルヤ大ナリ政府ハ之レニ對シ何等ノ處置ヲナセシヤ

四 二月九日外務大臣カ本院ニ於テ演說セシ昨年九月一日ヲ以テ露國政府ヨリ我政府ニ通知アリタル滿州ニ關スル露國宣言ノ主意ハ露國ニ於テ自ラ變更セシモノ、如シ政府ハ目下露國ノ舉動ニ照シ尙前ノ宣言ニ信賴スル乎

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リスルコトガアリマスガ、東長三郎君ガ病氣ノタメ、本日ヨリ八日間ノ請假ヲ願出デマシタ、許

可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、決算委員
長石黒瀧一郎君カラ議會ノ開期モ甚ダ切迫ヲ致シタニ附イテ、本會議ノ時間
中ト雖モ、決算委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御異議ハ
アリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、是マデ委
員會ハ隔日ニ致シテ居リマシタガ、議會期モ僅ニナリマシタカラ、差懸ル委
員會ハ本會ノ日ト雖モ開クコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス——多田作兵衛君

○多田作兵衛君(百七番) 府縣制外六件ノ委員會ヲ開イテ宜シウゴザイマス

カ、唯今ヨリ開クト云フコトヲ許可ヲ受ケルノデスカ

○議長(片岡健吉君) 開クトキハ尙ホ其度毎ニ許可ヲ受ケルノデスカ

○多田作兵衛君(百七番) ヲレデハ府縣制外六件ノ特別委員會ヲ開キタウゴ

ザイマス、理由ハ會期切迫……

○議長(片岡健吉君) 多田作兵衛君カラ、府縣制改正外六件ノ委員會ヲ開キ

タイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス——竹内正志君

(「竹内正志君演壇ニ登ル」)

○竹内正志君(二百九十七番) 私ハ北清派遣軍隊需要品ニ關スル件ニ附イ

テ、政府ハ質問書ヲ先日出致シテ置キマシタカラ、簡短ニ其理由ヲ述ベタ

イト思ヒマス、事ハ極簡短デアリマスカラ、先ヅ此質問書ノ趣意ヲ一應朗讀

ヲ致シマス

一 北清事變ニ際シ派遣サレタル軍隊ニ供給スヘキ糧米ハ最上等磨擦米ナ

ルベキ規定ナルニ實際輸送サレタル糧米中ニハ磨擦米ハ極少量ニシ

テ粗惡劣等ノ米過半ヲ占メ往々食糧ニ供スヘカサル不良品アリ而シ

テ量目ニモ又平均二割以上ノ減却アリ政府ハ此不正行為ニ關係シタル

者ヲ調査シテ適法ノ處分ヲナシタルヤ若シ處分シタリトセハ其始末

如何

二 昨年九月五六日頃神戸ヨリ御用船土佐丸ヲ以テ在北清軍隊ニ輸送シタ

ル馬糧ノ麥各三斗入ナルヘキ三万俵中ニハ量目ノ完全ナルモノナク

二斗内外若クハ半額ノモノ甚ダ多シ又七月第二回輸送ノ林ニハ多量ノ

塵芥混入シ居タルカ爲メ第五師團ヨリ上申シタリト云フ此等ヲ如何ニ

處分シタル乎

三 將來前項ニ述ヘタル如キ不正行為ヲ如何ナル方法ニ依リ矯正防遏セン

トスル乎

此三箇條ガ質問ノ趣旨デゴザイマス、私ハ昨年十月初ニ、北清ニ戰況視察

ニ參リマシテ、此唯今質問ノ要旨ニ列記シデアリマスヤウナコトヲ發見致シ

マシタノデス、無論私ガ北清ニ赴キマシタト云フ趣意ハ、此軍需品ナドニ

就イテ、不正ノコトガアルト云フコトヲ、調べル目的デハナカッタ、併ナガ

ラ調べナイトシテモ、視察中ニ此等ノコトガ吾々ノ耳目ニ止マリマシタカラ

シテ、吾々ノ職責トシテ政府ヲ監督スルコト云フ地位ニ於テ、默止スルコトガ

出來マセヌカラシテ、此質問書ヲ提出シマシタノデス、唯今讀上ゲマシタヤ

ウナ譯デ、此軍需品中ニハ實ニ軍隊ノ食料ト爲ルヘキ米ナント云フモノハ、

此所ニ丁度持ッテ來テ居リマスガ、連モ人間ノ食スルコトガ出來ヌノミナラ

ズ、殆ド馬糧ニモ出來ナイト云フヤウナ粗惡劣等ノ米、諸君ガ之ヲ一見

一度御覽ニナツタナラバ、成程是ハヒドイト云フ觀念ヲ忽チ起サレルト思

フ、實ニヒドイ、全體此軍需品ハ、米ハ磨擦米デアルト云フノガ當リ前デア
ル、陸軍ノ規則デアアルサウデアリマスガ、磨擦米ト云フノハ實ニ上等ナモノ
デアツテ、東京ノ船米トモ云フヘキモノデアアル、ツレヨリモ尙ホ上等デア
カト思フ位ナ立派ナモノデアアル、吾々ハ米ナンカノコトハ知リマセヌガ、素
人ガ一見シテモ、此磨擦米ハ非常ニ立派ナモノデアアルケレドモ、白河ノ沿
岸、北倉、河西務、若クハ揚村、馬頭ト云フヤウナ邊ノ、兵站司令部ガ置イ
テアリマス所ニ往ッテ見マスルト云フト、其磨擦米ト云フモノハ甚ダ稀デ
アル、誠ニ少イ、殆ドナイト言ッテモ宜イ位ナモノデアツテ、大抵茲ニ七八升
其邊ノ米ヲ取ッテ來テ居リマスガ、皆モウ連モ鶏若クハ禽獸ニ喰ハスト云フコ
トナラ出來ルカ知リマセヌガ、連モ如何ニ兵隊ト云ツテモ、人間ノ食料ト爲
ルコトガ出來ナイト云フ、粗惡ナル米バカリガ往ッテ居リマス、ソレデ此事ハ
恐ラクハ政府ハナイト云フコトハ言ヘマスマイ、私ナドハ或ル參謀官ト一續
ニ、丁度白河ノ沿岸ヲ遡ッテ、北京ノ方ニ參リマシタノデアリマスガ、其參謀官
ナドモツコデ見テ居ッタノデ、私モ其事ヲ上申シタ、實ニヒドイカラ丁度歸朝
シタ際ニ、其筋ニ上申シタケレドモ、ソレナコトハナイト云フト、ナイト
云フノハツレハ當リ前、アルベキ管デナイカラシテ、ナイト云フト陸
軍省ハ言ッテデアリマセウガ、ナイト言ッタ所ガ、確ニ事實アル、此通事實ア
ルカラ、ナイト云フトコトハ私ハ言ヘマイト思フ、寧ろ其筋ノ人ハ調査シテ、
不正品ガ多イト云フトコトハ、疾ク御承知ダラウト思フコトデアリマス、又米ノ
コトハ——先ヅ米ノ劣等デアアル、粗惡デアルト云フトコトハ、右ノ通デア
リマスガ、又其米ノ分量ト云フモノガ非常ニ少イ、大抵今讀ミマシタ通、平
均二割三割ト云フモノハ、減シテ居ルト云フノガ現ニ事實デアリマス、ツレ
カラシテ九月五六日ニ神戸カラ、御用船土佐丸ヲ送リマシタ馬糧ノ麥三万俵
ハ、甚シキハ三斗入ノヤツガ、一斗五升ホカ這入ッテナイ、若クハ二斗ト云
フヤウナ譯デ、三斗ノモノガ三斗這入ッテ居ルハ、殆ド絶無ト云フ位デア
ル、ツレカラシテ林ノ如キハ、林中ニ塵芥ヲ入レテ居ッタ、入レテ居ッタカ
ラ是ハ餘リヒドイト云フノデ、長田大佐ガ態ニ上申シテ軍隊ヲ呼出シテ調
査シタ、調査ヲシテドウ云フコトヲ政府ガシタカ、ツレマデハ吾々ハ與リ知
ルコトデナイガ、當時上申ヲ致シテ——免ニ角長田大佐ガ上申シテ、遂ニ
軍隊ヲ呼寄セタ事實ダケハ、私ハ承知シテ居ルデアリマス、斯ウ云フヤウ
ナノガ、私共ノ軍需品ト云フトコトニ附イテ、不正ノ品ガアルト云フトコトヲ調
査スル目的デ參ラヌ吾々ミスラ、斯ノ如キコトガ耳目ニ止マルノデアアルカラシ
テ、能ク細カニ調べマシタナラバ、非常ニ是ヨリモヒドイコトガアルダラウ
ト思フ、若シ斯ルコトガアツテ、御用商人若クハ其筋ノ會計軍吏監督ト云フ
ヤウナモノ、間ニ、此不正ヲ營マサレタメニ、軍需品中ニ今日マデニ二千
萬圓、假ニ仕拂命令ヲ出シテ居ルト致シマシタナラバ、一割ト云フモノガ、

此不正ノタメニ國家ガ損ヲシタトスレバ、二百萬圓損ヲシテ居ル、若シ三十三年度ニ於テ三萬圓ノ仕拂ヲスルト云フコトデアラナラバ、一割三百萬圓ト云フモノハ、國家ガ無駄ニ損ヲシテ居ル、御用商人、會計軍吏、監督官ト云フモノノタメニ、私ヲサレテ居ルト云フコトハ、國家ガ損ヲスルコトデア、若シ五分ト致シマシテモ、百五十萬圓損ヲスルコトニナル、是ハ實ニ議會トシテ黙々ニ付スルコトハ出來ヌコトダウト思フ、諸君、諸君ガ御承知ノ通ニ、日本ノ軍隊ガ非常ナ働ヲシタ、威武ヲ輝カシメト云フコトニ於テハ、本院モ既ニ決議ヲサレタト云フ程ノ次第デアッテ、誰モ國民中此同情ヲ表セヌ者ハナイノデアリマセウ、併ナガラ此軍隊ガ、ドウ云フ扱ヲ受ケテ居ルカト云フコトニ附イテハ、實ニ吾々ハ國民トシテ、一點同情ノ涙ヲ濺ガザルヲ得ヌト思フ、國家ノ義務トハ申シマシテモ、諸君ノ御承知ノ通ニ、僅ニ一食七錢トカ六錢トカ云フダケノ給與ヲ受ケマシテ、ツレモ現物デ受ケルノデアルカラシテ、極軍隊ノ好マヌ所ノ罐詰、向フニハ色々ナ品物ガアッテ、其物ヲ買フト云フコトガ非常ニ生活上便利デアアル、又兵隊ノ食スルコト云フ上ニ於テ、大變好ムノデアアルガ、不味イ、旨クナイ罐詰ノ給與ヲ受ケテ、一食六錢カ七錢カノ給與ヲ受ケテ、一日戰時デアッテ所ガ、竝ノ兵隊ハ四錢五厘カ五錢ノ給與ヲ受ケル、一箇月ニ致シマシテモ、一圓カ一圓五十錢ノ支給ホカ受ケナイト云フヤウナ譯デアアル、煙草ヲ買フトコトガ出來ナイノガ、日本ノ軍隊ノ是ガ兵卒ノ實況デアアル、サウシテ死ヌレバドウカト云ヘバ、僅カ百圓カ百五十圓デモ、遺族ノ扶助料ト云フモノガ、僅ニ其位ノモノホカ出ナイ、始大沽ニ上リマシテカラ、天津攻撃、續イテ北倉、楊村、若クハ通州、北京マデ往キマスル迄ノ難義ナコトハ、實ニ非常ナモノデアッテ、唯一點、水ノ點カラ申シマシテ、毎日水ノコトデモ、軍隊同士ガ喧嘩ヲシテ居ル、司令部デ喧嘩ヲスル有様デ、僅ニ此炎熱燄ガ如キ昨年七月八月ト云フ際ニデモ、軍隊ハ一人ニ附イテ水ヲ一合ホカ、一日飲マセヌト云フ規則ガアッテ、實ニツレハ非常ナモノデアッテ當時福島將軍ナドニ就イテ、此大沽ニ上リマシテ天津攻撃ヲシ、若クハ通州、北京マデ進軍ヲ致シマスル實況ナドヲ聞イテ見マスルト、實ニ軍隊ノ艱難辛苦ト云フモノハ、容易ナラヌモノデアアル、其一方ニハ是程ニ國家ノタメトハ申シナガラ、軍隊ガ艱難辛苦ヲ致シテ、實ニ日本ノ威武ヲ輝カスコトヲ致ス、其一方ニハ不正ノ官吏ガ御用商人ト結托ヲ致シ、不正ノ利益ヲ壟斷スルト云フコトハ、實ニ國民ノ代表トシテ見テ居ルコトガ出來ヌ事柄デアアル、一方ニハ國ニ殉スル軍隊ガアリ、一方ニハ此國家ノ事變ヲ利用シテ、不正ノ利益ヲ得ルト云フコトヲ、將來見通シニスルト云フコトニナリマシタナラバ、私ハ彼ノ佛蘭西戰爭ノ時分ニ——千八百七十年ノ普佛戰爭ノ時分ニ、佛蘭西ノ軍隊ガ腐敗シテシマッテ、彈丸ノ代リニ豆ナドヲ使ッテ居タト云フ結果ニマデナラヌトハ、謂ヘマイト思フノデアアル、私ハ此際ニ於テハ唯軍隊ニ同情ヲ表スルノミナラズ、日本ノ海陸軍日本ノ軍人ニ向ッテ、此腐敗ト云フコトハ大變深ク將來ノタメニ憂慮ニ堪ヘヌノデ

アリマス、政府ハ將來此事變ノアル毎ニ、其事變ヲ利用シテ斯ウ云フ不正ノ利ヲ壟斷スルト云フ官吏ニ對ッテ、又御用商人ニ對ッテモ、十分ニ取締ガアリ、殊ニ官吏ナドニ向ッテハ、ドウ云フ手段ヲ以テ之ヲ防グト云フ心得デア、此事ニ附イテハ深ク政府ノ注意ヲ促シ、政府ノ答辯ヲ承リタイト思ヒマス、是ダケガ私ノ質問ノ要旨、是ハ圖書局デアリマス、談話室ニ持ッテ往ッテ置キマスカラ、ドウカ志ノアル方ハ此米ヲ御一覽下サレバ、満足デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 島田三郎君

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○島田三郎君(八十五番) 本員ハ一質問ヲ政府ニ呈シマス、其説明ヲ諸君ニ申上ゲタイト思ヒマス、他ノコトデモゴザイマセヌガ、諸君ノ御耳ニ飽クマデ熟シテ居リマスル事柄デ、其内容ニ至リマスルト、サッパリ世ノ中ニ明ニナッテ居リマセヌ事柄デゴザイマス、即チ足尾銅山鑛毒ノ件ニ關スル質問デゴザイマス、此事タルヤ事實ニ於キマシテハ、二十四年ニ互リマスル所ノコトデゴザイマス(田中正造君「謹聽々々」ト呼フ)公ケノ問題ト爲ッテ衆議院ニ提出セラレテカラ以來十四年ニ互ッテ居リマス、此ノ如ク標題ダケガ世ノ中ニ餘リ騒ガシクナッテ居リマシテ、人々ガ其標題ヲ屢々聞キマスルガタメニ、此事デアアルカト云フ感想ヲ起シテ、其内容ニ至ッテハ一向ニ知レテ居リマセヌ、被害ノ地ハ僅ニ東京ヲ距リマスルコト二十里位ノ所デ、殊ニ汽車ノ便モゴザイマスカラ、能ク知ラレテ居ラナケレバナラヌノデゴザイマスガ、不幸ナル境遇ノ下ニ立ッテ居ルガタメニ、是ガ知レテ居リマセヌ、折々禍ノ發シマスルトキニ、世ノ耳目ヲ驚カシマスルガ、幾許モナク之ガ又忘レラレテ仕舞ヒマシテ、今日マデ不幸ナル人民ハ其不幸ヲ減ズルコト出來ズ、況シテ免レルコトガ出來ヌ有様ニナッテ居リマス、之ヲ丁寧親切ニ調査致シマシテ、國土ノ害ト人民ノ難義トヲ、世ノ中ノ人ガ觀察スルコトニシタイト云フガタメニ、心アル人ガ屢々此問題ヲ出シマス、事實又身ニ迫ッテ居リマスル者ガ、之ヲ中央ニ訴ヘ或ハ請願書ヲ以テシ、或ハ多人數ノ人ガ窮苦ニ堪ヘズシテ、中央ニ出掛ケテ參ッタコトモゴザイマス、段々切迫致シマシテ昨年ニ於キマシテ、本院ハ是非共捨置カレヌト云フコトデ、政府ニ調査會ヲ設ケヨト云フ建議案ヲ出シテ、全會一致ヲ以テ政府ニ出テ居リマス、ツレガ唯今ニ至リマスルマデ、杳トシテ消息ナイ譯デアリマス、尤モ本員ガ之ニ注意ヲ與ヘマスル前ニ、既ニ先月中大村和吉郎君カラ、此事ヲ如何ニスルヤト云フ質問ガ出テ居リマシテ、ツレカラ大分時ガ經チマシタ、尤モ議會ハ停止セラレテ居リマシタガ、行政部ハ停止セラレテハ居リマセヌカラ、開會直チニ答辯デモ參ルカ、或ハ政府ノ意思ヲ示サレルカト心待ニ待ッテ居リマシタガ、其事モゴザイマセヌ、斯ノ如ク日ハ空シク過ギマスノデ、議會ノ會期モ段々切迫致シテ參リマシタカラ、ドウカ此會期ニ於キマシテ、多年燐ッテ居リマスル所ノ、此問題ノ真相ノ明ニナルヤウニシタイト云フガタメニ、政府

ハ如何ニ之ヲ處セラル、ヤ、再ビ質問書ヲ出シタノガ、本員ノ是カラ諸君ニ訴ヘントスル事柄デゴザイマス、尤モ是ハ衆議院ノミデハゴザイマセヌ、貴族院デモ昨年二月中谷干城君ガ説明ヲセラレテ、被害民ヨリ出マシタ所ノ請願書ハ、全會一致ヲ以テ政府ニ呈シテゴザイマスルカラ、議會ノ問題ト致シマレテハ、此ノ如ク成立ツテ居リマスガ、不幸ナル境遇ノ下ニ二十四年ヲ經過シテ、マダ何トモ埒ガ明キマセヌ、此事タルヤ事實考ヘテ見ルト云フト、被害民ノ訴トカ、或ハ立法部ノ督促トカ、有志者ノ建議トカ云フモノヲ俟タズシテ、政府ガ當然ノ職分トシテ、國土ノ危害ヲ除キ、人民ノ不安ヲ安シテヤルベキ筋デアルト思ウテ居リマスル、然ルニ此ノ如ク屢々外部ヨリハ之ヲ追ッテモ、今日ニ至ツテ居ルノハ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、此事タルヤ本員ハ一二回實地ヲ觀察シタダケデ、其事柄ニ向ッテハ詳細ナル觀察ハ致シテ居ラヌノデゴザイマスガ、併ナガラ他ノ信用ノ人ノ觀察ニ據リマシテ、本員ノ取調ベマシタ所ノ事實ヲ、諸君ノ前ニ訴ヘテ御參考ニ供シマスニ附イテハ、本員ガ願ミマシテ一ノ疑モナク、自ラ信ズル所ヲ陳述致ス積デゴザイマス、之ガタメニハ頗ル長キ時間ヲ、諸君ニ耐ヘテ戴カナケレバナラヌト云フノハ、事ノ起リガ明治十三年デゴザイマスカラ、今日マデ丁度二十一年ヲ經過シテ居リマス、尤モ此十三年ニ起リマシタキニハ、事頗ル小ナルモノデアツテ、又全國ノ人ガ目ヲ注グ程ノコトデハゴザイマセヌデシタ、如何ナルコトガ十三年ニ起ツタカト云フニ、時ノ栃木縣知事藤川爲親君ガ、唯今被害地ノ中心ト爲ツテ居リマスル所ノ、栃木縣ノ一流河ノ渡良瀬川ノ出水ヲ致シマシタキニ魚類ガ死ヌ、此魚類ヲ賣買スルコト勿レ、此魚類ヲ食フコト勿レ、是ハ有害ナルモノデアルカラ、若シ之ヲ賣買スレバ罰スルト云フ令ヲ出シタ、ツレガ始メテ、此土地ノ人ガ注意ヲ起シマシタノデ、勿論智識ト云ヒ、學術ト云ヒ、一向開ケテ居ラヌ所ノ山間ノ人民デゴザイマスカラ、洪水ノタメニ死シタ所ノ魚類ヲ賣買致シタリ、或ハ自ラ食シテ其害ヲ受ケルト云フ危險ガアルニ附イテ、此事ハ人民ニマデ害ヲ及スト云フコトヲ、曩ノ行政官ガ注意シテ縣ガ達ヲ出シタノデゴザイマス、是カラガ問題デアツテ、斯様ニナツテ居リマスガ、幾許モナク又注意ヲ與ヘタ藤川爲親君ハ島根縣知事ニ轉ジラレマシタ、此轉ジタコトニ附イテ一ノ風聞ノゴザイマシタノハ、是ガ問題ニナリマスルコト、此營業ヲヤツテ居ル者ノタメニ一ノ妨ニナリマスカラ、斯ノ如ク世ノ中ノ注意ヲ喚起サレシコトヲ望マヌガタメニ、隱密ノ運動ガアツテ轉任ニナツタト云フ所ノモノガ、唯今ニ於テ風聞ヲシテ居リマスガ、此事ニ至ツタ確ナ證據ヲ舉ゲテ、諸君ノ前ニ陳述スルコトハ出來マセヌ、但藤川爲親君ト共ニ栃木縣ヨリ島根縣ニ轉セラレタ所ノ一人ノ人ガゴザイマス、ツレハ別人デハゴザイマセヌ、今日此質問書ヲ提出致シマシタ所ノ一人デ、唯今本院ノ議員原田赴城君デゴザイマス、原田赴城君ハ此時ノ事實ヲ頗ル承知セラレテ居ルト、私ハ信ジテ居リマスルカラ、此時ノ事情ニ至ツテハ、更ニ本員ガ鄭重ナル調ヲ爲スニ至リマシタカラ、一ノ證人トシテ、責任アル本院議員原田赴城君ガ今日此席ニ現在セラレテ居ルノハ、

誠ニ發議者ニ於キマシテ大ニ力強キヲ覺エマス、此ノ如キ事實ガアツタ所ガ、注意ヲ與ヘラレテ始テ此有毒ナル魚類ヲ食フマイト思フ位ノ人民デ、自ラ害ヲ防グコトヲ知ラズ、又魚類ノ倒レルノハ何ニ因ルカト云フコトヲ勿論解スルコト能ハザル人民デゴザイマスカラ、此ノ如キ河流ノ上ニ現レタル、怪シキ現象ニ附イテハ、別段ニ注意ヲ與ヘラレタ行政官ガ轉任シタガタメニ、何人モ注意ヲセズシテ六七箇年ヲ經マシタノデゴザイマス、此ノ如キ事實ガ既ニアツタ以上ハ、此事實ノ元ガ治マラヌ間ハ、年々毒ガアツタト云フコトヲ假定メテモ差支ナイノデ、果セル哉明治二十三年ニ至リマシテ、大分洪水ノタメニ沿岸ニ異狀ナル現象ヲ呈シテ、平生ノ洪水デゴザイマスレバ肥料ニナル所ノ物質ヲ山カラ押出シマシテ、川ヨリ之ヲ土地ニ被ラシメマスカラ、人民ハ之ヲ豐年ノ兆トシテ喜ブベキノコトデアルノニ、此川ニ限リマシテ二十三年ノ洪水ニ、異狀ナル有害ナルモノガ田畑ニ被ラセタニ附イテ、之ガ世ノ中ニ此問題ノ發顯致シマシタ所ノ期限ト爲リマシテ、明治二十三年即チ議會ノ開クル始メノ年デアリマシタカラ、二十四年ノ議會ニ於テ、此事ガ質問トナツタノデゴザイマス、此質問ハ此ノ如キコトヲ何ゼ政府ガ捨テ、置カルルカ、營業條例ニ據レバ、有害ナルモノハ政府ガ其業ニ向ッテ處分ヲ加フルト云フコトガアルガ、何ゼ政府ハ處分ヲ加ヘヌカト云フ、其時ノ質問ハ頗ル辭ガ丁寧ナル質問デアツタ、何ゼ此ノ如キコトヲ捨テ、置クカ、斯ウ云フコトデアツタ、所ガ是ガ私ガ今日諸君ニ訴ヘテ、此ノ如キ問題デ唯今デハ確ニ流域十數里ニ亘ツテ居ル被害デアアルニモ拘ラズ、二十年ヲ經テ世ノ中ノ耳目ニ現レナイノハ何故デアアルカト云フト、是ニハ種々事情ガアル、即チ二十四年ヨリ二十五年ニ亘ツテ第一議會ノ問題ト爲リ、中央政府ノ注意ヲ惹起ス機會ニ當ツテ、政治上ノ變化ハ諸君ノ御記憶ニナツテ居ルガ如ク、二十四年ニハ議會ノ解散ト爲ツテ、其解散ノ際ニ偶然タル——政府モナカク多事デ動搖シテ居ツタカラ、唯議院法ニ觸レタマケデ、唯々出テ居ル質問ニ對シテ、儀式的ノ答辯ヲシテ居ルト云フ有様デアツタカラ、何分責任アル調モ出來マセヌケレバ、責任アル答辯モ出來ズ、儀式的ノ答辯ノミデ解散ト爲リマシタ、其解散ノ後ニ起ツタ二十五年ノ議會ハ、御承知ノ通選舉ノ上ニ大紛擾ヲ起シタカラ、是レ亦他ノ問題ニ及ブ暇ガナクシテ、此事被害民ニ取ツテハ痛切ナル利害デアアルガ、中央政府並ニ政局ノ全面ニ於テハ、之ニ注意ヲ爲スノ違アラズシテ打過ギタノガ、第一今日不幸ノ原由デアツタト思フ、其時ノ答辯ハ唯調査中デアアル、成績不明デアアル、害ハアルラシイケレドモ、其害ノ原因ハ能ク分ラヌト云フ答辯デアツテ、何所モ押ヘヤウモナイモノデゴザイマシタ、其中唯害ノアルト云フコトダケハ極ツテ居ル、其害ノ原因ガ分ラヌ、併ナガラ其害ヲ防グ手段モ中央政府ヨリ地方官ニ命ジ、或ハ監督署ニ令シテヤツテ居ル、此事ニ就イテ其文書ヲ取調ベテ見マスルト、歌羅巴ヨリ取寄セル粉鑽採集機、即チ鑽物ヲ粉ニシテ其物ガ水中ニ流ル、ノヲ淘治スル機械ヲ据附ケテ、相當ノ注意ヲスルカラ、以來ハ害ガナカラウト讀メルヤウナ答辯デア

辯ニナツテ居リマス、此間ニハ大臣モ變テ種々ナル變遷ガアツテ、殊ニ二十五年ノ第三議會ニ於テハ、選舉干渉ノ大問題ガアツテ、再ビ解散議會ト政府トノ紛爭ハ水火ノ爭デアリマシタカラ、是等ノ問題ハ被害民ニ取ツテハ大ナル關係ガアリマスガ、一般全國ノ上カラ見マスレバ、其後ノ又後ニ取除ケラル、ハ事情已ムヲ得ヌ、政府モ亦大ニ注意ヲシナイ、故ニ唯議院法ノ規則ニ觸レナイガタメノ答辯ガ出テ居リマス、是ニハ有害ト認ムルガ併ナガラ之ヲ停止スル程ノ度合デナイ、此損害ト云フモノハ各自ノ不幸デアツテ、行政官ガ之ヲ奈何トモスルコトハ出來ヌ、行政官ノ權限外デアアル、尙又答辯書ニモ矢張粉鑽採收機ヲ据附ケテ、出來ルダケノ豫防ハシテアルカラ、其上苦情ハナカルベシト斯ウアル、所ガ粉鑽採集機ニ就イテ公平ナル批評ヲスレバ、是ハ學術ガ疎ダ知識ノ程度ガ低クカッタ我邦デ、歐羅巴諸國ノ如キ宏大ナル機械ヲ据附ケテ、鑛山ヲ經營スルト云フノハ實ニ試驗ノ時代デ、眞個ニドウ云フ害ハ如何ニシテ防グカト云フ、研究ガ積ンデ居ラヌ時代デアルカラ、此間ニ粉鑽採集機即チ鑛物ノ粉ヲ水ノ中カラ取ツテ、之ヲ集メルト云フコトヲ害ヲ防グモノダト、見間違ヘテ居ッタラシイ、文書ニ據ツテ考ヘルニ――奚ゾ圖ラン後トデ段々調ベテ見ルト、是ハ鑛物ヲ外ニ散ラサヌタメニ、有利ナル、有益ナル物ヲ、外ニ捨テナイタメニト云フ利益ヲ目的トシタ機械デ、害ヲ他ニ及サヌ目的ノ機械デナカッタト云フコトガ、今日デハ明瞭トナッタノデアリマスカラ、此十年間引續イテ矢張毒ハ滔々ト流レテ居タト云フコトハ、政府ノ文書ニ依ツテ見テモ明瞭デアアル、即チ有害ト認メルガ之ヲ免ル、タメニ但シ停止ノ度ニアラズ「粉鑽採集機ヲ以テ相當ニ注意ヲシテ居ルト云フノデアアルカラ、毒ハ滔々トアツタニ違ヒナイ、此間ニ不幸ナコトガアツタ、國ニ取ツテハ國威ヲ海外ニ輝ス大事件デゴザイマシタガ、單ニ被害地ノ人民ニ限ツテ之ヲ論ジマスレバ、不幸中ノ不幸デアアタノハ、即チ後ノ日清戰役ノタメニ、總テノ注意ハ悉ク外ニ向ツテ居リマシタカラ、内部ノコトニ向ツテハ何事モ人ノ注意シナイ時代デアツテ、是ハ政府ノミナラズ人民モ然リ、議會モ然リ、皆斯ノ如キ事ニ注意ヲ爲スノ暇ガナカッタノデアアル、此間ニ前ニ申シマシタ手續、漸々ト此手段ガ進ンデ往ツテ、丁度證據ト爲スヘキ文書ニ依ツテ徴シテ見レバ、一段一圓以下五錢ニ至ルマデノ金ヲ取ツテ、永世如何ナルコトガアツテモ、苦情ハナシト云フコトノ書面ガ、殘ラズ被害地ニ行涉タト云フ有様デアアル、此間ニ又後ニ詳シク其事情ヲ申シマスルガ、此害ガ最モ太カルベキ時節デアツタ、即チ此營業ヲシテ居ル人も、之デ以テ害ガ止マルデアラウト思ツタカモ知レヌ、前ニ申シマシタ通學術不明デアリ、技術不進デアリ、ツレニ試驗中ノ時代ニ、我國ニ竝ナキ大仕掛ノ仕事ヲ新シイ器械ニ依ツテヤッタノデアアルカラ、孰モ經驗ガナイ、無智ト申サナイガ、素人ヨリハ必ズ専門ノ智識ヲ持ツテ居リマセウガ、斯様ナル事ニ向ツテ學術ノ何人ニモ證明シ得ベキ、確ニ自ラ信ジテ害ヲ防ガレルト思ウタ研究ハナカッタノデアアル、此時ニ戰後ノタメカ、其他ノ事情ニ依ツテ最モ鑛物ノ直段ガ上ツタ、銅

ノ直段ガ非常ニ上ツタカラ、甚ダ此事業ガ繁榮ヲ致シタ、此繁榮ヲシタ中ニ如何ナル事ガアツタカト申シマスルト、細カニ鑛石ヲ分析シテ、此中カラ細カイ銅ヲ取上ゲテ、後トヲ棄テルト云フヤウナ、左様ナ手數ヲ掛ケル仕事ヲヤルヨリハ、大抵ハ銅ハ棄テモ片方ニ於テ多クノ手數ヲ掛ケナイデ、銅ヲ取ツタ方ガ利益ガアルト云フ時節デアアルカラ、此時ニ所謂鑛石トカ、或ハカラミトカ名ケル有毒ノ部分、良ク致シマスレバ是ハ有益ノモノデアアルガ、併ナガラ棄テラレタル以上ハ、硫酸ト爲ッテ有害ノモノト爲ルベキ分子ヲ、多クドント之ヲ棄テルトコトニナツタ、此時ニ何ノ監督ノ精密ナルコトモナケレバ、何ノ注意ノ嚴正ナルコトモナケレバ、監督ハ行届カズ、學術モ進マズ、智識ハ淺シト云フ譯デアツタカラ、此利益ヲドシト棄テタト云フコトハ、後トカラ事情ニ依ッテ信シテ宜カラウト思フ、斯ノ如クニシテ政治上ノ紛擾ト、竝ニ海外ノ役等ニ依ッテ間ハ忘ラレテ居ル、其間ニハ幸洪水ガナカッタガタメニ、アルガ如クナキガ如キ苦情ガ、此間ニ出沒シテ居ッタノガ、二十九年前ノ秋ニ至ッテ大洪水ガアツテ、是カラ一層紛擾ヲ加ヘテ來テ、此時ニハ前ニ無感覺デ居ッタ人民モ、斯ノ如キ巨害デアラレヌト云フノデ、是ヨリ以後議會ニ現ハレマシタ所ノ質問、其他請願ヲ見マスルト、頗ル激烈ナル言葉モアリ、頗ル悲慘ナル事情モアツテ、前ニ輕ク且ツ緩慢ナル言語ニ引換ヘテ、是カラハ非常ナル度合ヲ以テ、天下ニ顯レテ來マシタノガ、即チ明治十三年ニ顯レテ、二十九年ノ洪水マデハ唯今申シタヤウナ事情ノ下ニ、毒ハ積リ積リ廣ガリマシタ、其結果二十九年前ノ洪水ニ依ッテ之ガ顯レマシタカラ、三十年ニ出タ質問ニハ、鑛業ヲドウカ停止シテ吳ロト云フコトニナツテ、此時ニ始テ斯ク申スモ、即チ私自身カラ申シマスレバ、之ハ注意スベキ問題ト思フノデ、前ノ二三回ノ質問ノアツタトキニハ、ツレ程トハ思ッテ居ラナカッタ、此時ノ四縣八十箇村ノ窮民ガ實際ノ苦ニ堪ヘズシテ、當初出掛ケテ參ツタ、ツレカラ請願書ガ出ル、三十年一月ニハ五百人ガ上京シテ東京ニ出掛ケテ參リ、是ハ穩ナラヌト云ッテ説諭ヲ加ヘタ、又出掛ケテ參ツタ者モ、決シテ暴舉ハ金テルモノニアラズシテ、其急ヲ訴ヘルタメニ出テ來タノデアアルカラ、五十人ノ總代ヲ留メテ歸リマシタ、ツレカラ農商務大臣ガ之ニ答ヘタコトガゴザイマスガ、之ハ格別要領ヲ得ナイ、併ナガラ害ハ一向止マナイ、再ビ二千人ノ者ガ上京シテ、之ヲ東京ノ境ニ憲兵ガ喰止メテ、又五十人ノ總代ガ入京スルト云フ譯デ、斯ノ如キ事情ガアツタガタメニ、是マデ注意ヲシナイデ居ッタ事件ガ、此儘デハ濟マヌト云フノデ、遂ニ調查會ト云フモノガ出來テ、此調查會ニ與ッタ諸君モ、此席ニ居ラレル御方モアルノデ、即チ神鞭知常君ガ確カ調査會ノ會長ニナラレタト思ッテ居リマス、政府部内ニ此會ガ立ッテ、有害デアルト云フノデ、愈前ニハ害ガアルカナイカト云フコトガ不分明ノ間ニアツテ、請願者ハ害ガアリ、政府ハ害ガアツテモツレ程デナイト云ッテ居ッテ、時ガ過ギタガ、此時ハ非常ナ有害デアルト云フコトガ分ツタ、其有害ハドウ云フモノデアアルカト云フト、此時ニ免租ヲ致シ

マシタ地籍ガ、田畑デ二万四千四百五十町、是ダケノモノヲ免租シタ、其税金ハドノ位カト云ヘバ、十七万二千六百七十三圓ト云フモノガ免租ニナリマシタ、此時ニハ政府ガ始テ手ヲ著ケテ、地方官ニモ任シテ置カレナイ、監督廳ダケニモ任シテ置カレナイ、政府ガ特別ニ調査委員會ヲ設ケテ、或ハ土木ノ上、或ハ衛生ノ上、或ハ鑛業ノ上、種々ナル事ヲヤツテ、免角ニ害ガ甚ダシイカラ、嚴重ナル豫防工事ヲ施サナケレバナラヌト云フコトデ、工事ヲ施シタカラ、固ヨリ暴舉ヲ企テル人民デナイ、唯實地苦ニ堪ヘナイガタメニ出テ來タ者デアアルカラ、今マデ害ヲ受ケタ者ガ先ヅナクナルトシテ、向來害ガモウナケレバ、之デ苦情モ言フマイト云フ順良ナル態度ヲ以テ、之ガ鎮マリマシタ、例ヘバ二万四千四百五十町歩ノ免稅ニナツテモ、之ガ殘ラズ害ガ皆殘ラズノ被害地ガ免租セラレタ譯デナイ、之ハ特ニ甚シキモノ、肉眼ヲ以テ辨別シ得ベキ被害地ヲ免租シタ譯デ、是カラ地租十七万二千六百七十三圓ヲ免除シテモ、各地ノ地主若クハ小作人ノ上ニ加ヘマスル損害ハ、何レカラモ償ハレズシテ止シタノデゴザイマシタカラ、幸ニシテ二十年ニ政府ノ注意ト、豫防工事ニ依ッテ、此害ガ止シテモ、此人民ニ向ッテハ餘程氣ノ毒デアアル、國家ノ損害ニ至ッテモ此免除ノ年限ガ色トアツテ、十年ヨリ、二年マデノ間ニ十年、五年、三年、二年ト云フ具合ニ、免除ノ期ガ立ッテ居リマスガ、此十萬二千六百七十三圓ト云フノハ、ハ國稅タケデアアル、丁度是同額位ナ地方稅ガ之ニ加リマスノデアリマスカラ、地方稅モ矢張十七万二千六百七十三圓位ノ損害ガ出デ居リマシタ、其外ニ町費或ハ村費ト云フモノモ、之ニ加テ大略概算スレバ是ガ五萬圓程、是ガ十年續クノモアレバ、二年デ止ムノモアルガ、總額ニ至ッテハ隨分夥シイ損害デアアル、何々ノモノヲ償フタカト云ヘバ、明治十三年ニ此注意ヲ地方官ガ加ヘテ、其地方官ガ脇ヘ去ッテ以來、總テガ打棄テ、アツタ其結果、今回ニ是ダケノ損害ヲシテ今日ニ至ッテ、マダ其損害ガ止マナイノデアアル、人民ハ之ニ信ズル、損害ヲ受ケテツレデ今日マダ其苦ヲ免カレヌ、併ナガラ此豫防工事ガ確ニ向來ノ害ヲ防グニ足レバ、今日ハ驚キトシテ此苦情ヲ聞カヌ、デ吾々モ亦心ヲ安ズベキデアリマセウガ、此苦情ハ曾テ止マナイ、現ニ三十一年ノ九月ノ洪水ガアツテ、三十年ニ豫防工事ガアツテ、最早之デ止シタラウト思ッタ所ガ、此事ハ決シテ此儘止マラズシテ、三十一度ノ九月ノ洪水デ滔々ト又鑛毒ガ流れ出タ、此時ニハ前ニ忍ビデ居ッタ——黙ッテ居ッタ人民ガ其害ニ堪ヘラレマセウカラ、出京ノ途ニ就イタ者ガ一万三千人出掛ケテ來タ、併ナガラ斯ノ如キ多數ガ中央ヘ來マスルト云フコトハ、甚ダ困ツタト云フコトデ、遂ニ巡查憲兵ニ命ジテ之ヲ利根川縁ニ喰止メマシテ、其多數ヲ是ヨリ還シタ、此間ニ是非トモ本員ガ辯シテ置カナケレバナラヌノハ、政府ハ下情ヲ見ルノニ暗イ、中央ノ人ハ地方ノ事情ヲ觀察スルニ明ナラズシテ、此一万三千人ガ上京スルヲ、利根川縁デ喰止メマシテモ、尙ホ二千六百人ガ道路ニ寢テ居ルト云フコトハ、詰リ脅迫の請願ヲ爲スノデアアルト誤解サレタノハ、甚ダ此人民ノタメニ氣ノ毒デアルト思ヒマ

ス、此時ニ議會ノ上ニ於テ屢々質問書ヲ提出シ、屢々演說シタ所ノ議員ノ一人田中正造君ガ出掛ケ居ッテ、斯様ニ通ルト云フコトハ穩ナラヌカラ歸レト云ッテ、是ハ被害民ニ最モ親切ナル朋友デアアルト認メテ居リマシタカラ、田中正造君ノ說論ニ依ッテ歸ッテ、是ガ誤解ノ原因ト爲ッテ、此ノ如キ多數ノ出京スルノハ、或ル人ガ教唆スルノデアアル、田中正造君ノ過激ナル演說ガ、此ノ如キ者ニハ幾ラカ火ヲ附ケルモノデアラウト誤解サレタノハ、雙方ノ不幸デアアルト本員ハ思フ、何故デアアル、本員ハ此地ヲ二回訪ウテ見マシタガ、極テ柔順ナル人民デ、極テ迂魯ナル人民デアアル、丁度此事ニ附イテ本員ノ觀察ガ當ヲ得テ居ルヤ否ヤト云フ好キ證人ガアル、此證人ヲ諸君ノ前ニ陳述致サウト思ヒマス、即チ昨年ノ二月、多數ノ人ガ其苦ニ耐ヘズシテ出掛ケテ參ッテ、之ヲ途中デ巡查ガ喰止メテ一場ノ殺闘ヲ開キマシテ、六十人ノ刑事被告人ガ出マシテ、兇徒嘯集罪ヲ以テ論告セラレタ、併ガラ結局兇徒嘯集罪ニアラズシテ、官命抗拒ト云フコトデ、六十何人ノ内十七人ハ免訴ニナッテ、五十人バカリノ者ガ有罪ニナリマシテ、ソレガ今控訴致シテ、中央ノ裁判所ヲ煩ハシテ居リマスルガ、此時ニ辯護人ニナリマシタ所ノ好キ證人ガアリマス、貴族院議員ノ中デハ三好退藏君ガ辯護士ノ一人デアッテ、衆議院デハ花井卓藏君ガ辯護士ノ一人デアッテ、此他ニ東京辯護士組合長ノ飯田宏作ト云フ人、是ハ相當ナル信用アル人デ、何レノ裁判所デモ飯田宏作ハ、決シテ輕薄ナル虛偽ノコトヲ爲サスト云フコトハ、本員ハ信シテ居リマス、此人ニ親シク會ッテ事情ヲ聽イテ見マス、被害地ノ人民ハ惡ルク云ヘバ無氣無智ナル者デアアル、其ク云ヘバ順良ナル人民デ、御シ易イ人民デアアル、此ノ如キ害ヲ十年モ能ク忍ンデ居ッテ、一ノ訴訟モ起ラナカッタト云フノハ、訴訟ヲ爲ス手續、損害ヲ回復スル所ノ手段ニ就イテ、一ノ方案モナケレバ一ノ補助者モナカッタと思ヘバ、其迂魯ノ甚ダ憫レムベキ者デアアル、即チ事實是ダケノ害ヲ受ケテ、忍ンデ窮苦ニ耐ヘテ我慢シテ居ッテ、ハ、餘程迂魯氣ノ毒ナリ人民デアアル、クレ、モ氣ノ毒ナ有様ヲ見テ、斯クマデハアルマイト思ッテ居ッテ、此刑事ノ被告ガ現ハレテ前橋裁判所デ此疑獄ヲ論ズルニ當ッテ、檢事ノ請求ニ依ッテ實地ヲ踏査シテ見タガ、檢事モ、裁判官モ、辯護士モ、其意外ノ事情ニ驚イタト云フコトハ、飯田宏作君カラ聞イテ居リマス、飯田宏作君ハ此議席ニ連ナラナイ、辯護士會ノ副會長トシテ、又花井卓藏君ハ現ニ本院ニ席ヲ占メテ居ラレ三好退藏君ハ又貴族院ニ席ヲ占メテ居ラレノデゴザイマスカラ、若シ此事實ニシテ過度ノ發言、過度ノ虛飾ノ議論ヲスルト云フコトデアリマスレバ、是等ノ信ズベキ是等ノ實地ニ關係シタ人ニ證言ヲ求メラレタナラバ、本員ノ論ズル所ハ、決シテ過度ノ言辭デナイト云フコトヲ、證據立ルコトガ出來ル、此時ニ一万三千人出京シタ、ソレカラ說諭ノ結果歸ッタガ、一ツノ誤解トナッタ、一ツハ教唆デアラウ、一ツハソレ程ノコトデナイノニ、大勢徒黨シテ出タデアラウト云フコトデアリマシタガ、此時ノ說諭約束ハ後ノ結果ニ符合シ

テ居リマス、大勢ノ人ガ筋ヲ立テナイデ、中央政府ハ迫ルト云フコトハ穩デナイ、諸君モ窮狀カラ出タト云フコトハ、能ク諒察スルカラ、議會ハ縱令止ンデモ行政部ニツレダケノコトハ訴ヘテ、事情ヲ疏通スルト云フコトヲ、田中正造君ガ越ケ谷デ一万三千人ヲ說諭シテ返ヘシタ、ソレカラ議會ガ了ッテカラ何分埒ガ明カラヌカラ、三十二年ハ田中正造君ガ議會ニ於テ論ジタ如ク、議會ノ終ッテ後屢々當局者ノ人々ニ此事情ヲ述べ、内務省ニ至ルコト十六回デ、屢々多用ノタメニ會フコトガ出來ナイデ、時ノ内務大臣西郷侯ニ、十六回ニタッタ一回面會スルコトヲ得タト云フコトデ、他ノ當局者ニモ此ノ如キ有様ヲ論ジ、或ハ告ゲ、或ハ哀願シタ、斯ウ云フ譯デアリマスガ、依然トシテ明治十三年以來、此問題ハ少モ解釋サレテ居ラヌノデ、已ムコトナシト云フ有様ヲ議會ノ開ケル度毎ニ請願書ハ山ノ如ク、田中正造君ハ自分ハ是非共ドウカシナケレバナラヌ、取分ケ越ケ谷ノ說諭ニ依ッテ引受ケタメニ、屢々質問書ヲ出シタガ、耳ハ熱シテ事柄ハ世ノ中ニ證明サレヌ、又鑛毒事件ノ質問デアアルカト聞流サレテ居ッタメニ、隱伏シテ此地下ニ沈メラレテ居ッタハ、人民ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ノコトデアリマス、果セル哉此ノ如キ有様カラ前ニ引證シタ刑事ノ被告ガ起ッテ、三十三年二月十三日ニ、大勢ノ者ガ群馬縣ノ或ル村ニ寄リマシテ、是カラ勢揃ヲシテ、是ヲ終リノ請願トシテ出ヤウト盟約シテ、出掛ケテ參ッテ者ガ二千六百人、然ル處中央政府ハ此人ヲ中央ニ出スナト電報ヲ打チマシタカラ、上官ノ命令ニ其儘取捨ヲ加ヘズ、其儘事情ヲ加ヘズシテ押ヘロ、手足ノ職分ヲ執ル巡查ハ之ヲ押ヘナケレバナラヌ、川俣村ト云フ所デ川ヲ隔テ取押ヘヤウトシタ、片方ハ終ノ請願トシテ出タノデ、前ニハ一万何千人出タトキハ越ケ谷デ、此事情ヲ疏通スルカラ歸レト言ハレタガ、此疏通ハ一年經テモ何モ出來テ居ラヌ、被害ガ元ノ如クナラバ此處ニ居ッテ窮苦シテ居ッテ、安全ヲ得ナケレバ寧ロ中央ニ出デ、此事ノ終ルマデ歸ルマイト盟約シテ、二千六百人出タ、其二千六百人ヲ川俣村デ巡查ガ押ヘタ、押ヘレバ決心シテ出ヤウト云フノデアアルカラ、一場ノ殺闘ヲ開イテ大分怪我人ガ出來タ百人以上ノ怪我人ガ出來タ、是ハ前ニ本員ガ申シマシタ所ノ兇徒嘯集罪ヲ以テ問ハレマシタ原因デ、ソレヲ分析シマスレバ何ノ兇徒嘯集罪ニ問フコトハナイ、果セルカナ論告シタ所ノ裁判官ハ、兇徒嘯集罪ヲ以テセズ、唯官吏抗拒、官命抗拒トハ巡查ガ歸レト云フノヲ、歸ラヌデ押出シタカラ、是ダケノ罪ニナッタ、此間ニ騒動ガアッテ百人以上ノ怪我人ガ出來マシタケレドモ、前ニモ申シタ通、私ハ此場所ヘ出テ怪我ヲシタト云フコトヲ告グレバ、罪ニナリマスカラ牢ヘ入レラレルガ恐ロシイト云フノデ、傷ヲ裏ミ怪我ヲ蔽ウテ皆隱シテシマッタ、百人以上アッタガ、顯レテ捕ッタ、ドコニ傷ガアル、彼處ニ傷ガアルト云フコトニナッタ、其間ニ或ル餘リ地方官ガヒドイ、餘リ巡查ガ慘酷デアルト申シマスガ、本員ハ決シテ左様ハ思ハヌ、巡查ハ固ヨリ止メロト云フ命ヲ奉シテ、止メテモ止マラヌカラ力ヲ以テ制スル、其故ニ雙方ノ間ニ其爭ガ起ッタ有様デアアル、地方官モ己ノ意見ヲ以テ、中央政府ヲ動スト云

フヤウナル氣節アル地方官ハ、今日ニ望ムコトハ出來ヌ、手足ノ如キ旅役人ト見テ宜シイ、然ラバ何故斯ノ如キ有様ニナツタカト云フト、中央政府ガ親切ニ此狀態ヲ調ベテヤラヌ、所謂臭イ物ニ蓋シテ苦情ヲ押ヘテ、一日經テ宜シイト云フコトヲ以テ、下ニ居ル者ヲ制センガタメニ、力ヲ用ヒズシテ眼ヲ眠ラセルカラ、地方官ハ或ル事情ヲ取次イデ吳レヌ、請願ノ取次モセズ、左様ノコトハセヌガ宜シイト云ツテ、奥印モシテ吳レヌ、斯ノ如キコトガ郡長ニ及スカラ、郡長モ奥書ヲシナイ、奥書ヲシナイ、請願ハ中央ニ達シナイ、斯ウ云フ譯デ、即チ政府ノ怠慢不忠實ガ原因トナツテ、斯ノ如キノ多數人民ガ騷擾ヲシテ、徒ニ裁判所ヲ煩ハスト云フヤウニナツタノハ、是ハ孰モ政府ノ怠慢ト言ハナケレバナラヌ、何レノ政府ト云フコトハ出來ナイ、十年ノ間屢ニ内閣ガ變テ居ルカラ、何レノ政府ト指スコトハ出來ナイガ、何レノ政府ト雖モ内閣ト雖、日本ノ政府、日本國ノ内閣ニハ相違ナイカラ、日本國ノ内閣ガ是ダケ憐レムベキ人民ヲ殺シニシテ置イデ、出掛ケテ來レバ力ヲ以テ押ヘル、押ヘテ置イデ、是ヲ爭ヘバ即チ獄ニ投ズルト云フ事實ニ至ツテハ、何レノ内閣ト雖モ、此責ヲ今日マデ、免レヌト云フコトハ明瞭デアルト思ヒマス、誰ト云フ人ヲ言ハヌガ、皆斯ウ云フ具合デ、即チ事情ガ不明デアツタ、外ニハ軍ガアリ、内ニハ議會ガ解散ニナリ、屢ニ内閣ガ變リ、内閣自ラ他ヲ願ルニ暇アラズト云フ、十年ノ變遷ノタメニ斯ノ如キコトガアツタガ、害ヲ被ツタ人民ノ氣ノ毒ナコトハ、一點ノ嘘ノナイコトデアアル、前ニ概略申シテ置キマシタガ、即チ是ガタメニ入獄シタ者ガ總體デ六十八名アツテ、免訴十七人デ、獄ガ一年ノ間續キマシテ、是ダケノ間ハ稼人ハ半ヘ這入ツテ居ル、イトミサヘ田畑ガ荒レテ居リマス所ニ、稼人ガナクテ飢ニ泣イテ居テ、或ル者ハ救助ノ金ヲ給シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、獄ガ決シテ、内重罪二十三名、輕罪四十五名ト云フ者ガアツテ、此中ニ再ビ其科ハ承諾出來ヌト云ウテ控訴シタモノモアル、許サレタ者ハ檢事ノ方デ控訴シタ者モアリマスカラ、唯今控訴院ノ厄介ニナツテ、漸ク保釋セラレテ故郷ニ歸リマシタガ、是カラ國費ヲ使ツテ裁判所ヲ煩ハシ、稼人ガ稼クコトガ出來ズシテ、再ビ辯護士ヲ煩スト云フコトハ、此一事件ダケデ續クカト思ヒマス、本員ハ裁判所ヲ酷トモ言ハナイ、法律モ無理トハ言ハナイ、檢事ノ報告モ無理トハ言ハヌ、押ヘナケレバナラヌハ巡查ノ職分デアアル、之ヲ起訴スルノハ檢事ノ職分デアアル、裁判所モ法律規則ニ依ツテ處分シナケレバナラヌ、不幸ナル人民ト同時ニ、又氣ノ毒ナル官吏ト言ハナケレバナラヌ、又此ノ如ク雙方ニ向ツテ不便ヲ與ヘテ、國土ガ荒レ人民ガ苦シムト云フノハ、抑何人ガ其實ニ任ジマスカ、何レノ内閣ト言ハズ、何レノ大臣ト言ハズ、日本國ノ政府、日本ノ内閣ハ、例ヘバ震災ガアレバツレニ救助ヲ施ス、被害ガアレバツレニ向テ救助ヲ與ヘル、尙ホ大火災ガアレバツレニ向テ救助ヲ施スト、斯様ニ一時ニ現レタモノニ、相當ノ撫恤ヲ加ヘルノニ、何故ニ此儘ニ二十年モ棄テ、置カレルカ、是ニ至ツテ事情ニ明ナラザルガタメニ、人ハ實地如何ヲ知ラヌ

ト云フコトハ、此原因デアラウト思ヒマス、斯ウ論ジテ見マスルト、本員ハ事情ニ依ツテ有害有毒ト云フコトダケハ證據立テラレタ、三十年ノ工事ハ望ンダダケノ效力ガナクテ、今日未ダ苦情ガ絶ヘズ、此後ニ一万人ノ出京ガアリ、二千人ノ出京ガアリ、六十人バカリノ入獄者ガアツテ、尙ホ騷動ヲシテ居リマスガ、此間ニ本員ガ注意スベキ一ノ事件ガアル、ツレハドウ云フコトカト云フト、初ニハ害ガナイト云フコトデ辯明書ニ説ガアツタ、又害ガアツテモ止メル程ノ害デハナイ、之ヲ防グ所ノ相當ノ手が居イテ居ルト云フノハ、三十年ノ豫防工事ノトキノ政府ノ意デアアルガ、此蓋ヲ開イテ見ルト唯今申シタ通、國稅デ十七萬圓以上、地籍デナカノ廣イ所ノ二萬四千四百五十町ト云フダケガ免除ニナツテ居ルト、害ノナイ薄イト云フ害ハ非常ナモノデアツタト云フコトハ、此結果ニ依ツテ分ツテ居リマスガ、尙ホ證人トシテ相當ナル人ノ名ヲ舉ゲテ見マスルト、再ビ此人ガ證言ヲ與ヘテ居リマスカラ、其名前ヲ引キマス農科大學ノ教授デアツテ、農學專門ノ人デ、此學問ニ就キマシテハ最モ世ノ中ニ力ノアルト言ハレテ、古在由直ト云フ人ガ證人ニ呼バレタトキニ、此ノ如キモノハ植物ニ害ノアル水デアルト云フコトヲ證據立テ、居ル、此證言ト云フモノハ、農科大學ノ雜報ニ出テ居リマスシ、其時ノ官報ニモ載ツテ居リマス、是ハ最モ三十年ノ豫防工事ヲ爲ス前ノ調ベニ、此人ガ證言ヲシテ居ルノデ、昨年騷動ガアツテ今年ニ涉ツテ居リマス前橋地方裁判所ノ調ベニ、此人ヲ證人トシテ喚シテ有害デアアル、此時ノ證言ハドウ云フ譯デアツタカト云フコト、兎徒嘯聚罪ト云フノデ被告ニナリマシタケレドモ、被告ニナル原因ハ抑何カラ起ツタカ、窮苦ニ堪ヘヌデ訴ヘルタメニ出テ來タノデアアルカ、何カ他ニ惡ルイ所ノ考ヲ持ツテ出テ來タノデアアルカト云フ、意志ヲ定メナケレバ取極メナケレバ共事情如何ト云フ明ニナラヌト云フノデ、辯護士ト檢事ノ間ノ論告ニ筋合ガ違ヒマスカラ、檢事ノ方カラ實地ノ臨檢ト云フコトヲ請求シタ、ツレデ裁判官ト、檢事ト、辯護士ト、打揃ツテ被害地ヲ見タ所ガ、被害ノ有様ニ就イテハ聞イタヨリハ氣ノ毒デアルト云フ感ヲ起シテ、一モ故ナキニ大勢ノ者ガ集ツテ、兎徒嘯聚ノ舉ヲ爲シタト云フコトハ出來ナイデ、遂ニ是ガ結局官命抗拒ト云フコトニナリマシタノデ、世ノ中ノ公ケニ此憐レムベキ民ヲ救フ所ノ原因ニナルト思ヒマス、此古在由直ト云フ教授ガ、此裁判所ニ往ツテ有害デアルト云フコトヲ證據立テ、ツレカラ其外ニ此所ニ相當ノ名ヲ舉ゲテ宜シカラウト思フノハ、實地ニ見テ皆同情ヲ表シ頗ル悲慘ノ感ニ打タレタ人デ、私ノ知り得タ人ノ名ヲ舉ゲテ見レバ、樺山伯、榎本子爵、谷子爵、曾禰荒助君、中村元雄君、是等ノ人ガ皆在職中ニ往ツタ、在職中デ不思議ナノハ、職務トシテ衆議院ニ向ツテ答辯セラレテ居ルトキニハ、捕マヘ所ノナイ答辯ガ出テ居ル、是ガ政府ノ責任ト言ッタナレバ、後トテ處分シテ責任ヲ負ハナケレバナラヌカラ、此ノ如キ質問ニ向ツテハツレ程デハナイト云フコトヲ答ヘテ居ルノハ、衆議院ニ存シテ居ル議事録ヲ御覽ニナツテモ、或ハ速記録其他ノモノヲ見デモ分リマセウガ、併ナガラ其人ガ實地ニ往

イテ見タ人ハ有害デ氣ノ毒ナリト言ツタ、即チ樺山君ガ内務大臣デアッタトキニ、三十年ノ騷動ニ往カレテ、其後ニ私ガ面會シタラバ誠ニ可愛サウナコトデアルト云フコトハ、唯今耳ニ殘ッテ居ルカラ、被害民ヲ憐レム情ニ打レタニ相違ナイ、榎本君然リ、谷君然リ、曾禰君ガ農務務大臣デアッタトキニ、此方ニ出シテ答辯書ハ實地ヲ見テ感シ居ルガ如ク出テ居ラヌ、自身デ見タトキニハ被害者ニ向ッテ氣ノ毒デアルト云フコトヲ、中村元雄君ガ内務次官デアッタトキニ同様ナ感ヲ以テ見タト云フコトハ、此議場ニ向ッテ私ガ公言シテ少モ差支ナイト思ヒマス、此ノ如キ事情デアアル、ソレカラ政府ガ五箇年免租シタ、其後トノ始末ノ現在ニ成ッテ居ル所ノ、氣ノ毒ナル事情ハ前ニ申シタ通り、免租ノ期限ハ其害ノ度合ヲ見積リマシテ、被害ガ此所ハヒドイ、此所ハソレ程デアナイト云フコトハ、眼分量デ極メマシテ、十年、八年、六年、四年二年ト云フコトニ區別シテ、免租シタノデアアルガ、三十年ニ之ヲヤッタノデアアリマスカラ、最早昨年デ盡キテ居ル、盡キテ居ルト元ノ通租稅ヲ出セト云フコトヲ、此收稅官ガ此人民ニ命ジマシタ、所ガ人民ハ害ガ依然トシテ困ッテ居ルカラ、ドウゾ免租ダケハ續ケテ下サイ、當然自分ガ取ルベキ收穫モ得ラレナイノデ、免租ノ期ガ盡キタカラト言ッテ取ラレテハ甚ダ困ルト云フノデ、ソレガ争ノ種ニナルノハ、必ズ此ノ二年ノコトガ濟ンダラバ、四年ノコトガ争ヒニナルト思ヒマス、ソレニ附イテハ憐レムベキモノガアル、此ノ如ク争ッテ居ラヌ時分ニ、最早期限ハ盡キテ來ル、郡長ニ向ッテ與書ヲ呉レ、中央政府ニ歎願ヲスルカラト云フノデ、憐レムベキ人民ガ遠ク東京ヘ出テ來マシテモ、此事情ヲ達スルコトガ出來マセヌガ、屢々東京ニ出テ參ッテ望ヲ失ッテ地方ヘ歸ル、其前ニハ公賣處分ガ來テ居ルト云フノデ、一村公賣處分ニナッテ、一村ノ有様ガナクナッテシマッタモノガアル、即チ安蘇郡界村ト云フ一村ハ十六戸ノ滯納處分ガアッテ、村長モナクナレバ、村會議員モ皆ナクナッテシマッタ、是ハ殘ラズ文書ガ備ッテ居リマスカラ、議長ノ手許ヘ出シテ、名前カラ、土地カラ、其他ノモノヲ速記録ヘ載セテ、諸君ノ御參考ニ供スルガ便利デアルト思ヒマス、界村八十六戸ノ滯納處分ガアッテ、全ク村ノ組織ハナクナッテシマッタノデアリマス、ソレデ唯今滯納處分ニ違ヒツ、アル苦ミツ、アル、而シテ大藏省ヘ持ッテ來テ詮議セラレルト云フコトハ、餘程寛大ナ處分デアアル、内務省ヘ持ッテ往ケバ、規則ニ疑ヒガアルカラ受付ケヌト云フ、ソレカラ豫防工事ハ如何ナル有様ニナッテ居ルカト云フト、是ガ一ノ疑問デアアル、本員ハ斯ノ如キ專門ノ智識ニ附イテハ暗イ方デゴザイマスカラ、唯事情ニ依ッテ考ヘテ見マスレバ、豫防工事ヲ三十年ニ施シテ、三十一年ニ斯ノ如キ騷動ガアリ、三十二年ニ又斯ノ如キ騷動ガアリ、三十三年ニ裁判沙汰ガアルトスレバ、害ガ止ンデ居ルノニ故ナク出テ來ラレル資格ノ人民デハナイ、然ラバ窮苦已マヲ得ズ出テ來ルカト云フコトヲ推測スルモ、マルデ事情ニ迂濶ナリト云フコトハ出來ナイ、尙ホ土地ノ調ベタモノニ依ッテ參考ノタメニ申述ベテ見マスレバ、栃木縣安蘇郡界村字高山ト云フ所ハ、人口八百一十一人、是ガ五年

間ズツ平均シタ所デ、徵兵適齡ノ者ガ十三人カラ十五人、年々アルノデゴザイマスカ、此適齡者ノ間ニ一人ノ合格者ガナイ、三十一年ニ一人ノ徵兵ヲ出シマシタガ、其者ガ入營シテ十日ノ間ニ病ノタメニ歸ッテ來タ、一人ノ徵兵合格者ガ此間ニ出テ來ナイト云フ——適齡者ハアルガ合格者ハナイト云フノハ、豫テ人民ガ衛生ノ上ニ附イテ、嚮々ト申シテ居ッタ結果デアアルマイカト思ヒマス、又松本ト云フ處、是ハ足尾鑛場ノ上手ニアリマスカ、全體ノ土地ニ毒ガ二様ニナッテ、水ニ浸サレタ物ヲ分析スルタメニ火ヲ掛ケテ焚キマスルト、亞硫酸瓦斯ガ出マス、是ガ四面ヘ散リマスト草木ヲ枯ラスト云フ豫テノ苦情デアッタガ、煉瓦ヲ組立テ、大キナ塔ヲ造ッテ、其中ヘ瓦斯ヲ通サヌニシテ、其出口ニハ藥ヲ浸シタ水ヲ翻ボシテ、是デ毒ヲ消サウト云フコトデ其時ハ是ガ學術ノ議論デハ、是デ毒ヲ防グコトガ出來ルト云フノデ、脱硫塔ト名ケテ組立ガ出來テ居リマシタ、即チ硫酸ヲ脱去スル仕掛ノ塔デアアル、是ガ出來タタメニ害ガ一層遠クニ及ンダト云フ苦情ガ起ッタ、其苦情ニ附イテハ誠ニ痛切ナル文書ガ出テ居リマス、是ハ請願委員ノ手許デ御調査ニナッタト思ヒマスガ、尙ホ世ノ中ニ示スタメニ議長ノ手許ヘ出ス積デアリマス、是ガ脱硫塔ノ仕掛ニ依ッテ、亞硫酸瓦斯ヲ無毒ニスルト言ウテ居リマシタガ、一向無毒ニナラナイ、松本ト云フ所ハ全村皆移住ヲ願ッテ居リマス、昨年請願書ガ出テ、今年モ亦續イテ出タト思ヒマス、以前ハ此土地ハ養蠶ニ餘程天然ノ利ガゴザイマシタガ、當時ハ全ク此煙ノタメニ野ニ生草ナシト云フ有様デ、數里ヲ距テ、薪ヲ採リニ往ク、雇ハレテ暮ラシテ居ッタ者ガ、段々崩レテ全村移住ヲ願出タ、其移住ヲ願フニモ何處ヘ往ッテ宜イカ、仕方ガナイカラ移住スル所ヲ、政府デ保護シテ貰ヒタイト云フコトヲ願出テ居リマス、是等ニ對シテ少クトモ、政府ハ其事實ノ有無ヲ調ベル責任ガ、何レカラ見デモナケレバナラヌ、人命ガ危イ、人口ガ減ル、死亡ガ増ス、斯様ナコトガアッタトキニ、例ヘバ地震ノ害ガアッタトカ、海嘯ノ害ガアッタトカ、或ハ流行病ガアルトカ云ハバ、政府ハ一般ノ責任トシテ注意ヲ怠ラナイガ、何故斯ノ如キ痛切ナル訴願、請願、或ハ嘆願ガアルニ拘ラズ、是ダケヲ見テヤラヌト云フハ、實ニ不公平ト言ハナケレバナラヌ、若シ斯ノ如キ害ガナイト信ジタナラ、何故斯ノ如キ虛言ヲ吐ク者ヲ、世ノ中ニ横行セシムルカ、是ハ甚ダ宜シクナイト思ハレマス、又渡良瀬川ノコトニ附イテ其水ノ上ノ害ヲ申シマスレバ、渡良瀬川ハ即チ銅山ノ近傍ヲ流レテ、此川ヘ毒素ガ流レテ苦情ガアル、又其川ノ浸ス所ノ田地ガ荒レルト云フ苦情デアリマスガ、是ハ此コトノ起ラヌ前ニハ、此川ハ栃木縣、群馬、茨木、埼玉ノ間ニ流レテ居リマシテ、地方稅デ此堤防ヲ築キマス、其年々ノ堤防費ガ各縣一萬圓、即チ栃木縣一萬圓、群馬、茨木、埼玉各一萬圓、即チ四萬圓ヲ流域ノ普請ガ出來テ居リマシタガ、唯今トノ位デアアルカ、是モ注意物デアアル、國土保護ト云フコトヲ考ヘテ見タナラバ、セメテ觀察シテ地質ヲ取調ベル責任ハアルト思ヒマス、現在ハ四縣合テ四十萬圓、五十萬圓ノ堤防費ガイルコトニナッテ居ル、是ハ苦情ヲ云フ通河底ガ淺クナッ

テ來ルト、ソレト同時ニ草木ヲ枯ラスカラ、堤ニ生ヘテ居ル草木ガナクナッテ土砂ガ入込ミ、壞崩々々仕方ガナク、殊ニ洪水ノアツタトキニハ四五十萬ノ國庫補助ヲ仰カネバナラヌコトニナッテ來ル、ソレガ前ニハ其國庫補助ガナクカッタノガ、唯今ハ合テ四五十萬ハイルト云フ、異常ノ出來事ト云ハナケレバナラヌ、總體ヲ述ベルコトハ時間ニ限ガアリマスカラ、爲スコトハ出來マセヌケレドモ、桐生町ノ一箇所ノ事情ヲ述ベマスレバ、桐生町ハ分レテ新宿ト云フ所ガゴザイマス、是ハ關東有名ナル織物場デアッテ、近時ニ至ッテハ絹ノ織物ハ他縣ニ知ラレテ居リマスガ、何故ニ斯ノ如ク事業ガ發達シタカト云フト、流レノ水ニ依ッテ絲ヲ酒ラシ絲ヲトル便利ガアツタ、即チ河水ノ便ヲ利用シテ成立ッテ、新宿ダケデモ十萬圓程ノ產業ガ成立ッテ居タガ、河水ノ汚レタルガタメニ此業ヲ外ニ移シテ、二百ノ井戸ヲ新ニ掘ッテ、前ニ河デヤッテ居タモノガ、井戸ノ仕事ニナッテシマッタ、併ナガラ是等ノ土地ノ人ハ、斯様ナル害ヲ受ケルト云フコトヲ、言ハヌ方ガ利益デアアル、如何トナレバ、其土地ノ名産ニ關係スルカラ、ソツトシテ置イタ方ガ宜イ、是ハ格別ノ苦情ハナイガ、事實ハ多クノ財産ヲ掛ケテ、河ヲ井戸ト變ヘテ不自由ヲ感シテ居ルコトハ事實デアアル、斯ノ如ク經濟ノ上ニ附イテモ、國土ノ上ニ附イテモ、人命ノ上ニ附イテモ、色々ノコトガゴザイマス、之ニ向ッテ調査會ヲ拵ヘテ貫ヒタイ、直チニ今如何ナル處分ヲシロト云フテ、不調ベナ政府ニ投込ヲスルノデナイ、能ク調査ヲシテ吳レト云フコトハ、昨年ノ建議デアツタガ、何故ニソレヲ顧ミナイノデアアルカ、政府ハ一般ノ職務トシテ爲サナケレバナラヌコトハ、前ニ申シマシタ通、流行病ガアルトキニハ溝渠マデモ掃除ヲセヨト注意スル、衛生上ノ責任ガアルデハナイカ、又徵兵ヲ拵ッテ通レ、バ罪ガアルト云フテ、國ヲ防グガタメニ各自ニ負ハセル者ヲ、一村舉ッテ應ズルコトガ出來ナイト云フモノヲ、不問ニ措クコトガ出來マセウカ、蠱毒ノ害ニアラズシテ、他ノ害デモナイト云フコトヲ證明セラレヌ間ハ、政府ハ一般ノ職分トシテ、相當ノ責任ヲ盡サナケレバナラナイ、然ルニ之ヲ爲サシテ旅役者の地方官ニ委ネ、地方官ハ又中央政府ノ鼻息ヲ窺ウテ、期限ガ盡キレバ害ハ前ヨリ加ッテモ、滯約處分ヲシナケレバナラヌト云フ、是ハ決シテ調査ヲ答メルコトモ出來ナケレバ、稅吏ヲ答メルコトモ出來ナイ、地方官ヲ答メルコトモ出來ナイ、之ヲシテ茲ニ至ラシメタル中央政府ノ怠慢ニ向ッテ、吾々ハ苦情ヲ言ハナケレバナラヌ、人民ガ蜂起シタ、蜂起シテ巡査ト闘ツタ、ドウシテモ是ハ罪ガアルト云ッテ問ハレルノハ致シ方ガナク、併ナガラ之ヲ無罪ニセヨトハ吾々ハ言ハナイ、其茲ニ至ル所以ノ本ヲ治メルコトヲ、政府ニ向ッテ忠告シナケレバナラヌ、然ラバ是等ノコトハ到底防グ能ハザル所ノ害デアアルカト云フニ、是ハ一ノ疑問デアラウト思ヒマスガ、私ハ今ニ於テ左様ニ信ジナイ、親切ニ、懇篤ニ、之ヲ研究シマシタナラバ、防ギマシタナラバ、防ゲナイト云フ斷案ヲ下スコトハ出來ナイ、唯今マデ防ゲナイノハ、工事ノ不完全ナノデアアルカ、學術ガ未ダ至ラザルカ、ソレトモ本當ノ規則ヲ履行シナイト云フコトヲ、不問ニ

措クノデアアルカ、例ヘバ斯ウ云フコトガアリマス、唯今マデ工事ノ監督ヲシテ居ル技師ノ狐崎某ト云フ人ガ居リマスガ、是ハ相當ノ學術ノアル人デアアルト承ッテ居リマス、此事務ヲヤッテ居ル南某ト云フ人ガアル、是等ノ人ハドウ云フ人デアアルカ、此南某ハ三十年ニ政府ガ豫防工事ヲ施ストキニ當ッテ、東京ノ方面、關東ノ方面ノ監督者デアアル、今日ハ是ガ被監督者ト爲ッテ、此工事ニ從事シテ居リマス、狐崎某モ左様ナ履歷ガアルト云フコトデアリマス、ソレ故ニ斯ノ如ク多クノ資本ヲ注ギ込シテ、多年此事業ヲ經營シテ、多クノ給料ヲ與ヘテ居リマスカラ、政府ノ監督者ヨリモ履歷ヲ積ンデ居ル、政府ノ監督者ヨリモ多クノ金ヲ遣ッテ居ル、政府ノ監督者ガ職ヲ止メレバ、安全ヲ得ルト云フコトガ茲ニアリマスカラ、實ハ監督ノ命令ヲ行ハレルト云フコトヲ、私ハ信ズルコトハ出來ナイ、命令ノ行ハレナイ、被監督者ガ即チ監督者ヨリ、權威ヲ多ク取ルベキ組立ニナッテ居ルカラ、中央政府無方ナリト言ハナケレバナラヌ、責任アル政治家ハ中央政府ノ斯ノ如キ關係ヲ見タナラバ、嚴重ニ視察シテ國土ノ永遠ノ利益ヲ保護スルコトヲ注意シナイデ、爲スガ儘ニ爲シテ一片ノ内達、一片ノ訓諭ヲ以テ、斯ノ如ク冠履倒ニナッテ居ル所ノモノヲ、適當ニ監督ヲシヤウト云フノハ、抑、誤ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、其一例ヲ私ハ舉ゲテ見マシタナラバ、茲ニ此事ニ注意ヲ始メテカラ、屢志ヲ同ジウスル朋友ト語ッテ、ソレカラ得タ所ノ新ナル、頗ル驚イタ報告ガアリマス、其報告ハ其人未ダ多クノ人ニ知ラレズト雖モ、私ハ其人ガ十分信用アル、識見ノアル人ト思ヒマスノハ、前ニ同志社ノ教頭ヲシテ居タ安部磯雄ト云フ人ガアリマスガ、此人ハ矢張斯ノ如キ問題ガ世ノ中ニ出テ、是ハ嘘ノコトデアアルカ、本當ノコトデアアルカ、田中正造君ガ一人デ背負ッテ居ルベキ問題デアアルカ、抑、全國ノ人ガ注意スベキ問題デアアルカ、政府ハ人民ノ苦情ヲ聽捨ニシテ置クベキ問題デアアルカ、若シ斯ノ如キコトガ神經敏捷ノ國ニ現レテ、十年ノ長キニ涉ルト云フコトハ、殆ド國ハ亡ビテ居ルカ、政府ハ無イノカト怪ムデゴザイマセウノニ、而モ其事ガ此輩般ヲ距ル僅ニ二十里ノ地ニ現レテ居テ、議會ニモ毎回請願書ガ出、毎回質問ガ出ルノニ、ドチラガ本當デアアルカ分ラヌト云フノハ、甚ダ遺憾ノコトデアアルト云フコトデ、此人ハ同志ト共ニ是等ノ地方ヲ巡回シテ、元ト鑛業ニ付イテ專門ノ經歷アル人デハゴザイマセウガ、親切ノ心カラ已ヲ欺カザル信用ヲ持ッテ、色々文書ヲ徴シテ見タ中ニ、一ツノコトガアル、此文書ノ中ニ備ッテ、此文書ト共ニ前橋裁判所ニ證據書類トシテ出シタ、此文書ノ前書ハ私ガ自身デ書キマシタ、私ガ證人トシテ喚バレルトキニ、此文書ガ證人モ同ジダト云フノデ、前橋裁判所ニ出シマシタノデアリマスガ、其中ニ引用致シマシタ、唯今デハ或ル學校デ教師ヲシテ居リマスガ、元ハ足尾銅山ノ事務員ヲシテ居タ人ノ語ッタト云フ報告ガ載ッテ居ル、ソレハ被害人民モ知ラザル一大毒害ガアツテ、ソレハ誰モ知ラナイ、斯ウ云フコトガアル、此種ノ石鑛物ヲ取ッテシマッテ、鑛物ガ中ニ混ッテ居ル石ヲ遠クハ棄テルニハ、餘程運賃ガ嵩バツテ谷ヲ越ヘ山ヲ隔テテ、向フニ棄テニ往ク、此中ニハ小サナ

٤١١٥

一七六	〇七六	篠崎仙藏	一四二	〇四二	黑田伊三郎
〇八三	〇三八	篠崎淺五郎	一三五	〇五九	糸井周吉
〇七三	〇九六	篠崎三平	一三五	〇五七	糸井周太郎
〇八三	〇三二	手島久四郎	〇七三	〇三二	茂呂宗次郎
〇六三	〇三二	長崎伊三郎	〇九一	〇八〇	黑田彌平
〇九〇	〇三三	福地	一三一	〇六〇	小久保重太郎
〇四〇	〇八三	糸井喜代七	一三七	〇五〇	茂呂卯平
〇九〇	〇三九	糸井幸七	〇九〇	〇二八	茂呂平吉
二〇二	〇九八	篠崎清作	〇七〇	〇八〇	黑田留藏
〇九八	〇三七	篠崎代吉	〇五八	〇三〇	若茂善太郎
〇六〇	〇三八	黒川イセ	〇七〇	〇三〇	杉山作藏
〇七六	〇三三	黒川兵吉	〇四六	〇四六	黒田七五郎
〇八四	〇三五	篠崎アサ	〇五五	〇四四	手島又五郎
一〇一	〇四八	篠崎卯市	〇六二	〇六二	福地寅次郎
〇八六	〇二四	篠崎幸藏	〇六〇	〇三八	黒田長吉
一〇九	〇八二	黒田富吉	〇九二	〇三六	山田喜平
一〇四	〇五〇	糸井光五郎	〇八一	〇三二	黒田善平
〇五三	〇二六	糸井竹藏	〇九一	〇三〇	篠崎兵吉
一〇五	〇四二	糸井藤次郎	〇七四	〇三〇	山口ム吉
〇五二	〇二四	島田竹次郎	〇五五	〇〇八	永島ム吉
〇七五	〇二八	黒田寅吉	〇一七	〇四六	新樂繁藏
一〇八	〇四〇	島田四郎平	二九八	一三六	新樂庄三郎
〇二六	〇九四	糸井小吉	二五七	一〇五	島田文次郎
〇五二	〇二〇	島田龜太郎	〇三三	〇〇八	安原定市
二三八	〇九四	野口吉次郎	〇四三	〇六八	水戸部仁助
〇一九	〇六八	野口春藏	〇八九	〇三八	奥澤平四郎
五八七	二五二	鹽野久兵衛	〇八二	〇三六	岩崎禮七
三四八	二七〇	新樂新三郎	五五九	二二〇	水島禮七
八八七	三六二	馬門共	〇二八	〇七六	小野澤常七
一八三	〇七四	大島己之吉	〇八一	〇三二	上岡周藏
〇九三	〇三二	大島小彌藏	〇九四	〇三二	上岡林藏
〇七九	〇三〇	大川七藏	一六三	〇六四	大岡伴次
〇五八	〇二八	小島カネ	〇三三	〇二四	大岡政七
一〇一	〇四二	大川喜平	〇九七	〇一〇	島崎龜吉
〇七五	〇三〇	永島安三郎	〇四九	〇六二	飯塚林次
〇七五	〇三〇	大島清次	〇二七	〇一〇	江田傳八
〇二七	〇〇二	小野澤茂平	一四一	〇五七	大鷲傳吉
一六五	〇四七	小暮吉三郎	〇六四	〇九六	五十畑傳平
〇八九	〇三六	小野巳之吉	一〇三	〇四八	五十畑藤平
〇〇〇	〇九六	大鷲廣藏	一六五	〇四七	小野文藏
〇九一	〇三六	小林市太郎	〇九〇	〇二六	島崎與三郎

徴兵適令者調

適令者氏名

栃木縣安蘇郡界村大字高山

適令者氏名

手島 留吉

田名綱 庄八

手島 藤藏

手島 留吉

二十八年度一八九八〇二

二十九年度一八九八〇九
篠崎 代吉
茂呂 久藏
杉山 誠助
三十年度一八九八〇一
山口 彦藏
手島 久四郎
島田 倉吉
糸井 幸八
福地 彦藏

三十一年度一八九八〇九
黒田 繁十郎
島田 權藏
手島 長作
糸井 留五郎
茂呂 八藏

三十二年度一八九八〇一
篠崎 太吉
黒田 留吉
島田 清吉
白居 興三郎
糸井 忠次

合計戸數六百二十六人口四千四百五十五
(備考) 大字高山ハ全部徴毒激甚地ノ處明治三十一年ニノミ腰高忠次郎ナル者出兵スルモ入營後十日以内病ノタメ除隊セラレ放ニ五箇年中一名モ出兵者ナシ是レ徴毒ノ原因ナリ

徴毒地租稅未納處分ノ義ニ付陳上書

栃木縣安蘇郡界村

右陳上仕候本村ノ義ハ別紙略圖ノ通り渡良瀬沿岸無堤地ニシテ年々歳々洪水ノタメ徴毒浸入故ニ激甚ヲ極メ候處ヨリ夫々諸請願ヲナシ地租ニ至リテハ特別免租ヲ請願スルモ地租條例ヲ以テ本村徴毒地ヲ二十九年度ヨリ十箇年八箇年六箇年四箇年二箇年ノ五級ニ區分シ免租年期ヲ付與ノ當時其調査區分方尤モ粗漏ニシテ被害民ヨリ種々陳上候得共地租條例ニ明文モ有之旁ニ付期明ニ至リ復舊セサル土地ハ尙繼續年期許可相成ヘクニ付一ト先ツ承知可致旨宇都宮稅務管理局長高瀬量殿ヨリ強談ニ及ハレ候處ヨリ彼是候中明治三十一年ノ大洪水ニテ尙徴毒浸入セシヲ以テ十箇年ヨリ二箇年ニ至ルマテ通シテ二箇年ノ更正トナリ其末級二箇年ノ土地ハ明治三十三年期明ナルヲ以テ繼續年期出願候處無調査ニテ開居難ク旨指令セラレタルヨリ左ノ結果ヲ來シ候

第一 年期明ノ土地ニ對シ成規ノ通り繼續年期願明治三十三年十二月二十八日付ヲ以テ新任管理局長中島準殿へ差出候處只一回ノ調査モナク翌一月八日付ニテ開居難キ旨指令セラレタリ

第二 前項不認可セラレタルニ就テハ尙請願可致ト協議罷在候中川俣事件出來思ナカラ打捨置七月二十一日付ヲ以テ繼續年期ノ請願書ヲ大藏

大臣へ捧呈同時ニ管理局長へ其旨居置同月三十一日村長糸井藤次郎大藏省へ出頭田尾總務官長ニ種々陳述候處同官ニ於テモ深ク被思召夫々調査可致旨被申聞タリ

第三 前項請願書ヲ差出シ置候處復舊地ニ對スル登錄稅納入可致旨、同月二十六日付ヲ以テ管理局長ヨリ通達アリタリ

第四 前項通達セラレタルニ付請願中納稅延納願同局長へ差出シ候處十月四日同局長佐野稅務署へ來リ村長及被害民ヲ召喚シ申様年明ノ土地ニ對シ本省ヨリ別ニ通達無之ニ於テハ徵稅致シ候條速ニ登錄稅及正稅共上納可致旨被申聞該延納願書却下セラレタリ故ニ村長及被害民等續毒ナルモノハ一度タリトモ浸入セシ以上ハ容易ニ恢復セサルモノト被認前ノ高瀬局長申ニモ復舊ニ至ラサルトキハ地租條例ニ依テ繼續年明出願云々トノ言モ有之旁々甚シキニ至テハ本年ノ如キ極テ小水ニテモ期明ノ土地ニ續毒浸入セシモノ數多有之程ニ該事件處分ニ至ルマテ是非々々延納致候條相願候處中島局長申様夫レハ不穩當ナル言ナリ本官ハ條例ヲ以テ取扱フモノニテ恢復セシモノト認定セシヲ以テ徵收セサルヲ得ス之ヲ納稅セサルニ於テハ國體ヲ犯ストカ國務ヲ妨害スルトカ又他郡他町村ニテハ夫々納付スルニ獨リ界村ノミ上納セサルハ如何ニモ不都合ノ所爲ナリト被申聞又村長被害民等何様被仰聞候ニモ正當ナル調査ヲ以テ爲スモノナリ

免モアレ只一回ノ調査モナク他町村同様ノ御取扱ニテハ差支候本村ノ如キ無堤地ニシテ直接續毒水汎濫逆流浸入セル土地ニシテ收穫モ年々相減シ加フルニ別紙ノ如ク大字高山最近五箇年ノ徵兵適齡者五十一名中何レモ不合格等ニシテ一名モ出兵セザル狀況ニテ他ニ比類ナキモノナレハ到底納稅方差支ノ旨ヲ答テ歸村ス

第五 本村會ニ於テハ若シ万一ニモ未納處分云々ニ付テハ村治破壞ノ恐アルヲ以テ夫々狀ヲ具シ十月二十三日付ヲ以テ內務大藏兩大臣へ宛テ納稅猶豫ノ上申安撫郡役所へ差出シ候處中森郡長申様續毒地繼年期云云ニ就テハ本省ニ於テモ一切採用不相成是迄差出シアル請願書ハ其儘預リ置クマテニテ如何ニ出願スルモ到底詮議致シ難ク就テハ何様ノ書類ニテモ決シテ進達スベカラサル趣ヲ以テ本縣ヨリ被相達然ルニ納稅云々ニ就テノ町村會ニ於テ關係スベキモノニアラス云々トシテ同二十五日書面ヲ却下セリ

第六 前項同時ニ管理局長へ向テ兩大臣へ納稅猶豫上申候ニ付特ニ猶豫相成度旨申越候處直チニ却下セリ

第七 十月三十一日本縣知事ノ命ヲ得テ大槻戶參事官及郡長代理志村郡書記當村役場ニ來リ被害民打集メ申様是迄ノ事ハ萬事差置今般ノ復舊地租稅ハ是非トモ相納候様致度然ル上ハ充分盡力可致ニ付納稅シテハ如何ト被申聞被害民等ハ管理局長へ陳上同様種々答フ又參事官申様既

往ノ事ニ就テハ隨分違法ノ様ナ事柄モ定テ可有之候得共先ツ夫レハ夫レトシテ是ヨリ本縣ニテモ曾一會盡力可致ニ付協議ノ上答申スヘク云云トシテ歸縣ス

第八 中森郡長及安田佐野稅務署長十一月七日本村へ來リ被害民ヲ打集メ納稅セサルニ於テハ未納處分云々ト種々説明スルモ本村ノ義ハ他町村トハ大ニ異リ激甚極メル土地ニ付適當ナル調査ノ上ナラテハ納稅差支ノ旨答フ

第九 十一月廿日尙又本縣參事官及中森郡長來ツテ村會議員及被害民等打集メ申様過日夫々申談置候通リ是非トモ納稅セサルハ不都合ナリ又不得策ナリ云々ハ強テ申談タルモ被害民等前同様ノ旨趣ニテ答フ

第十 十一月二十四日村長郡役所へ召喚郡長申様繼年期ノ義ハ如何ニ出願スルモ其筋ニ於テハ決シテ詮議不相成ニ付其旨心得ヘシト被申渡村長ニ於テハ何様強談ニ及ハレ候トモ適當ナル調査ニアラサレハ納稅差支ノ旨ヲ答フ

第十一 十一月二十九日付ヲ以テ被害民ヨリ續毒地納租ノ義ハ相當ノ調査ニアラサレハ差支ノ旨本縣へ宛テ答申書郡役場へ差出シ同時ニ中島管理局長へ嘆願書差出シ候處何レモ却下稅務屬ヲシテ滯納報告可致旨毎日役場へ督責來ル

第十二 十二月十三日安田署長及中森郡長來リテ滯納報告ヲ村長ニ督責ス

第十三 十二月十五日早朝ヨリ安田署長等來リ村長ヨリ該報告書ヲ受取同時ニ村長及收入役へ督促金狀交付ス同十七日被害者惣代村會議等ノモノへ同令狀配付同二十日其他ノ被害民へ配付ス尤モ強談ノ説明ニ依テ相納候モノ多少アリ

第十四 十二月二十五日鈴木田所兩稅務屬來ツテ村長宅ヲ始トシテ家宅搜索等ヲナシ財產差押ヘ(重ニ通貨)順次執行中老人婦女子等ノ宅ニテハ違言ヲ以テコマカシ甚シキハ金員受取領收證ヲ交付シタルアリ故ニ主人歸リテ見レハ驚入是ハ差押ニアラス違法ナル處置ニアラサルヤト屬吏ニ申談候處一時引上警官ヲ雇出張シ威張ラナシテ財產ノ差押ヘヲナシタリ

第十五 其後被害民中稅務署へ出頭差押ノ手續違法ニ無之哉ト尋問候處本官等ハ規則ニ依テ取扱フモノナレハ決シテ違法ニアラスト威張チラシテ取敢ハス

第十六 別紙ノ通未納處分相成候ニ付界村役場ハ助役野口春藏入監以來助役缺員ノ處今般村長議員等解職セラレ殘ル議員モ辭表續出自治破壞シ同二十七日村長職務管掌トシテ安撫郡書記大川文次郎ナルモノ來ル但縣稅地租割ハ郡長ノ處分其狀況ハ略ス右ノ通り租稅未納處分ノ概略謹テ陳上仕候也

明治三十四年二月

元界村長 糸井藤次郎
被害民總代 大竹 伴次

同 糸井 小吉
同 茂呂 平吉
同 黒田 善平

貴族院議員

三好退藏殿

地租未納ニ付差押調書

増玉縣北増玉郡利島村大字麥倉三十七番地

片山嘉兵衛

一金三錢

一金五錢

一金三拾五錢八厘

一金五錢

計金四拾八錢八厘

右ニ對スル差押品

一枳六斗

土地復舊ニ付土地臺帳へ登録稅
督促手數料
三十三年度郡村宅地租一期
督促手數料

玄米ニシテ參斗位

明治三十三年十一月十四日

出張稅務官吏 忍稅務署屬 黒田爲一郎
立會人利島村收入役 山中新一郎

右差押トシテ出張セシ稅務吏ノ所爲ニ對シ左ニ其實況ヲ陳述致候

明治三十三年十一月十四日午後五時二十分稅務官吏黒田爲一郎ハ立會人山

中新一朗ヲ隨ヘ意氣昂然暴威ヲ逞フシテ入來リ前記差押タル物品屋內ノ入

口ニ堆積シアルニモ不拘直ニ土足ノ儘ニ登リ算筒ヲ引明ケ衣裳ヲ取出

シ長持ヲ蓋ヲ取放チ夜具ヲ取り散セシニヨリ家人ハ其所爲不法ニアラサ

ルヤト問ヒシニ渠ハ不法ニアラスト答タリ依テ家人ハ其橫暴ナルニ果シテ

階下ニ降リテ其立會トシテ出張セシ山中新一郎ヲ呼ビ渠レノ所爲ハ職權ヲ

濫用スル不法ノ所爲ト認ムルニ依リ此旨巡查駐在所ヘ居ケ出ント語リタル

ニ渠レハ此言ニ驚キ階下ニ降リテ前記ノ物品ヲ差押ヘタリ以下本村ニ於ケ

ル未納者三百一戸

及ヒ川邊村一百七十二戸何レモ右ノ如キ例ニヨリテ執行セラレタリ本村民

ハ之ノ橫暴ニ對シ管轄加須警察署ヘモ其趣キ申告候

錢登錄稅金一錢督促手數料金十錢滯納ニ付差押ヘラレタリ是ハ渡良瀬沿岸
ニテ續毒激甚ノ爲メ六ヶ年免租年期中ナルニモ拘ハラス此執行ヲ爲シメ
右陳述仕候間御讀譯被下候テ御救助ノ道ヲ奉願候恐惶謹言

増玉縣北増玉郡利島村

片山嘉兵衛

同縣同郡川邊村 井田 兵吉

續毒荒地免租年期明ノ土地ニ對シ稅務署及監理局大藏省ニ
向テ實地調査ノ上免租繼續年期附與相成度様再三請願ニ及
ヒタル處左ノ有様ニ其實況陳情仕候

群馬縣邑樂郡續毒被害地各町村ノ土地ハ去ル明治二十三年同二十七年同二

十九年同三十一年ノ四回堤塘破壊ノ爲メ本郡ノ内十有餘箇町村ノ土地ハ再

三ノ被害ニ罹リ困難致居ル處特ニ二十九年九月中渡良瀬川ノ大洪水ノ爲メ

本郡北方ハ渡良瀬川西方ハ渡良瀬川ヨリ矢揚川ヘ逆流南方ハ渡良瀬川ヨリ

谷田川ヘ逆流ノ爲メ三方堤塘ハ悉ク鋸ノ齒ノ如ク二十數箇所破壊シタルニ

付足尾銅山ヨリ流出ノ續毒土砂侵入シ被害ニ罹リタル土地ニ對シ去ル三十

年內閣ニ於テ調査會ヲ設立シ續毒荒地調査委員ヲシテ實地ニ就キ調査ノ結

果續毒有害ナリト認メタル土地被害厚薄ノ區域ヲ立テ免租處分ヲ受ケタル

土地ノ內昨三十三年免租年期明ト雖モ未タ土地恢復セサル爲メ地主一般ヨ

リ其期明ニ至ラサル內ニ實地御調査ノ上繼續年期御附與相成度様各町村地

主一般町村長ノ與書ヲ經テ稅務監理局長ヘ出願セシ處地方稅務署長ノ(日

ク)未タ續毒荒地ニ對シ新法律ノ制定無之候得ハ稅務監理局長ト雖モ專斷

ヲ以テ採用ナスコトハ職務上到底取リ扱フヘキモノニ非ス故ニ如何ニ有害

ナルト雖モ地租條例ニ依レハ作附アル荒地ニ對シテハ年期明ケタルトキハ

則チ稅務監理局長ニ於テハ土地復舊シタルモノト是認シ各地主ヨリ該土地

復舊届ノ手續ナスト同時ニ登錄稅上納ハ右規定ニ依リナスヘキハ當然ノ事

故願意難聞届旨ヲ以テ御指令相成リ候

曩ニ續毒荒地年期明ノ土地ニ對シ地主一般ヨリ繼續年期出願セシ處稅務監

理局長ニ於テ前述ノ如ク續毒荒地ト普通洪水ノ荒地トハ全然性質ノ異ナル

荒地ヲ同性質ノ様御方針ヲ以テ未タ恢復セサル荒地ニ對シ實地一片ノ御調

査ナク無責任ニモ取扱被致止ムコトヲ得ス昨三十三年五月中本部大島村外

二十一箇町村被害地主一般ニ於テハ町村長ノ與書ヲ經テ右繼續年期御付與

相成度様地方廳官ヲ經由シテ大藏大臣ヘ請願ナサント邑樂郡長ニ對シ添書

願出シタル處郡長(日ク)地租條例ニ依レハ現在作與アル荒地ニ對シ免租繼

年期與與ナス云々ノ件規定ニ明文ナキ限リハ續毒荒地ト雖モ請願ノ事實正

當ナリトハ職責ヲ以テ是認シ難シ爲メニ別ニ新法律規定無之限リハ土地復

舊シタルモノト認メ該請願書ニ對シ郡長ヲシテ添書差出シ難キ旨ヲ以テ却

下セラレ

我々被害民ハ止ムコトヲ得ス地方廳官ニ於テ添書與ヘサル事實ノ理由ヲ添
ヘ大藏大臣ヘ上申書相添ヘ請願仕候處實地一片ノ調査無之ニ付同年七月
中尙又貳拾貳箇町村被害地主一般ヨリ至急御採用相成度様町村長ニ於テ請願
書攜帶シ邑樂郡長及地方廳官ノ添書願出テタル處郡長ノ(曰ク)又々前同様
再請願ニ對シ今回モ到底添書差出シ難キ旨ニ付止ム無ク町村長等ニ於テモ
地方官ノ添書ヲ與ヘサル理由相添ヘ再々大藏大臣閣下ヘ捧呈シ請願中ノ處
郡長ノ(曰ク)群馬縣知事ノ命令ニ依リ是レニ反シ鑛毒荒地免租年明ノ土
地ニ對シ三十三年度地方稅地租徵收令狀各役場ヘ發布シ各町村長ニ於テ
ハ其筋ノ命令ニ依リ止ムナク地主一般ヘ通知セラレ乍併地主ニ於テハ未ダ
土地復舊セサル事實ヲ以テ再請願中ナレハ正租納稅ノ義務到底堪ヘ難クニ
付右請願ニ對シ處分相成迄ノ間納稅延期相成度様廢地主一般ヨリ各町村
長ノ與書ヲ經テ出願セシ處更ラニ開屆ケ無之却テ未納者ニ對シ督促手數料
トシテ金五錢宛受取ルノミナラス甚ダシキニ至リテハ滯納者ニ向テ財產ヲ
差押ヘ公賣執行ナス杯強制的職權ヲ以テ取扱ヒ被致候
是又稅務廳長局長ノ(曰ク)鑛毒荒地ニ對シ大藏大臣ヨリ別ニ新法律ノ命令
無之限リハ同土地ハ復舊セリト本官ハ認メタルニ付各地主一般ヨリ登錄稅
御上納ハ勿論同地ニ關スル正租ノ如キモ同様納期限上納スヘシト稅吏ハ
各役場ヘ出張シ各地主ヲ召集シ強制的方針ヲ以テ督促セシ而已ナラス未納
者ニ對シ成規ノ手數料金五錢ヲ受取リ是亦滯納者ニ對シテハ財產ヲ差押テ
職權ヲ以テ公賣執行ナス杯強迫セシ爲メ地主一般一層ノ大困難ニ陷リ止
ムナク同年十月一日ヲ以テ鑛毒荒地ニ對シ將來地租取扱新法律實施スル時
期至ル迄ノ間正租納稅延期請願二十二箇町村地主一般ヨリ町村長ノ與書ヲ
經テ邑樂郡長ノ添書願出テタル處郡長ノ(曰ク)地租條例ニ依テハ正租納稅
延期ナスヘキ云々ノ明文之レナキニ付郡長ヲシテ添書差出難ク旨ヲ以テ却
下セラレタルニ付止ムナク添書ヲ與ヘラレサル理由上申書添テ同月四日大
藏省ニ出願シ大臣閣下ヘ面會ノ上寫ト實況口頭ヲ以テ陳情ノ上本願書速カ
ニ御採用被成下度様願出タル處大臣御出省無ク爲ニ田尻次官面謁ヲ得テ
事實陳情ナシタル處田尻次官ノ(曰ク)本官ハ未タ該請願書別ニ調査ハナ
ササルト雖モ鑛毒荒地ニ對スル處分法律制定無之場合ハ地租條例ニ依テ取
扱ヒナスニ因リ他ニ道ナケレハ該處分ノ新法律相立ツ間從來ノ通り地租上
納ナスヘシトノ御話シニ有之候尙同月四日地方稅務署長ノ添書ヲ給テ東京
稅務廳長局長ニ面會ノ上鑛毒被害地ノ慘狀寫ト陳述シ局長ニモ請願書捧呈
シタル處局長ノ(曰ク)曩ニ鑛毒荒地ニ對スル免租繼續年明ノ請願捧呈相成
タルニ付大藏大臣ヘ申告シタルニ同大臣ノ命ニ依テハ爾來鑛毒荒地ニ對シ
處分ノ結果新法律制定ナキ場合ハ從來ヨリノ地租條例ニ依テ取扱ナスヘシ
トノ事ニ付被害民ヨリ再三ノ請願ニ出ルモ到底難聞屆旨ヲ以テ却下セラレ
シタルモ御坐候間以上御參考迄ニ右實況陳述仕候也

明治三十四年二月日

貴族院議員

三好退藏殿

被害地ノ人民ハ夢想ニモ鑛毒ノ原因トナルヘキ或ル事情ヲ知ラスシテ或ハ
精良ナル粉鑛採取器ノ据附ヲ促シ耕地灌漑用水ノ堰口ニ鑛毒沈澱法ヲ行フ
等ノ事ヲ約セシハ氣ノ毒ノ事トイフヘシ特ニ近來政府ノ命令ニカ、ル豫防
工事ノ如キハ狹隘ナル調査ニテ毒水ト稱スル者ヲ沈澱濾過スルニ過キス粉
鑛採取器ノ如キハ利ヲ收ムル爲メニ銅山ハ攷々トシテ其精良ナル者ヲ撰ミ
居レトモ鑛毒ヲ減スルニハ更ニ益ナシ
元來足尾鑛業ハ如何ニ盛大ヲ來ストモ少量ナル硫酸銅液及ヒ泥水カ一タヒ
渡良瀨川ニ入ルニ及ヒテ鱗屬ノ衰滅ヲモ來スノ力ナキナリ然ルヲ鑛毒論者
ハ唯被害地ノ意外ニ慘害ヲ被レルヲ視テ單ニ曰ヘラク主因ハ銅ニ在リテ源
ハ足尾ニアリト然リ其原因ノ足尾鑛業ニアルハ勿論ナレ共鑛毒論者ノ說ク
カ如ク下流沿岸ヲ不毛ト爲スノ原因ハ坑内ヨリ流出スル硫酸銅溶解水及ヒ
鑛ノ排水ニ混入セル泥土ニ在ルニ非シテ他ニ大ナル原因アルナリ
渡良瀨川ノ水ハ枋木群馬兩縣ノ境ニ至レハ透明無色トナリテ更ニ有害分子
ヲ含マサルハ明ニシテ特ニ足尾町字切幹小瀧川合流ハ足尾全山ノ鑛毒集合
スル處ト見テ可ナルモ其銅分ノ溶解態ハ皆無ニシテ不溶解態ノ如キモ其痕
迹ヲト、ムルノミニアラスヤ是ニヨリテ之ヲ見レハ平水ノ時ノ如キハ耕地
ニハ毫モ害ヲ及ボサ、ルヤ明ケシ然ラハ出水ノ時ニ於テハ如何出水ノ時ニ
於テ粉鑛ノ川底ニ沈澱シタル者下流ニ至リテ沿岸ニ其害ヲ爲スヤノ點ハ鑛
毒論者ノ尤モ唱道スル處ナレトモ川底ニ沈澱シタル者ハ粉鑛ト稱スヘカ
ス此者タルヤ既ニ粉鑛ヲ採收セル渣ニテ其泥渣ニハ若干ノ鑛物ヲ含有シ
ルハ免レサレトモ雨水ノ爲メニ愈々稀薄トナリテ下流ニ至リテハ鑛毒ノ原
因トナルヘキ者ニ非ス精密正確ナル機械ニテ銅分ヲ採聚セル排物中ノ澱渣
ニ含有スル少許ノ硫化銅又ハ其水ニ含ム處ノ微量ノ硫酸銅其他ノ物質ガ鑛
毒ノ原因トナル者トセハ粗雜ナル器械或ハ手撰營業ニカハル他ノ小銅山ノ
如キハ如何阿仁及ビ不老倉等ノ如キハ末流ニ於テ足尾ヨリモ甚キ鑛毒ヲ及
ホスヘキ譯合ナリ何トナレハ肉眼ヲ以テシテモ流水ニ鑛物ノ浮游シ、下
流ニ至ルヲ見ルヘク塊鑛ノ如キモ下流ノ沿岸ニ累々タルヲ見ルヘケレハナ
リ足尾鑛毒ノ如キモ世人ハ其沿岸ノ塊鑛ヲ視テ強テ原因トナシタル者ノ如
シ無論其主因ハ銅鹽ニアルヘキモ渡良瀨支流ノ河底ノ石撰鑛處排水ノ澱渣

群馬縣邑樂郡渡瀨村百十八番地

原 金治

同縣同郡西谷田村二十番地

三田 善藏

同縣同郡多々良村八十六番地

飯島 高藏

ヲ檢シテ俄ニ斷定ス可カラス如斯淺薄ナル斷定アルカ故ニ古河派ハ辯護シテ曰ク足尾銅山採掘事業ハ慶長年間ニ始マリ爾後二百年間粗糲ナル舊式ニヨリテ採リタル礦物ノ流レ出テ、漸々河底ニ沈澱シアリ而シテ明治十年ニ至リテ古河ノ所有トナリ舊式ノ採掘法ヲ改メ文明ノ機具機械ヲ撰ミ専門家ニ托シテ坑ノ内外ニ新式ノ裝置ヲ施シ採掘冶金ノ法ヲ改良シテ可及的鑛粉ノ流出ヲ防キ特ニ近來粉鑛沈澱所ヲ設ケタルヲ以テ鑛毒ノ流出スルモノ頓ニ減シタルヤ明ナリ然レ共一朝洪水ノ氾濫スルアレハ數百年ノ舊式ニヨリテ採掘セル鑛物ノ河底ニ沈澱スル者耕地ニ流入シテ植物ノ發育ヲ妨クルコトアルヘキモ平時ニ於テハ其害ヲ起ス者ニアラス唯天災ニヨリテ起ル者ナレハ洪水ノ害ト鑛毒ノ害トヲ混同シテ遽ニ鑛業ノ禁止說ヲ唱フル如キハ誤謬ノ至ナリト

是ニ於テ鑛毒論者ハ說ヲ爲シテ言ヘリ曰ク鑛毒ノ原因ハ洪水ニ在リ洪水ノ原因タルヤ足尾鑛業ノ爲メニ山林ヲ濫伐シ水源涵養ノ法ヲ失ヒタル爲メ降雨ノ節ハ暴漲ヲ來シ水力深ク川底ヲ穿テ沈澱毒ヲ下流ニ送ルニアリト是等ハ乃チ甲ニ對スル乙ノ水掛論ニ過キス尤ニ四面ノ山林ハ濫伐セラレタルカ爲メニ降雨ノ節急漲ヲ來シタルハ言ヲ待タサレトモ川底ニ沈澱シタル者又ハ丘陵ニ堆積シタル鑛物ハ水力ニテ容易ニ流失セサル性質ヲ有セリ鑛毒ヲ調査スル者ハ唯坑内外ノ水ト撰鑛ノ泥渣ト鑛煙ノ外見ルコトヲ知ラス銅山ニテハ是等ノ點ハ注意ヲ加ヘテ攻撃ヲ避ケツ、アリ

是ヨリ鑛毒ノ原因ヲ述ヘント欲ス然レ共其前ニ鑛毒ハ天然ノ作用ニテ下流ニ慘害ヲ來ス者ニアラサルコト換言スレハ人工ヲ加フルニアラサレハ鑛毒ヲ流逸セシムルコト能ハサルコト及ヒ世人ノ信スルカ如ク其水及ヒ其泥渣ノ一朝雨水ニ逢フテ運搬セラレ下流ニ害ヲ成スニアラスシテ他ニ劇烈ナル真正ノ鑛毒ノ元素ヲ包藏セル處ノ箇所ヲ説明スヘシ

抑足尾銅山ハ明治十五年橫山歩砦ノ長鑛ニ當リタルヨリ事業ノ盛大ヲ來シタルコトニテ日ニ月ニ出鑛ノ量夥シク其捨石(鑛石ハ洗鑛所ニ送り洗滌ノ上貧鑛ナレハ捨石ト稱シ他ニ運搬シテ放棄スルナリ)ノ如キハ百分ノ六ノ其鑛附著ノ儘放棄セリ本口坑ノ如キハ飯場(飯場トハ坑夫ノ住屋ナリ)屋敷地ヨリ下部百尺斗リ此捨石ヲ以テ埋メ立テ年ヲ經ルニ隨テ凝結シ殆ト水成岩狀ヲ呈セリ而シテ年々歲々捨石ヲ以テ溪谷ヲ埋メ立テ捨石場ニ缺乏ヲ告クルニ至リテハ鐵路ヲ延長シ或ハ山中腹ヲ橫切リ或ハ往來ノ道路ヲ廢シテ之ヲ埋ムル等一晝夜二十五人四分ノ人夫ニテ十六才ヲ滿スヘキ營車ニ盛リタル捨石(二十八人ノ調査)間斷ナク坑内ヨリ運ヒ出サレアリ有本坑ノ如キハ一日四百九十五車四(一車ハ十八才ヲ盛リ得ヘキ者)ノ捨石ヲ以テ或溪谷ヲ埋立テ此溪谷モ狹隘ヲ告ケタル爲メ他ノ溪谷ニ鐵道ヲ延長シ二十九年ニハ京子内ト稱スル一大回處ヲ填充セリ(長サ三町幅壹町深サ六十五尺ノ不正形三角ノ溪谷)京子内ニ缺乏ヲ告ケタル爲メ此地ヨリ二千二百八十尺ヲ距リタル高原木ニ鐵路ヲ延長セリ此ノ如ク漸々距離ノ遠隔スルニ從ヒ運搬ニ對スル費用モ増加セサル可カラス一例ヲ舉クレハ坑内ヨリ京子内迄一車十六才ノ捨石平均五錢ニテ一日五百車トスレハ二十五圓ノ運搬費ナレ共高原木マテ延長スルトキハ其距離二倍以上ナルカ故ニ一車平均十二錢ノ運搬費ヲ要ス然ルトキハ一日ノ經費三十五圓ノ増加ヲ視之ヲ一箇年ニ積算スレハ一万二千七百圓トナリ尙ホ急勾配ナル山腹ニ鐵路ヲ貫通セル其保存費ノ如キハ一箇年一千圓ヲ下ラサルヘク故ニ鑛業ノ當局者ハ勉メテ坑内ヨリ捨石場ノ距離ノ接近ヲ欲スルカ故ニ大雨ノ襲來ヲ待テ之ヲ渡良瀬川ニ除去セサル可カラス然ルニ此捨石ナル者ハ凝集性ヲ有スルカ故ニ各自粘著シテ強固ナル地盤ヲ構成シ大雨ニ逢フモ決シテ溶解又ハ崩壞流失スル者ニ非ス現ニ本口飯場ノ敷地ノ如キハ百尺ノ斷崖狀ヲ成セトモ尙ホ崩壞ノ恐ナク其捨石ノ上ニ家屋ヲ建築シアリ強テ之ヲ崩壞セントナレハダイナマイトヲ用ヒサル可カラス故ニ大雨一朝來ルアレハ晝夜ニ拘ラス人夫ノ非常召集ヲ爲シテ鐵桿又ハダイナマイトヲ以テ崩壞シ渡良瀬川ニ投入スルニアリ

以上述べタル如ク坑内ヨリ間斷ナク運ビ出サル、百分ノ六ノ鑛物ヲ含有スル所ノ多量ノ捨石ハ溪谷ヲ埋メ斯クテ暴雨等ノ時ヲ待テ一時ニ下流ニ放棄セラル是尤世人ノ注目セサル可カラサル所ノ鑛毒ノ源泉トナル者ナリ洪水ト鑛毒ト伴フハ以上ノ陳述ニヨリテ疑ナカルヘシ今二三ノ例ヲ舉ゲデ鑛毒ヲ蒙リタル下流沿岸ノ年月ヲ示サン

明治二十三年八月ノ洪水ノ時ハ本口及ヒ京子内大半ノ捨石ヲ晝夜百餘ノ人夫ヲ以テ放流セリ二十四年九月三十日ノ大水ニモ此仕事ヲ爲シ是ヨリ二十九年七月二十一日ノ大風雨迄ハ洪水ト稱スル者ナキカ故ニ捨石非常ノ蓄積ヲナシタルヲ以テ高原木迄ニレールヲ延長スルノ計畫ヲ成セリ於茲二十一日ノ大水ノ時雷雨ノ中ニ懸賞シテ其幾分ヲ放流セシカ八月十七日モ又一回ノ暴風雨アリ此時ハ數倍ノ人ヲ増加シテダイナマイトヲ用ヒ固著セル處ノ基礎ヲ破摧セリ而シテ同年九月八日ニハ全力ヲ以テ遂ニ一町ニ三町ノ廣サ深サ六十五尺ノ間ニ堆蓄セル者悉皆ヲ放流シタリ此年月ト耕作物ノ害ヲ蒙リタル年月トヲ比較セハ思半ニ過キン

足尾地方ノ習慣トシテ德義ヲ解スル者甚タ稀ニ支配スル者ハ多クハ無學無識ナル鑛夫ヨリ採用セラレタルヲ以テ言語動作等傍若無人ノ所爲多ク公明正大ノ精神ヲ缺カ故ニ凡テ不正ノ手段ヲ取り一時ノ利益ヲ擧ケテ古河ニ忠義ヲ賣ル等ハ言語ニ絶セリ

嚴重ナル除害ノ命令モ容易ニ其功ヲ奏スル能ハス今鑛主カ行フ卑劣手段ノ一二ノ例ヲ舉クレハ明治二十六年十月十二日鑛毒ノ件ニテ山田泰造氏足尾ニ出張シタルコトアリ銅山ハ直チニ足尾町長ニ命令ヲ下シテ凡テノ旅人宿ヲ閉鎖セシメ寺院劇場等演說ノ開場ニ適スル一切ノ場處ヲ閉鎖シタルノミナラス壯士ヲ使噓シテ山田一行ヲ妨ケ路傍ニ立往生セシメタルコトアリ又新井田村野口高橋ノ一行ノ如キニ對シテハ阿言ヲ呈シ額ヲ以テ地ヲ叩キ盛騰ト慰勞ノ御禮ヲ以テ彼等ヲ眩迷シタリ其鑛毒調査ヲ名トスル人ノ何ク

ノ方面ヨリ來ルモ直チニ電話ヲ以テ中央事務所ヨリ東西南北ノ出張所ニ命
令ヲ下シ凡テノ鑛毒ノ原因トモナラン者ハ之ヲ掩ヒ隠シ坑内唧筒ノ如キモ
運轉ヲ中止スルガ故ニ坑内ヨリ流出スル水ヲ認ムルコト能ハス斯ル彌縫ノ
策ヲ行フノ銅山ハ如何ニ嚴重ノ調査ヲ爲セハトテ中々鑛毒ヲ防止スルコト
覺束ナケン

要スルニ鑛毒ノ原因ハ未タ人ノ調査セサル處ニ在リテ存ス即チ人意的ニ其
鑛毒ヲ流出セシムル者ナレハ沿岸五萬丁ノ荒地ト三十萬ノ生命ハ正ニ古河
カ其責任ヲ負ハサルヘカラサル所ノ者ナリ

鑛毒兼テ御配慮ニ相成居鑛毒問題ハ十有餘年間ノ宿題ニ相成居候得共未
タ被害者ノ生命ト財産ト安全ヲ得ス且ツ權利侵害ノ恢復更ニ相立チ不申候
ニ付今同左ノ請願仕候間何卒願意貫徹相成ル候御盡力被成下度此段奉懇願
候

鑛毒被害憲法保護ノ請願書

足尾銅山鑛毒被害人民悲慘窮迫ノ餘リ請願仕候要旨栃木縣上都賀郡足尾銅
山ヨリ流出スル鑛毒及煙毒ノ被害ニテ美田良畑ハ年々歳々收穫ヲ減少シ甚
シキニ至ツテハ不毛ニ歸シ如何トモ致シ方無之候ニ付明治二十九年ヨリ三
十年ニ互リ足尾銅山ニ對シ鑛業停止ノ請願ニ及ヒ候處政府ハ明治三十年五
月中古河市兵衛ニ向ツテ鑛毒流出除害豫防命令ヲ達シ被害地田畑ニ對シ免
租ノ沙汰ニ及ヒ候是實ニ鑛毒問題起リタル以來當局者カ初メテ處分シタル
斷行ナリ古河市兵衛ハ鑛毒豫防命令ニ依テ鑛毒土砂ハ沈澱池ニ流入シ毒水
ハ沈澱池ニテ清淨シ以テ渡良瀬川ニ排出セシメ製煉所ヨリ噴出スル煙毒ハ
脫硫塔ヲ設ケ生石灰水ヲ攪拌シ亞硫酸瓦斯ト化合セシメ除却セント撰石鑛
屑ハ河中ニ流出セサル様推積場ニ運搬セハ今後被害ノ憂ヒ之レ無キコト、
存居候爲メ多年ノ被害ハ漸次ニ回復シ困難苦痛モ追々免レ安心存命ノ
途ニ就キシト樂ミ居候處除害工事出來後ハ毎月委員ヲ設ケテ除害有無視察
ニ銅山ニ登リ實見スルニ豈圖ランヤ除害效能更ニ之無ク一旦降雨アレハ沈
澱池ノ毒水ハ横溢シ或ハ沈澱池崩壞シ鑛毒流出シテ河流ニ來リ田畑ニ氾濫
セリ且ツ脫硫塔ヨリ噴出スル煙毒ハ生石灰水ヲ以テ攪拌スルモ是レ亦更ニ
除害ノ功蹟ナク三里四方ハ風勢ニ從ヒ亞硫酸瓦斯飛散シ而シテ後諸山ニ落
下シ降雨ノアル毎ニ渡良瀬川水源ニ流出シ土砂共ニ渡良瀬沿岸ノ田畑ニ氾
濫シ被害ヲ増加スルモ回復ノ途ニ就カサルノミナラス却テ二十九年度頃ヨ
リハ被害程度尙甚シキニ至レリ然ルニ世ノ僞學者或ハ新聞雜誌等ハ除害工
事ノ效能ヲ世間ニ虛報セリ彼俗論者ノ報スル如ク其效アルモノナレハ農作
物ノ收穫ハ減セサル筈ナルニ如何ニ丹精ヲ竭シ肥料ヲ施スモ其甲斐ナク收
支相償フニ至ラス年々歳々貧困窮迫ニ陥リ候第一除害工事ノ效能ナキ確證
ハ脫硫塔ニ有之候脫硫塔ヨリ噴出スル煙毒ノ爲水源涵養ノ方法トシテ前年
古河市兵衛ニ拂下ケタル官林七千六百五十餘町歩ニ對シ其伐木跡ニ三十一
年ヨリ苗木植付ヲ實行スルモ毎年植付タル苗木ハ煙毒ノ被害ニテ十中ノ七

八ハ必ス枯死スルヲ以毎春植換枯死シタル苗木ハ引キ拔キ相繼メテ燒捨テ
又ハ溝中ニ投シテ殖林不成績ヲ隱蔽シテ以テ銅山主ノ爲ニ通シ脫硫塔ノ除
害セラレタリト偽裝セリ

第貳尙三十年除害工事ノ結果脫硫塔設備高臺ニナリタル爲メ煙毒ノ被害一
層ノ甚タシキヲ極メ以テ製煉所ヨリ北方ナル足尾町字松木人民ハ昨年政府
ニ向テ煙毒ノ被害ニテ山林畑不毛ニ歸シ今ヤ生色一葉モ存セサルニ至ル加
フルニ煙突ヨリ亞硫酸瓦斯ノ晝夜ノ差別ナク空氣中ニ飛散シ其空氣ヲ呼吸
スル爲メ衛生ヲ害サル今後生命保存ノ程モ覺束ナシトテ全村舉ケテ墳墓ノ
土地ヲ離レ他郷ニ轉セント生命救助ノ請願ニ及ヒタリ是レニ依テ之ヲ見ル
モ除害ノ效ナキコト明瞭ニ有之候其除害工事ハ理化學ヲ應用シ學者又ハ經
驗ヲ有スル技師全力ヲ盡クシテ設計シタル者ナレハ再ヒ學者ノ力ヲ要スル
モ除害ノ功績ヲ舉グルコト現在ノ學者ニハ望ミ無之剩ヘ憲法ノ全部ヲ破壞
シ得ル者無之候明治二十八年以前ハ政府ハ議員ノ質問ニ對シ鑛業者粉鑛採
集設備セシニ付今後鑛毒防止シ得ヘント證言セリ依ツテ被害者ハ政府ヲ
信用シテ是カ示談ヲ承諾スルニ至レリ然ルニ其證言ハ虛偽ニシテ其後鑛毒
多量ニ流出シ來リ被害ノ區域益々擴張セリ又三十年鑛毒除害豫防命令ヲ鑛
業者ヘ達シ毒土ハ沈澱池ニ流入シ消毒ノ後チ渡良瀬川ニ排出シ煙毒ハ脫硫
塔ニテ除却セリト保證セシカ是亦其效ナク欺偽ノ證言トナリ被害ノ程度ハ
益々増加シ年々收穫減少スルニモ拘ハラズ三十年免租セシモ昨三十三年九
月ニ年期明キトナリ故ニ年期明キニ至ラサル内繼續年期出願スルモ無調査
ニテ却下シ爲メニ實地再調査ヲ出願スルモ是又調査ヲナサス除害效ナク非
命死者増加シ來ルニモ拘ラス稅吏ハ土地復舊セリト登錄稅及正租ヲ納稅ス
ヘシト迫リ曩ニハ生命救護ノ請願者ヲ獄ニ投シ今又我々哀願スルモ更ニ願
ミ未納處分ナリト稅吏出張シ財產ヲ差押ヒテ請求セラレ以上ノ如キ實況
而巳ナラス第十三議會ニ明治三十一年十二月九日栃木、群馬、埼玉、茨城四
縣被害民ヨリ憲法ノ保護ヲ受クル能ハサル義ニ付再請願明治三十二年二月
八日山口縣熊毛郡田布施村四百三十七番地平田勝馬外一名ヨリ帝國議會ニ
奉呈足尾銅山鑛毒被害民生命保護ノ請願明治三十二年二月十五日被害民ヨ
リ帝國議會ニ奉呈足尾銅山鑛毒被害地救治請願明治三十二年二月十四日右
同斷被害地町村自治體實力消盡ニ付政治請願同鑛毒被害地堤塘至急増築請
願セシ處兩院ニ於テ其願意理由アリト採用セラレ決議シ以テ政府ニ迴送セ
シモ其決議ハ無視シ尙亦明治三十三年二月二十日帝國第十四議會ニ貴衆兩
院議員交々被害地實況視察セシニ現在ノ儘ニハ國家トシテ捨置クヘキモノ
ニアラスト調査會ヲ設立シ篤ト調査ノ上相當ニ處分スヘキモノト要旨ヲ
以テ建議セシニ滿場一致シテ可決シ同月二十二日貴族院議事日程第十七請
願會議委員ニテ決定シ院議ニ付セシニ滿場一致シテ採托シ直ニ政府ヘ通知
セシモ是又無視シテ院議ヲ重セス目下憲法ナク法律ナク政府ナキ有様ニ
候間人民保護ノ議會ニ於テ鑛毒處分法ヲ決定ナシ且ツ再ヒ調査會ヲ設ケ直

ニ鑛業ヲ停止シ而シテ調查會設立ノ上ハ内閣員ノ更迭又ハ異動アルモ獨立
シ前後終局迄ノ調查セラレ我々帝國臣民ノ權利ヲ回復シ生命保護ト財產保
全ノ道ヲ立ラレ以テ本分ナル納稅ノ義務ヲ完全ナラシムル様致度ニ就キ諸
請願ノ要旨速カニ御採用被下度此段謹テ悃願仕候

鑛毒被害地總代

栃木縣安蘇郡犬伏町

山崎 利兵衛

外二百十五人

同 同 界 村

糸井 誠三

外二百十五人

同 同 植野村

谷 房吉

外二百十九人

同 縣足利郡吾妻村

庭田 駒吉

外二百八十七人

同 同 久野村

古郡 熊藏

外二百三十二人

同 同 山邊村

早川 和三郎

外十三人

同 同 御厨村

笠原 直次郎

外四十八人

同 同 築波村

中村 庸四郎

外百五十人

同 同 梁田村

野中 源藏

外二百三十三人

同 同 大島村

須藤 與惣治

外二百三十九人

同 同 渡瀬村

原 彌太郎

外二百三十一人

同 同 多々良村

中島 藤四郎

外九十五人

同 同 高島村

同 同 中野村

同 同 山田郡境野村

同 同 相生村

廣澤村

同 同 森田村

同 同 毛里田村

久保田健次郎

同 同 矢場川村

尾林 長次郎

同 同 休泊村

遠藤 善次郎

同 同 莊川村

橋壁 万作

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君

衆議院議長片岡健吉殿

同 新田郡九合村
同 同 澤野村
同 同 埼玉縣北埼玉郡川邊村
同 同 利島村
同 同 井田 兵吉

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(六十六番) 今日ハ大分質問モ重ナッタコトデゴザリマスカラ

シテ、成ダケ極ク簡單ニ申ス積デアリマス、恆松君カラ毎度御叱リモゴザリ

マスカラ、極ク省略シテ致シマスカラ、暫時……私ノ質問ハ、即チ滿州問

題ニ關スル質問デゴザリマス、其一ハ滿州ニ關スル露國ト清國ノ密約ト

云フモノガ、事實ドウ云フコトニナッテ居ルカト云フコトヲ一ツ聞キタイ、

其次ガ露國ノ外務大臣ト清國ノ公使ト、近來露都ニ於テ特別ノ條約ヲ爲シテ

居ルト云フコトデゴザリマス、此特別ノ條約ト云フモノハ、果シテドウ云

フコトヲ條約シテ居ルデゴザリマセウカ、其要領ヲ得タイト云フノデゴザリ

マス、其三ハ此條約ハ世ニ謂フ所デゴザリマス、隨分我國ノ利害ニ大ナル

關係ヲ持ッテ居ル簡條ガ、往々見エテ居ルノデゴザリマス、政府ハ之ニ對シ

テドウ云フ態度ヲ執ラル、デアアルカト云フコトガ一ツデアアル、モウ一ツハ

二月九日ニ外務大臣ハ本院ニ於テ、段々説明セラレタ所ノ趣意ヲ承ルト云

フト、昨年ノ九月一日附ヲ以テ露國ガ我國ニ對シテ——吾政府ニ對シテ滿州

ノコトハ、全ク一時自分ノ鐵道ノ保護ノタメニ兵ヲ置クノデアアッテ、鎮定ス

レバ速ニ其兵ヲ引揚ゲルト云フコトヲ宣言シテ居ル、是ハ即チ是ハ吾政府ニ

通告シテアル、此事ヲ外務大臣ハ大ニ信賴シテ居ルト云フ如キノ口氣ガアッ

タノデゴザリマス、然ルニ爾來ノ景況ヲ見マスルト云フト、露國ノ宣告ト云

フモノハ、殆ド露國政府ハ自カラ之ヲ打消シテ居リハセヌカト云フ實況ガア

ルノデゴザリマス、然ルニ我政府ニ於キテハ未ダ此露國ノ宣言ヲ、果シテ信賴

シテ居ルカ否カト云フコトノ、此四箇條ノ質問ヲ提出シタノデゴザリマス、

故ニ此質問シタ趣意ヲ聊申述ベタイト思フノデゴザリマス、此二月ノ六日

ニ於テ、外務大臣ハ當院ニ於テ支那ノ事件、即チ團匪ニ關スル所ノ次第ヲ詳

シク説明セラレタ所ハ、吾々誠ニ満足スル所デゴザリマス、其席ニ於キ

マシテ、私ガ斯ウ云フコトヲ質問シタノデゴザリマス、近年既ニ此北清ノ事

情ト云フモノハ、將ニ一段落ヲ終ラントスルガ、是ニ附イテ恐ルベキコトハ、

即チ露西亞ノ滿州ニ對スル舉動デアアル、是ガ極テ我國ノ利害ニ關係シ我國

ノ安危ニモ關係スルコトデアアルト思フ、然ルニ此滿州ニ對スルコトニ附イテ

ハ、世間ニ露清密約ト云フモノガアルト云フコトデアアルガ、是ガ果シテ有ル

カ否ヤト云フコトヲ質問シタノデゴザリマス、所ガ外務大臣ハ答ヘラレルニ

ハ、是ハ極テ重大ナ事デアアルガ故ニ、相當ノ手續ヲ經テ質問ヲシタナラバ

其時ニ答ヘヤウ、今直グニ此處デ答ヘルコトハ出來ヌト云フ、御答ガアツタノ
デゴザリマスルカラ、私ガ今茲ニ質問書ヲ提出シタノデアルノデゴザリマ
ス、ソレデ滿州ニ關スル露清ノ密約ト云フモノハ、其時ニ於テ外務大臣ノ言
ハレルニハ、政府モソレヲ聞イテ居ルガ、未ダ公文デ確ナルコトヲ得ナイ、
世ニ所謂密約トハ云フケレドモ、ドウ云フコトデアルカ分ラヌ、恐ラクハ此
事ハ出先ノ者ト支那政府ノ地方ノ官吏トノ間ノコトデハナイカ、一向未ダ要
領ハ得ナイト云フコトデゴザリマセタガ、爾來二月ノ六日カラシテ今日マデ
三十日以上ニナリマスデゴザリマスル故ニ、最早政府ハ大抵此露清密約ト
云フモノハ、果シテ事實デアルヤ否ヤト云フコト、竝ニサウ云フコトデアル
ト云フ譯ナラバ、其事柄ガドウ云フ事柄デアルカ、又事實デナイト云フ譯ナ
ラバ、吾々人民モ甚ダ安心スルコトデゴザリマスルカラ、其事實デアルカ否
ヤト云フコトヲ、吾々ハ明ニ當局者ノ御答ヲ得タイト思フノデアル、其二箇
條ノ露都ニ於テ、露國ノ外務大臣ト清國ノ公使トノ間ニ出來タ條約ト云フモ
ノハ、是ハ近來起リタコトデアル、而シテ此箇條ニナツテ來ルト、吾々ハ露
清密約ニ附イテ憂慮シタヨリハ、又一層憂慮ニ堪ヘナイ條項ガ載リテ居ル
ノデゴザリマス、是ハ其箇條ノ如キハ大抵諸君等ハ新聞ニモ書イテアリマス
カラ、御承知デモゴザリマセウカラ、私ガ此所ニクド、シク一々申シマセ
ヌケレドモ、今其一二ヲ舉ゲテ見レバ、清國ハ自分ノ領土ノ滿州デアルニモ
拘ラズ、鐵道ノ開ケナイ所ニ清國ノ兵隊ヲ一ツモ置クコトガ出來ヌ、又鐵道
ノ開ケタ所ハ露國ノ兵隊ヲ澤山置イテ、事ガアレバ露西亞ノ兵隊デ鎮定スル
ト云フコトニナツテ居ルト云フヤウナコトデ、殆ド事實此滿州ヲ露西亞ガ
占領シタ形ニナツテ居ルノデゴザリマス、前ノ密約ト云フヨリハ、一層我國
ノ利害ニ關係スルコトガ大ナルノデゴザリマス、是ハ果シテ事實ナルコトデ
アルカ、又事實デアルナラバ、其密約ノ條項ト云フモノハ如何デアルカ、吾
吾々ハ明ニ政府ノ御答ヲ得タイト云フコトデアリマス、而シテ此第三ニナリ
マスルト云フト、此露都ニ於テノ條約ト云フモノハ、果シテ事實デアルデ、
新聞ニ書クガ如クデアルナレバ、前申シタ通り我邦ノ利害ニ關スル最モ大ナル
モノデアル、之ニ對シテハ是非我邦デハ排除スルコトヲ努メナケレバナラ
ヌト思フ、政府ハドウ云フ意向デ、之ニ對スル處置ヲ爲サレテ居ルカ、或ハ
世間デ傳フル所ニ依レバ、此事ニ附イテハ固ヨリ英獨ノ協商ノ精神ニ反スル
ノミナラズ、支那ノ保全ヲ完ウスルコトハ出來ナイト云フコトハ、勿論デゴ
ザリマスカラシテ、英國ト我日本ト共ニ協議ノ上、他ノ聯合各國トモ協議ノ
上、清國ニ對シテ忠告ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ、言ウテアルデゴザリマス、
是ハ外交ノ手續ニ附イテ、果シテサウナツテ居ルカ、サウナレバ甚ダ吾々ノ
満足スル所デゴザリマスガ、是ハ獨リ清國ニ言ウタバカリデナイ、其條約ノ
成立ツタトキハ、露西亞ニ對シテ其條約ノ成立ントスルコトキニハ、忠告ヲシナ
ケレバナラヌコトガゴザリマセウ、又我國ハ判然ト之ニ對シテ、抗拒ヲ試ミ
ナケレバナラヌコトモアルデアリマセウ、然ルニ政府ハ之ニ對シテドウ云フ

處置ヲ取ラレテ居ルカ、吾々ハ早ク聽カント欲スル者デアル、抑此外交ノ
コトニ至リマシテハ、固ヨリ其時ノ取運ビ上ノコトモアリマスカラ、成ルマ
ケ或ル場合ニ於テハ、秘密ヲ保タナケレバナラナイコトガ、澤山アルデゴザ
リマセウケレドモ、此條約ハ果シテ外國カラ傳ハツテアル如キコトガ、事實
アリトスレバ、片時モ差錯カレヌコト、思フノデゴザリマス、何トナレバ若
シ此條約ノ如ク、露國ハ滿州ヲ殆ド占領シ、事實的ノ占領ヲ爲シテ、此大
ナル兵ヲ駐在セシメタナラバ、彼ノ我邦デモ協商ニ加ツテ居ル所ノ英獨協商ト
云フモノハ、全ク破レタモノトシナケレバナラナイ、然ラバ支那政府ノ保全
ガ危イト云フコトハ、當リ前ノコトデアル、況ヤ朝鮮ノ獨立、是ガモウ滿州
ト云フモノヲ、露西亞ニ事實的ノ占領セラレタナラバ、朝鮮ノ保全ガ完ウスル
コトガ出來ナイト云フコトハ、明デアルト思フノデゴザリマス、朝鮮ノ國ト
云フモノハ、諸君モ御存ジノ如ク、何分自衛ノ力ガマダナイノデアル、既ニ
先年明治二十七八年ノトキニ於テ、我國ノ兵隊ガ彼處ニ居テ、支那ノ事件
ガ濟ンデ、沿道ニ我國ノ兵站部ノ兵ガ居リマシタトキニ、私共モ其處ヲ通
タ、其時ニ日本デ言ヘバ縣知事ト云フヤウナ人ノ話ニ、若シ日本ノ兵站部ノ
兵ガ引上グレバ、賊徒ガ四方ニ起ツテ、連モ朝鮮國ノ安寧ヲ保ツコトガ出來
ナイ、ドウカ日本ノ兵站部ノ兵ナリトモ、長ク朝鮮ニ留メテ置クヤウニ周旋
ヲシテ貰ヒタイト云ウテ、私ニ生ノ雞卵ヲ持ツテ來テ言ウタコトガアル、他
ノ一般ノ國カラ、一日モ自分ノ國ニ兵ヲ駐テ居ルト云フコトハ、思ムベキコ
トデアルノニ、尙ホ日本ノ力ニ依ラナケレバ、自ラ安寧ヲ保ツコトカ出來ヌ
ト云フコトヲ自白スルノハ、取リモ直サズ朝鮮ノ如キモノハ、自衛ノ力ガチ
イモフコト云ウテ可ナルモノデアルト思ヒマス、然ルニ爾來今日ニナツテド
ウデアリマスルカ、日本ハアレダケノ人命ヲ損ヒ、アレダケノ金ヲ費シタノ
ハ、何デアルカ、朝鮮ノ獨立ヲ保タンガタメデアルノニ、近來ドウ云フ事情
カト云ヘバ、殆ド露西亞ノ勢力ト、日本ノ勢力ノ朝鮮ニ及ブ所ハ、今日ニナ
テハ半々ト云ツテ宜シ、露西亞ハ一兵ヲ費サズ、一金ヲ費サズシテ、勢力
ヲ朝鮮ノ邦國ニ及シテ居ルノデアル、爾來漸々朝鮮ニ露西亞ノ勢力ヲ擴張シ
テ居ル、其一二ヲ言ヘバ、補助貨幣ノ如キハ、日本ノ補助貨幣朝鮮ニ行ハ
レナイ、融通ヲシナイ、露西亞ノ補助貨幣モ行レナカッタモノガ、滿州ノ戰
以後露西亞ノ補助貨幣ハ、朝鮮ノ内地ニ行レテ居ルト云フコトデアリマス
（簡短ト呼フ者アリ）親ナドガ子供等ニ言フノニハ、露西亞ノ惡口シイコ
トヲ以テ、泣ク兒ヲ騙シテ居ルト、殊ニ近來聞ク所ニ據レバ、一二日前
吾々ノ友人ガ朝鮮カラ歸ッタ者ノ話ヲ聞クニ、滿州ノ戰ニ依ツテ、餘程朝鮮
ノ人氣ト云フモノハ、露西亞ニ傾イテ居ルト云フコトデアル、云フヤウナコ
トデ自然ニ滿州ノ戰一ツデスラ、以テ斯ノ如ク朝鮮ノ人氣ト云フモノハ、露
西亞ニ傾イテ居ルノニ、若シヤ露都ニ於テ特約シテ居ル所ノ箇條ガ、成立
タト云フヤウナコトニナレバ、朝鮮ノ獨立ハ保ツコトガ出來ナイ、否ナ若
シ保ツテモ我國ノ勢力ヲ伸ベルコトガ出來ナクシテ、折角明治二十七八年我

國ノ朝鮮獨立ノタメニ、力ヲ盡シタコトヲ無ニナシテモ、フダラウト思フ、故ニ政府ニ於テハ是ニ對シテ相當ノ處分ガナクチャアナラヌト思フ、又第四ノコトニナリマシテハ、此外務大臣ノ二月九日ニ演說セラレタコトハ、其當時ハザルコトデアッタカ知ラヌガ、今ニ於テ尙ホ此滿州ニ對スル露國ノ宣言ハ、果シテ政府ハ信賴シテ居ルカ、吾々ハ自ラ想像スルト、露西亞政府ハ從來ノ外交手段ヲ以テヤツテ居ルガ、先キノ宣言ハ露西亞政府自ラ之ヲ放棄シテ居ル、自ラ棄テテ更ニ事實的ノ手順ヲ運シテ居ルモノニ相違ナイト思フ、然ルニ外務大臣ノ言フ所ハ、露西亞ノ宣言ハ今ニ於テ尙ホ之ヲ政府ニ於テ信賴シテ居ルヤ否ヤヲ伺フタメニ、質問書ヲ出シタノデアアル、諸質問書ヲ出シタ趣意ハ斯ノ如クデアアルガ、私が一言申シマスルハ、是等ノコトハ或ハ人ガ外交ニ關係スルコトデアアルカラ、サウ公會ノ席ニ於テ言ハナクテモ、政府ニ於テハ十分ツレ等ノ取運ヲシテ居ルニ附イテ、餘リ是等ノ聲ヲ高クシテ言フハ、如何カト云フコトヲ申ス人ガアルカ知レマセヌガ、吾々ハ國ヲ思フノ念慮ノタメニ、已ムヲ得ヌコトデアアルト思フ、何ゼナレバ吾々ハ既往ノコトニ徴シテ、將來ノコトヲ憂慮スル者デアツテ、彼ノ遼東半島還付ノトキニハ、何某ガ日本ノ總理大臣デアッタカト云フト、即チ唯今ノ伊藤侯爵デアアル、而シテ此處置ガドウ云フコトニナツタカト云フト、多クノ人命多クノ財帛ヲ費シテ得タ馬關條約ノ權利ハ、僅ニ一朝ノ間ニ、之ヲ烏有ニ歸セシメテシマツタヤアリマセヌカ、當ニ烏有ニ歸セシメシマツタモノナラズ、其時ノ辭ニハ、外國デアフニハ、此土地ヲ日本デ持ツテ居シテハ東洋永遠ノ平和ノタメニ害ガアル、日本デ持ツテハ東洋永遠ノ平和ノタメニ害ガアルナラバ、他ノ國デ持ツテモ矢張東洋永遠ノ平和ノタメニ害ガアルニ相違ナイ、我國ガ之ヲ棄テラバ、他ノ國ヲシテ之ニ據ラシムルコトガ出來ナイト云フコトヲ、豫約シテ置クガ必要デアラウト思ヒマス、然ルニ此豫約モナサナイデ、僅ニ東洋ノ平和ニ害ガアルカラ還付ヲシロト云フ、忠告ノ舌ノ根ノ乾カナイノニ、二十九年ノ失策ヲナシタト云フコトデアアル、之ガ根據ニナツテ露西亞ハ益ニ北清ノ地ニ手ヲ伸バシテ、今日ハ實ニ臍ヲ噬ンデモ及バヌト云フ實況ニナツテ居ル、故ニ吾々ハ萬一之ヲ粗略ニシテ、我國民ガ之ヲ粗略ニシテ居タナラバ、又々先日ノ遼東半島還附ノ轍ヲ履ムカト云フコトヲ深ク憂フルモノデアリマス、故ニ露西亞ノ宣言ノ如キモ、既ニ之ヲ看破スルニ宜イトキニナツタナラバ、十分ニ人民モ國論ヲ一定シテ、政府モ人民モ一致シテ、滿州ノ事ニ當ラナケレバナラヌト思フ、又諸君モ御存ジノ通、支那ノ事變ハ更ニ世界ノ事變デアリマスレバ、西洋各國萬里ノ波濤ヲ離レテ居ル國民デモ、議會ノアル毎ニ議會カラ質問ヲ提出シ、政府當局者モ之ニ對シテ丁寧ナル答辯ヲ爲シテ居ル、然ルニ我國ハ一韋帶水ヲ隔テ、居ル此舉動如何ニ附イテハ最モ利害ノ關スル重大ナルモノデアアル、然ルニ先達外務大臣ノ御答辯ニハ、満足ヲシタコトモゴザイマスガ、此滿州ノコトニ附イテハ如何ニモ、未ダ明ナル御答辯ヲ得ナイ、故ニ人民モ往々感ウテ、アスコデハ斯ウ云フ決議

ヲスル、コ、デハ斯ウ云フ決議ヲスルト云フコトデ、或ハ國民同盟會デアアルトカ、各地方ノ青年團體デアアルトカ、大ニ憂慮シテ各處ニ集會ヲ催シテ心配ヲシテ居ル、政府モ之ヲ明ニシタナラバ、外國カラドン、漏レテ來ル所ガアルノニ、獨リ政府ガ機密ヲ保ツテ居ルノ必要ハナカラウト思フ、外國ノ新聞雜誌ハ總テ現シテ來テ居ルノニ、之ヲ祕密ニシナケレバナラヌト云フ必要ハアルマイト思ヒマスカラ、願クハ政府當局者ハ是等ニ附イテ、外交上ノ極テ祕密ヲ要スルモノヲ除クノ外、此滿州ニ關スル政府ノ是マデノ執リ來タ所、又將來ノ精神ノアル所ヲ明ニシテ、以テ國民ノ意志ヲ一致シ、輿論ノ聲ヲ大ニシテ、他日事ヲ待ツタメニ、此質問ヲ出シタノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 百二十六番) マダ質問ガアリマスカ

○恒松隆慶君(百二十六番) モウ質問ハアリマセヌ

○恒松隆慶君(百二十六番) 然レバ此日程ノコトニ附イテ、聊カ議長ニ伺ヒタイノデスガ、其事柄ハ登録稅法中改正法律案ト云フモノハ、既ニ本會デ政府案ヲ委員ニ付託シタ、二月十五日ニ於テ委員會ハ決定シテ、サウシテ二月十六日ノ本會ノ日程ニ載ツテ居タ、然ルニ日程ガ延期ニナツテ本日マデ現ハレテ居ナイヤウデアアルガ、此登録稅法中改正法律案ハ、登録一箇ニ附イテ十錢ト云フ極ク苛酷ノコトガアツタノヲ、政府案ハ幾分カツレバ減額シテ、是マデ困難ヲシテ居ル、其苦ヲ幾分カ寛ルクスルト云フ方デアリマス、此案ハ委員會ニ於テ修正ヲシ、吾々モ贊成シ政府モ同意シテ居ル、斯クノ如キモノニナツテ居ルガ、是ガ兩院ヲ通過シタナラバ、直ニ二十日以後カラ實施ニナルト思フノデ、斯ノ如ク民間ニ便利ヲ與フルモノハ、早ク決定ヲスルヤウニシタイト思フガ、是マデ日程ニ出ナイノハ如何ナル理由デアアルカ、委員長アタリカラ何か差支ガアルト云フノデ、延シテアルノデアアルカドウカ、是ハ此次ノ日程ニハ載セラルヤウニ願ヒタイノデ、ツレバ希望シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) ツレハ委員長カラ報告ノ都合ガアルカラ、議事ハ延シテ吳レロト云フ請求ガアリマス、是ヨリ議事日程ニ移リマスガ、第一北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス議案ノ朗讀ヲ省略シマス

一 北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置 第一讀會

置ニ關スル法律案(政府提出) 北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ主任ノ官吏ニ委任シテ仕拂ヲ爲サシムル爲メ現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

○恒松隆慶君(百二十六番) 是ハ說明ハ理由書デ分ツテ居リマスカラドウカ直チニ第二ノ日程ニ移ラレテ委員付託

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 格別說明モアリマセヌカラ議事日程ノ第二ニ移リマス

二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第三明治三十二年勅令第二百九十四號

三 明治三十二年勅令第二百九十四號(承諾ヲ求ムル件)
(政府提出貴族院送付)

勅令第二百九十四號

大藏大臣ハ特ニ命令ヲ發シテ當分ノ内馬匹ノ輸出ヲ禁スルコトヲ得
前項ニ依リ發シタル命令ニ違反シテ馬匹ノ輸出ヲ爲シ又ハ爲サムトシタル
者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ馬匹ハ之ヲ沒收ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○恆松隆慶君(百二十六番) 是モ第四ニ移ッテ委員付託ニナランコトヲ望ミ
マス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 説明ガアリマセヌカラ議事日程第四

四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長カ指名シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス議事日程第五印紙稅法
中改正法律案第一讀會ノ續長坂重孝君

五 印紙稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(長坂重孝君演壇ニ登ル)

○長坂重孝君(二百十八番) 印紙稅法中改正法律案政府提出ノ部分、委員會
ノ結果ヲ御報告致シマス、是ハモウ簡單ナ法案デゴザイマシテ、説明デ大概
趣意ハ分ッテ居リマスカラ、簡短ニ申シマスルガ、此爲替手形約束手形ト云
フモノハ、現行法ニ於キマシテハ、二千圓以上ト以下トニ依ッテ、印紙稅ガ二
錢ト十錢トニ別ッテ居リマス、然ルヲ之ヲ廢シマシテ、總テ二錢ト云フコト
ニ改ムル譯デアリマシテ、商業ノ取引上ニ於テハ、餘程是デ便利ヲ得ルコト
ト思ヒマス、又此六條中ノ爲替手形其他ノ各種ノ證券等ガ印紙稅ニ代ヘル
ニ現金ヲ以テ政府ニ納ムルト云フコトノ便法ガ設ケテアッタノデゴザイマ
スガ、ソレヲ更ニ擴メマシテ、此印紙稅法ニアル所ノ印紙證券帳簿悉ク現金
ヲ以テ政府ニ納メテ、サウシテ稅印ノ押捺ヲ受ケル、斯ウ云フコトノ矢張便
利ヲ擴張シタモノデアリマス、此一二ツノモノハ、就モ取引上ノ便宜ヲ擴張セラ
レル趣意デアッテ、一モ非難スル點ガナイ、故ニ委員會ニ於キマシテハ多數ヲ

以テ原案ニ可決致シマシタノデゴザイマス、此段御報告致シマス、尙ホ序ニ星
松三郎君始メカラ提出ニナリマシタ所ノ印紙稅法中ノ改正法律案モ同一委員
ニ付託ニナリマシタノデゴザイマスカラ、序ニ委員會ノ結果ヲ御報告ヲ申上
ゲテ置キマス、星君始メ提出ニナリマシタ所ノハ、爲替手形ノ中ニ一覽拂ノ爲替
手形ト云フモノヲ一ツ加ヘテ、之ヲ印紙稅ヲ一錢ニシヤウト云フ、モウ一ツハ
貯金獎勵ノタメニ貯金ノ預リ證券及通帳ト云フモノ、印紙稅ヲ無稅ニシヤウ
ト云フ、斯ウ云フ趣意ナノデゴザイマス、段々委員會ニ於キマシテ審議ヲ致シ
マシタ結果、一覽拂ノ爲替手形ト云フモノ、印紙稅ヲ一錢トスルコトハ削除
ニナリマシタノデゴザイマス、尤モ是ハ政府委員モ不同意ヲ唱ヘラレタノ
デ、其不同意ノ趣意ト申シマスルノハ、均シク爲替手形デアアルノニ、此一覽拂
ト云フタメニ印紙稅ヲ半減ニスルノ理由ガナイ、斯ウ云フノデゴザイマス、然
ルニ提出サシマシタ方ノ人ノ趣意デハ、一覽拂ト云フモノハ現今各銀行ナド
デ使用シテ居リマス所ノ所謂小切手デゴザイマス、此小切手ト云フモノハ御
承知ノ如ク無稅デゴザイマスカラ、爲替手形ニ代ヘルニ多ク此小切手ヲ皆使
用致シテ居リマス、然ルニ此小切手ト云フモノハ御承知ノ如ク其效用ガ一週
間ニ限ッテ居リマス、故ニ此小切手ヲ爲替手形ニ使用シマシタトキニハ、或ハ
遠隔ノ地方若クハ其他何カ故障ガアッタトキニハ、忽チ此期限ヲ失シシマフ
虞ガアル、此危險ガアルニモ拘ラズ、小切手ハ無稅ナルガ故ニ、爲替手形
ニ代ヘテ居ル、之ヲ使用シテ居ルケレドモ、使用者自身ノ銀行ニ於テモ甚ダ
之ヲ危險ニ思ッテ、成ルタケ爲替手形ノ稅金ヲ安クシテドウカ此小切手ヲ危險
ノ中カラ救出シタイト云フ希望ガアルノデゴザイマス、既ニ此事ハ昨年ノ議
會ニ於キマシテモ、本院ヲ通過シタ位ノコトデアアル、餘程取引上ニ附イテハ便
宜ヲ與ヘルデアラウカラ、是非一覽拂ノ爲替手形ト云フモノ、一項ヲ加ヘタ
イト云フ熱心ナル御辯明デゴザイマシタケレドモ、遂ニ政府ハ右申上ゲマシ
タ通反對ヲシ、尙ホ委員會中ニモ之ヲ一ツニ別ケル必要ハナカラウト云フノデ、
此一覽拂爲替手形ト云フダケハ削除シマシタ、ソレカラ此貯蓄金預金ノ證券
及通帳、是ハ原案者デハ無稅ニシタイト云フノデゴザイマスケレドモ、是レ
亦政府モ同意ヲ致シマセヌデ、是ハ絕對ニ惡ルイコトデハナイケレドモ、貯
蓄銀行ノ條例ニ於テモ、多少將來ニ改正スルノ見込モアリ、早晚或ハ斯ノ如
ク無稅ニデモスルヤウナ機會ニ遭遇スルカモ知レナイケレドモ、先ヅ今日ノ
所デハ之ヲ改正スルノ時機デナイ、斯ウ云フ趣意ヲ以テ反對サレマシタノデ、
委員會ニ於キマシテハ審議ノ末、此貯蓄預金證券及通帳ト云フモノヲ印紙稅ヲ
一錢ト修正ヲ致シテ成立チマシタ譯デアリマス、以上ハ委員會ノ結果デゴ
ザイマス、御報告ヲ申上ゲテ置キマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 此第五ノ日程ノ案デゴザイマスガ、是ハ委員長
ノ報告モアリマシテ、無論今日ノ場合デハ讀會省略位デ通サニヤアナラヌノ
デゴザイマスガ、次ノ案ガ是ハドウセ否決ニナルデアラウ、然ラバ此案ニ多少
修正ガ起ッテ來ルカモ知レナイ、此場合ハ二讀會ヲ開クト云フマデニシテ置

キタイ
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ第二讀會ヲ開クコトハ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 次ハ議事日程第六

六 印紙稅法中改正法律案(星松三郎君 第一讀會ノ續(委員長報告))
外一名提出

○恆松隆慶君(百三十二番) 是ハ委員長カラ修正ノ理由ヲ述ベラレマシタガ何分貯金法ナドハ今日色々著手シテアルコトガ當局者ニモアルノデゴザイマスカラ、先ツ此場合之ヲ修正スルノ必要ハ時期デナイト云フハ、如何ニモ御尤ノヤウニ思ヒマス、是ハ二讀會ヲ開クベカラズト致シタイノデ……
○鈴木撫兵衛君(二百四十二番) 本案ハ矢張二讀會ヲ開イテ、能ク審議討論ヲ盡シタイト思ヒマス、故ニ大體二讀會ヲ開クト云フコトニ……

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ、採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス

○征矢野半彌君(二百四十三番) 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案ニ附キマシテ緊要動議ヲ提出致シマス、此緊要動議ノ趣意ハ議事日程ヲ變更致シマシテ此委員會ノ經過ヲ報告致シマシテ竝ニ本議ニ懸ランコトヲ希望致シマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(百三十二番) 是ハ最モ必要ナ問題デ會期切迫ノ折デアアルシ、唯今征矢野君ガ申ス通此場合議事日程ヲ變更シテ、之ヲ議題ト爲サンコトヲ希望致シマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 今征矢野半彌君カラ議事日程ヲ變更シテ衆議院議員選舉法別表中改正法律案ノ議事ニ直チニ懸リタイト云フ緊急動議ガ出マシタガ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、征矢野半彌君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案(井上角五郎君 第一讀會ノ續(委員長報告))
外十七名提出

○征矢野半彌君(二百四十三番) 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案(井上角五郎君 第一讀會ノ續(委員長報告))

官報號外 明治三十四年三月十五日

衆議院議事速記録第十二號

議事日程變更ノ緊急動議 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案 第一讀會ノ續 確定議 社寺ノ上地林處分法案 第一讀會

舉法別表中改正法律案、此委員會ノ經過結果ヲ御報道致シマス、此委員會ハ本日ヲ以テ開會致シマシテ、委員長ニ不肖某ガ選舉ニナリマシテ、理事ニ伊藤君、ワレカラ小田君此兩君ヲ理事ニ選舉ニナリマシタ、是ハ至ッテ簡單ナ法律デゴザイマシテ(ノウノ)ト呼フ者アリ其理由ハ此理由書ニ書イテアル通ノコトデゴザイマシテ、別段多言ヲ要スルノ必要モ認メヌ位ナ譯デゴザイマス、此案ニ附キマシテハ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシテ、政府モ亦之ニ同意ヲ致シテ居ルデゴザイマス、是ハ諸君モ御案内ノ通ニ衆議院議員選舉法改正ノ當時ニ、不幸ニシテ貴族院ト衆議院トハ意見ヲ異ニ致シマシテ、遂ニ協議會ヲ開クマデニ至リマシタル所ノ、彼ノ市ノ獨立ニ對スル所ノ法案デゴザイマス、故ニ會期切迫ノ今日デゴザイマシテ、直チニ貴族院ノ方ニ回シタイト考ヘマスル故ニ、ドウカ此案ハ讀會ヲ省略致シマシテ、今日直チニ可決セラレンコトヲ希望致スモノデゴザイマス、簡短ナガラ御報告ヲ致シマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ニハ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案 確定議

〔採決ト〕呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ原案通デ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定致シマス、議事日程第七、社寺上地林處分法案第一讀會議案ノ朗讀ヲ省略致シマス出水彌太郎君

七 社寺上地林處分法案(出水彌太郎外六名提出) 第一讀會
社寺ノ上地ニシテ不要存置ニ屬スル森林ノ拂下ハ時價ノ半額以內ヲ以テ其ノ社寺ニ賣拂フコトヲ得

附則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔出水彌太郎君演壇ニ登ル〕

○出水彌太郎君(二百六十五番) 本案ヲ提出致シマスル理由ヲ聊カ述ベマスデゴザイマスガ、諸君モ御承知ノ如ク此案ハ昨年議會ニ於キマシテ、委員會モ本會モ滿場一致デ贊成ヲ得マシタ所ガ、貴族院ノ方デ會期切迫ノタメ遂ニ通過シナカッタト云フコトニナッテ居リマス、今改テ委シク理由ヲ申上ゲマシイデモ、既ニ諸君ニ於テ十分御熟知デアラウト思ヒマス、聊カ御參考マデニ此案ガ通過シマスルトドレダケノ國庫ニ這入リマル金ガ減シマスルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ如ク此不用存置林ノ十年計畫ニ係リマスル總段別ガ、七十四万町歩アリマシテ、其價格ガ二千三百

万圓デアルノデス、所ガ其内此社寺ノ土地ニ關係シマスルモノト云フノハ漸ク一萬八千三百六十九町步デアッテ、其價格ガ三百二十五萬九千八百八十七圓ト云フモノニナルノデ、此内既ニ明治三十二年三年兩年間ニ多少處分ニナリマシタノガアリマスルカラ、若シ之ヲ半額以內デ下附スルト云フコトニナリマシテモ、百五十萬圓マデノ金ガ國庫ニ收入ガ減ルト云フダケノコトデアリマシテ、一方デ其社寺ノ箇所ハ三萬九千九百四十三箇所アリマスル、此中デ十分古社寺ノ資格ノアルモノハ、即チ古社寺保存法ト云フモノデ保護ハナッテ居リマスルガ、免モ角モ日本ノ美觀ト、日本ノ名所舊蹟ヲ保存スルト云フコトニハ、最も必要ナルコトデアラウト思ヒマスルカラ、ドウカ本年モ亦滿場一致ノ御贊成ヲ得マシテ此案ノ通過致シマスルコトヲ願ヒマスルデガス、免モ角モ此案ダケデゴザイマスレバ、昨年ノ例モアリマスルカラ、讀會省略モ願ヒタイデアリマスルガ、之ニ關聯シタ次ニ案ガアリマスルカラ、之ト共ニ委員ニ付託ニシテ十分調査ヲシテ戴キタイト思ヒマス、宜シク御贊成ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(百三十八番) ドウカ委員付託ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 委員九名ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第八存置ヲ要セザル國有林野ノ特賣ニ關スル法律案第一讀會、議案ノ審査ヲ省略致シマス佐治幸平君

第八 存置ヲ要セサル國有林野ノ特賣ニ關スル法律案 第一讀會

(佐治幸平君外六名提出)

存置ヲ要セサル國有林野ニシテ社寺ノ土地若ハ特別ノ緣故ニ依リ其ノ社寺若ハ緣故者ヨリ又ハ町村若ハ公立小學校ヨリ其ノ基本財産トシテ特賣ヲ出願スルトキハ時價ノ半額以內ニ於テ之ヲ特賣スルコトヲ得
前項ニ依リ特賣ヲ受ケタル拂下代價ハ町村又ハ公立小學校ノ基本財産ニ限リ別ニ擔保ヲ供セス十箇年以內ノ年賦上納ヲ許可スルコトヲ得

附則

本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔佐治幸平君演壇ニ登ル〕

〔恆松隆慶君「極テ簡短ニ願ヒマス」ト呼フ〕

○佐治幸平君(二百五十一番) 諸君簡短ニヤレト云フ御注文デゴザイマシタカラ、極ク簡短ニ申上ゲマスガ、本案ハ唯今出水君ガ御説明ニナリマシタノト同一ノ問題ガ加ッテ居リマス、即チ社寺ノ土地ノコト、其外ニ此特別ノ緣故

者ニ拂下ゲルト云フコト、町村又ハ公立小學校ノ基本財産トシテ特賣ヲ出願スル者ニハ、特別ノ便宜ヲ與ヘヤウト云フ法案デアリマス、併ナガラ細カニ申上ゲマス、多少ノ時間モ費スダラウト思ヒマスカラ、何レ是ハ經濟ニモ關係スルコトデゴザイマスカラ、矢張委員付託即チ前法案ト同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○出水彌太郎君(二百六十五番) 質問ガゴザイマス——此案ニ對シテ質問ガゴザイマス、緣故者町村又ハ小學校ヨリ願出デタトキニハ、矢張半額以內デ下ゲルト云フコトニナッテ居ル、所ガ此緣故者ト云フモノト、町村又ハ小學校ト云フモノガ、交一ノ林野ニ向ッテ出願スルトキハ、ドウ云フ方法ヲ以テ處分スルカト云フコトヲ伺ヒタイ、第二ニ此不要存置林野悉ク半額以內ト云フコトニシマスルト、殆ド一千万圓以上ノ金ガ——國庫ノ收入ガ減ル、所ガ明治三十二年法律八十五號ヲ以テ國有林野法ニ依ッテ、十年間ニ國有ノ林野ヲ經營スルト云フ豫算ガ、即チ先刻申シマシタ二千三百萬圓、若シ之ヲ悉ク半額以內ニスルト、之ヲ言ヘバ其經營ト云フモノハ如何ニシテ致シマスルカ、是ガ第二、第三ハ其緣故者ノ範圍ト區畫ガドレマデ及ボスノデアアル、此三點ヲ提出者ニ伺ヒタイ

○佐治幸平君(二百五十一番) ツレダケデゴザイマス、其二點デゴザイマス

○出水彌太郎君(二百六十五番) 三點デス、緣故者ト町村又ハ學校ト交一ノ林野ニ向ッテ出願シタルトキハ、ドノ者ヘ下ゲルト云フノデス、前ノ制度ニ依リマス、サウ云フ場合ハ價格ノ多イ者ニ賣ル、斯ウ云フコトニナッテ居ル所ガ半額以內ト云フコトニナルト云フコトニナルト價格ノ高イ者ニ賣ルト云フ今ノ制度ヲ取ルカ、遂ニ此理由書ニアルガ如クニ、營利者ガ既ニ原價ノ際マデ置カウト云フコトニナッテ、サウシテ此半額以內ニ賣ルト云フ制度ハ行レナイト云フコトニナリハセヌカト云フ嫌ガアルノデス、第二ニハ此半額以內ニスルガタメニ國庫ニ一千万圓以上ノ收入ガ減ズル、ワコデ二千三百萬圓デ、七十四萬町賣タ金ヲ以テ、殘ル國有林野ヲ經營シヤウト云フ大方針ヲ立テ、國有林野法ト云フモノガ極ッテ贊成シテアル、此經營デ一千万圓減ツタナラバ、ドウシテスルカ、又モット賣ッテモスルノカ、或ハ此經營ヲシナイノデアアルカ、況ヤ此町村トツレカラ小學校ヘ下ゲルト云フコトハ、十箇年ト云フコトデアルカラ、尙ホ金ガ足ラナイト云フコトニナル、第三ニハ緣故者ノ範圍ト區劃ヲバドコマデト云フコトヲ伺ヒタイ
○佐治幸平君(二百五十一番) 宜シウゴザイマス、唯今ノ御質問ハ頗ル御議論ニ涉ッテ居ルヤウデゴザイマスガ(出水彌太郎君「議論デハゴザイマセヌ」ト呼フ)實ハツレ等ノ事柄ハ委員會デ十分ニ細カニ何シヤウト思ッタノデゴザイマス、併シサウ云フ御質問ガ出タ以上ハ、御答セザルヲ得マセヌカラ、御答申シマスガ、第一此緣故者ト町村若クハ公立小學校ト併テ出願シタルトキハ、何レニ重キヲ置クカト云フコトニナルト、提出者ノ精神ハ緣故者ニ重キヲ置

クノデゴザイマス、ツレカラ第二ノ林野法ノ經營ニ金ガ不足スルノデアラウ、ツレハドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、其問題ニナリマスト是ハ一般經濟ニ頗ル關係ヲ及シテ來ル問題デ、而シテ此林野改正ノ法ナルモノハ、果シテ全國平均ニ平等ヲ得テ居ルカ、公平ヲ保ツテ居ルカト云フ事柄ハ、議會開會以來既ニ幾度トナク此議會ニ現レタ問題デアツテ、本案ヲ提出シマシタ、第一ノ理由ト云フモノハ、數年討論ノ末、或ハ國有林野ノ下戻法ト爲リ、林野法ト爲テ出テ、サウシテツレ等ノ法律ヲ實施シツ、アル所ノ實況ニ就イテ、此法案ノ如ク特別ノ法案ヲ立テナケレバ、從來緣故ヲ有シテ居ル者其他ノ者ハ非常ニ困難ニ陷ツテ居ルト云フコトヲ見ルニ忍ビヌカラ、出シタノデ、故ニ若シ出水君ノ御心配ノ如ク不要存置林ヲ賣ルカラ、其金ヲ以テ經營スル目的デアルカラ、ツレヲ半額デ賣ツテ金ガ足りナイトキハ、其金ノコトハ又自ラ別ニ計畫スルシカナイコトト思フ、ツレカラ第三ニハ緣故者ト云フ者ハ、ドウ云フモノニ依ルカト云フ御話ニナリマスガ、ツレハ實ハ私ガ申サズトモ御承知デゴザイマセウガ、山野ノ事柄ハ實ニ三百諸侯ノ領地ニ自カラ其制度ガ異ナツテ居リマスノデ、是ト云ウテ茲ニ一々説明スルコトハ頗ル煩雜デアルト思フ、要スルニ是ハ概言シマスルト、從來使用收益ヲシテ居タ所ノ慣行アルモノヲ以テ、緣故者ト認ムト、爰デハ御答シテ宜カラウト思ヒマス、ツレデ願ハクハ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 此案ハ前ノ委員ニ付託ニナランコトヲ希望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ本案ヲ前ノ委員ニ付託スルト云フ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス、議事日程ノ第九、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

九 霜害地方畑地租免除ニ關スル法律案(菅野善 第一讀會)

右衛門君外五名提出

一府縣又ハ數府縣ノ全部若ハ一部ニ互レル霜害ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス
前項ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ罹災後十日内ニ主務官廳ニ申出ツヘシ此ノ期間内ニ申出テサル者ハ免租ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

〔菅野善右衛門演壇ニ登ル〕

○菅野善右衛門君(百八十五番) 爰ニ諸君ノ御訂正ヲ請ハナケレバナラヌコトガアルノデゴザイマス、ツレハ本案ノ標題ト法文ト理由書ノ中ニ「田」ノ一字ヲ落シタノデアリマス、之ヲ加ヘラレンコトヲ望ム、畑ノ上ニ「田」ノ一字ヲ加ヘラレンコトヲ願ヒマス、畑トアルノガ田畑トナルノデゴザイマス、サウ

シテ此案ヲ提出致シマシタル要領ヲ簡短ニ申上ゲテ御參考ニ供シ、併テ御贊同ヲ請ヒタウゴザイマス、之ヲ提出致シマシタ譯ハ、申上グルマデモナク水害ト、旱害ト、蟲害ト、風害等ノタメニ、收穫ガ皆無ニ歸シマシタル田畑ノ地租ヲ免除スルノ法案ト竝ビ行ヒテ、霜ノ害ノタメ無收穫ニ歸シタル田畑ノ地租ヲモ特免致シマシテ、被害人民ヲシテ同一ノ保護ト、同一ノ恩典ニ浴セシメントスルノニ外ナラヌノデゴザイマス、而シテ我國ハ畿内八道八十五箇國中、一面ハ氣候暖カデゴザイマス、又一面ハ沍寒デゴザイマス、氣候暖カノ方ニ向ヒマシテハ、思フニ霜害ト云フヤウナコトモ少イヤウニ承知シテ居リマスデゴザイマスカラ、チト申上ゲヤウト思フデゴザイマスガ、第一山間ノ田地デゴザイマスレバ、稻ノ穂ノ出ヅルコトモ晚レテ居リマスル、中ニ其年ノ氣候ニモ依リマセウガ、俄ニ氣候ガ激變致シマシテ、遂ニ穂ノ實ノ入リマセヌ中ニ霜ガ降りマスルト、忽ニシテ枯レテ白穂ト爲ツテ、無收穫ニ歸スル田畑ガ東北ノ方ヤ何カニ、誠ニ多クアルデゴザイマス、是ハ毎年アル譯デハゴザイマセヌガ、數年ノ間ニ往々アルコトデゴザイマス、スルト隨分非常ナ困難ヲ感ズルノデゴザイマスルノデ、是モ敢テ風害ヤ、蟲害ヤ、旱害ヤ、水害ニ劣ラヌコト、深ク信ジテ疑ヒマセヌノデゴザイマス、ツレカラ其次ニハ過日モチヨット申上ゲタデゴザイマシタガ、桑ノ霜ニ遇ヒマスル模様デゴザイマス、之ヲ申上ゲヤウト思ヒマスルガ、是ハ其桑ノ葉ガ四五枚位附イタ頃ニ、蠶ヲ掃下ロス、蠶ヲ撫下ロスト稱ヘマス、所謂孵化スルト唱ヘマス、卵カラ蠶ガ匍出シマシテカラ、毎日七八回位ニ桑ヲ與ヘテ、七八日位掛ルト一眠ニ就クト稱ヘマス、ツレカラ六七位位ニ眠ニ就クト言ヒマスルガ、此間ニ非常ナ霜ガゴザイマス、青々トシタ所ノ桑ノ葉ガ、丁度火災ニ罹ツテ庭園ノ植木ガ燒ケテシマツテ、黒クナツタヤウニナツテシマフデゴザイマス、サウスルト折角扱ヒマシタ所ノ蠶ヲ、投ゲテシマハネバナラヌノデゴザイマス、ツレヲ投ゲマスルコトハ、實ニ養蠶家ノ困難トスル所デゴザイマス、永年可愛ラシク育テタ子供ヲ死ナセタト、類ヲ同ウスルノデ、家族ハ涙ヲ流シテ捨テル有様ナノデゴザイマス、何ゼ斯クデアルカト言ヘバ、一年ノ生活ハ此養蠶ニ訴ヘテ居ルノデゴザイマスルノニ、霜害ノタメニ——霜ノ害ノタメニ桑ヲ失ヒマスルト與フルコトガ出來ナクナリマシテ、詰リ生活ヲスル所ノ元タル蠶ヲ捨テ、シマフノデゴザイマス、サウスルト遂ニ過日モチヨット申上ゲマシタガ、一年ノ生活ヲ營ミマス資本タル蠶ヲ捨テルデゴザイマスカラ、食フニハ米ガゴザイマセヌ、著ルニ衣裳モナクナル、總テノ租稅ヲ納メルニモ、總テノ資本ガナクナル、サウスルト屋ウテ居ル所ノ人ヲ解イテ歸シタリ、種々難多ノ困難ヲ感ズル有様ナノデゴザイマス、ツレ故ニ往々臨時縣會ナドヲ開キマシテ、之ガ救済策ヲ講ジ、或ハ備荒儲蓄カラ數万ノ金ヲ出シテ、救済スルモゴザイマスルシ、又府縣稅ノ賦課ヲ免シタリ、種々様々ノ救助法ヲ施シテ居ルヤウナ有様ナノデゴザイマス、又或ル人ハ霜害ノタメニ桑ヲ失ヒマシテモ、又桑ガ出ルカラシテ差支アルマイト云フヤウナコトヲ唱フル人モ

ゴザイマシタガ、ワレハ決シテ左様ナ譯デナクテ、成ル程出ルコトハ出マスケレド、詰リ蠶ヲ打棄テ、シマッタ、棄テ、シマツテカラ桑ノ葉ガ出テ來マシテモ、是ハ何トモ仕方ガナイコトデ、丁度六七月ノ頃ハ氷ノ價ナドガアリマスケレドモ、十二月ヤ一月ニ氷ノ價ガナイト其類ヲ同ウスル、不用ノ時ニナツテ僅バカリ出テ來タ所ガ、奈何トモ仕方ガナイ譯ニナル、又或ル人ハ霜ノ害ハ人ノ力ヲ以テ、防グコトガ出來得ルデハナイカト唱ヘル人モアリマスケレドモ、是ハ非常ナ費用ヲ掛ケマシテ、唯今十圓ノ金ヲ得ルニ百圓トカ、二百圓トカヲ費スコトニ致シマシタナラバ、防ギ得ルカ知リマセヌケレドモ、經濟ガ許サナイ所デゴザイマスカラ、到底左様ノコトハ出來ナイ、若シ此霜ノ害ヲシテ人ノ力ヲ防ギ得ルモノトシタナラバ、水害モ、蟲害モ、旱害モ、風害モ、悉ク人ノ力ヲ防ギ得ナイモノハナイノデアルノデゴザイマス、ソレ故ニ風害ヤ、蟲害ヤ、水害、旱害等ト敢テ變ラナイト私ハ思フノデゴザイマス、又霜ノ害ノタメニハ簞笥ノ中ニアル所ノ衣物ヤ、田畑マデモ失ウテシマウ有様ニナルノデゴザイマス、ソレハ何故サウデアルカト申シマスルト、蠶ヲ養ヒマスル資本ヲ借りテ居ル、借りテ準備スル、ソレヲ捨テ、シマフデゴザイマスカラ、詰リ左様ナ結果ガ參リマス、ソレ故ニ其年ハ到底其借財ヲ償フコトガ出來マセヌデ、數年ニ亙ル有様ニナルノデゴザイマス、ソレ故ニ身代ヲ失フモノマデモアルヤウナ譯ニ歸著シテ居ルノデゴザイマス、〔簡短々々〕ト呼フ者アリ〔サウシテ尙ホ私ハ獨リ寒國ニバカリ、此害ガアルト思ッテ居タデゴザイマシタガ、此頃臺灣日々新聞ヲ見ルト、宜蘭中ニ非常ナ霜ガゴザイマシテ、稻苗ヲ害サレテ凡ソ收穫ハ四分位ナリト云フコトガゴザイマス、是ハ豈必シモ寒國ニバカリアル譯デナイト思フノデゴザイマス、願タハ宜シク御贊同アラントヲ望ミマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 是モ委員ニ付託シテ調査アラントヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ十關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(栗原亮 第一讀會)

一君外四名提出

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

第二種五〇五ノ次ニ「五〇五ノ一コブラ」ヲ加フ

附則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○恆松隆慶君(百三十六番) 百三十六番

○議長(片岡健吉君) 恆松君、何デスカ

○恆松隆慶君(百三十六番) 提出者デゴザイマスルデ、チヨット此場合デゴザイマスルデ、提出ノ理由ヲ登壇シテ喋々述ベルコトハ、本員ハ略シヤウト云フノデゴザイマス、此案ハ昨年本院ヲ通過シタ案デアル、詰リ輸入稅ノ一種ヲ二種ニシテ、有稅ヲ免稅ニスル「コブラ」ハ石鹼ノ原料タル椰子油ヲ製スル原料品デアツテ、加工品タル椰子油ト同一ニ、從價一割ノ輸入關稅ヲ課スルノハ、實ニ工業立國ノ方針ニ戻リ、國富ノ増進ヲ阻遏スルモノデ、品質上當然免除スベキモノデアル、政府ニ於テモ是ハ別ニ反對ハナイ、斯ウ云フ場合デゴザイマスカラ、一應委員ニ託シ調査ノ上、成立タンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、是モ九名ノ審査委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ第十一未成年者飲酒禁止法案ノ第二讀會

十一 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外六名提出) 第二讀會

〔出水彌太郎君演壇ニ登ル〕

○出水彌太郎君(二百六十五番) 私ハ此案ニ修正ヲ加ヘタイト思フ、其修正ハ第二條ヲ左ノ如ク改ムルノデス「第二條未成年者タルヲ知リ酒類ヲ飲用セシメタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス」其他ハ原案ノ通、是ハ其過日モ反對者カラ喋々此未成年者ヲ罰スルト云フコトハ、甚ダ宜クナイト云フ議論モアリマシタ、私共モ其感シヲ持ッテ居リマシタカラ、過日ノトキニ此修正ヲ致シタイ積デアツタ、所ガ遂ニ討論終結ノタメニ、修正案提出ト云フコトガ出來ナカッタノデアリマス、唯委シク辯明ヲ致シマスルト、餘程時間モ費ヘテ居リマスカラ、モウ略シマシテ是ダケヲ申シマシタカラ、諸君二十分御分リニナツテ居ルコト、思ヒマス、ドウカ此修正案ニ御贊成ヲ願ヒマス

○望月長夫君(百五十四番) 今ノ修正說ニ附イテ質問ガ致シタイ、是ハ問題ニナツテ居リマスカ

○出水彌太郎君(二百六十五番) 定規ノ贊成ガアリマス

○望月長夫君(百五十四番) 今ノ修正說ニ依ルト、第一條ハ此儘ニ殘シテ置イテ、第二條ノ中デ唯未成年者タルヲ知リ、酒類ヲ飲用セシメタル者ト云フバカリデハ、前條ニ違反シタル者ト云フ文字ハ、無論ナクナリマスカ

○出水彌太郎君(二百六十五番) サウデス

○望月長夫君(百五十四番) サウナルト、第一條ノ未成年者ハ酒類ヲ飲用ス

ルコトヲ得ズトアル、是ハ全ク經文ノ文句ノヤウニナリマス、此法律文トシテ未成年者ハ酒類ヲ飲ムコトハナラナイゾト書イテ、其制裁ハ何處ニアルノデス、是ハ御經ノ文句ニナル、法律デハナイ

○出水彌太郎君(二百六十五番) 飲ムコトハナラナイデ、飲マナイト云フコトヲ示シタノデス

○望月長夫君(百五十四番) サウスルト、御經ノ文句ニナル、法律デハナイ

○丸山嵯峨一郎君(五十五番) 修正ガアリマス、簡單デアリマスカラ此處デ、一體此案ノ精神ニ於テハ、大ニ贊同ヲ表シテ居リマスガ、其第一條ニ於テ尙ホ斯様ノ修正ヲ加ヘタイ、即チ「未成年者ハ公然ノ場所ニ於テ」ト云フ「未成年者ハ」ト云フ下ニ、八字ヲ挿入シタイ、其趣意ハ斯様ナ法律ヲ以テ人ノ秘密ノコトニマデ立入ルト云フノハ、由々シキ大事ガ起ラウト思フ、ツレデアアルカラ、成ルベク斯様ノ事柄ハ區域ヲ狹クシテ、又監督ノ行届クダケノ程度ニ於テ規定スルノガ、法律トシテモ宜シイ、此實行ノ上ニ於テモ、頗ル面白イデアリマスカラ、公然ノ場所ニ於テト云フ八字ヲ挿入シタイト云フ意見デアリマス、尙ホ其公然ノ場所ト云フ意味ハ、例ヘバ路傍、花見、遊山ト云フ位ニシテ置キタイト云フ精神デアリマス、若シ左様デナケレバ、此法律ヲ實行スル場合ニ於テ、其次ノ條文ニ於テ吉凶云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ何ノ意味デアルカ分リマセヌケレドモ、免モ角人ガ悲シイトカ悦バシイトカ云フ時分ノ禮式デアラウト思フ、其時分ニ於テ酒ヲ飲ムコトハ、之ヲ禁シナイデ、其他ノ場所ハ之ヲ禁ズルト云フコトニナリマスルト云フト、執行ノ上ニ於テ更ニ其區別ガ附カヌ、事ニ依レバ吉禮ヲ行ヒ、或ハ凶禮ヲ行フ場所ニ、巡査ガ踏込シテ、犯罪人ヲ縛ッテ送ルト云フヤウナ紛擾ガ起ルカモ知レナイ、第一ニ此法律ヲ執行シヤウト云フコトニナルト、例ヘバ彼ノ密賣淫トカ、或ハ賭博犯ヲ捜査ノタメニハ、行政執行法ト云フモノガ出來テ居ルガ、此事柄ニ附イテハ行政執行法ト云フモノガナイカラシテ、此儘ニ執行スルコトニナリマスルト、執行ガ出來ナイコトニナリマス、若シ之ヲ強テ執行シテ、此法律ヲ實效アラシメヤウトスレバ、即チ憲法問題ガ生ジテ參リマス、何ニ依ッテ家宅侵入ヲ許スト云フコトガ生ジテ來マスカラ、非常ニ大問題ガ生ジテ來マスデアリマスカラシテ、提出ノ精神ニハ贊成ヲ表シテ居リマスルケレドモ、公然ノ場所ニ於テト云フ、極區域ノ狹イコトニ限ラヌデハ、遂ニ我帝國ノ法律ノ疵ト爲リ、又憲法ノ上ニ於テ非常ナル汚瀆ヲ印スルコトニナリマスカラ、願ハクハ「公然ノ場所ニ於テ」ト云フ八字ヲ入レタイト云フノガ、私ノ意見デアリマス、御贊成ヲ願ヒタイ

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガナイト認メマス

○丸山嵯峨一郎君(五十五番) 然ラバ反對ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 第一條カラ決ヲ採リマス、是ニハ修正說ガ出マセヌカラ、原案ニ附イテ御異議ハアリマセヌカ

(「反對」贊成ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 反對ガアリマスレバ、採決ヲ致シマスル、原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、次ハ第二條ノ修正說ニ附イテ採決ヲ致シマス、出水彌太郎君ノ修正ニ附イテ採決ヲ致シマスガ、チヨット朗讀ヲ致サセマス

(書記朗讀)

第二條中左ノ如ク改ム

第二條未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長(片岡健吉君) 出水彌太郎君ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正說ニ附イテ採決ヲ致シマス、委員會ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、委員會ノ修正通ニ決シマス、附則ノ方ハ原案ノ通御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

○根本正君(二百二十二番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ又「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 贊成ガアリマスカラ採決ヲ致シマス、直チニ三讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、日程ノ第十二ハ、提出者ヨリ議事ヲ延シテ吳レト云フ申出ガアリマスカラ、延シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマセヌカラ延スコトニ致シマス、次ハ議事日程第十三利根川修築ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

十三 利根川修築ニ關スル建議案(鈴木儀左衛門君提出)

第一期利根川修築工事ハ目下著手中ニシテ其ノ工事施工區域ハ佐原ヨリ銚子間ニ涉ルト雖其ノ工事ノ主タル箇所ハ津ノ宮輕野大倉附近ニ於テ河幅ヲ擴ケ泥沙ヲ浚渫シ河心ヲ一定スルニ在ルヲ以テ其ノ下流銚子河口ニ於ケル排水完カラス而シテ該河口カ從來鹿島灘ヨリ壓迫シ來レル土砂ハ今ヤ積ムテ堤防ト爲リ河水ハ之カ爲ニ淹滞スルノミナラス干潮時ト雖屢逆流スルコトアリ是ヲ以テ利根治水ノ完成ヲ期セムニハ嘗テ幕府カ企工シ未タ成ラサル所ノ銚子町ヨリ南方名洗浦ニ達スル距里二十餘丁ノ土地ヲ掘割シ此ノ淹

流ヲ疏スルニ在リ否ラサレハ其ノ上流ニ於テ如何ニ工事ヲ施スモ其ノ功績ヲ見ル克ハサルヘシ又進テ第二期ノ工事ヲ爲サムニハ印旆沼ヲ開鑿シテ東京灣ニ通シ本川ノ排水口ヲ増設スルニ非サレハ以テ洪水量ヲ減少スルコト克ハサルヘシ是曩ニ千葉縣廳カ一縣ノ力ヲ以テシテ尙克ク數萬金ヲ投シ測量ニ從事シタル所以ナリ故ニ政府ハ名洗浦掘割工事ヲ第一期ノ最先トシ又相當ノ調査ヲ遂ケ第二期ノ工事トシテ印旆沼ヲ開鑿シ以テ利根治水ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(鈴木儀左衛門君演壇ニ登ル)

○鈴木儀左衛門君(二十四番) 本案ハ唯一ツノ利根川ト云フ一問題ニ過ギマセヌケレドモ、其利害ノ關係スル所ハ關東八州ニ亙ルコトデゴザイマス、頗ル其休戚ノ大ナルモノデゴザイマシテ、諸君ノ御承知ノ通、利根川ハ近來非常ニ荒レテ參リマシテ、其沿岸ノ民ハ非常ナル害ヲ受ケツ、アルノデゴザイマス、是ヲ以テ昨十四議會ニ於テ追加豫算ヲ以テ、サウシテ利根川ノ河身改修ニ著手スルコトニナリマシテゴザイマス、其計畫タル頗ル大ニ致シマシテ、之ヲ三期ニ分チマシテ、サウ第一期ニハ六百何十萬ト云フ金ヲ投シテ、此工事ヲ五箇年ニシテ、其工事ノ場所ト云フモノハ、極利根川ノ下ノ方カラ工事ヲ施スコトニナリマシテ、現今測量ヲ了リマシテ、實地ノ工事ニ著手セントスルノ場合ニ立至ッテ居リマスノデゴザイマスガ、其工事ノ爲シ方ガ我輩ノ見ル所ト、政府ノ爲ス所ト、少シク趣ヲ異ニシテ居リマス、此ヲ以テ此建議ノ已ムヲ得ザルノ場合ニ立至ッテデゴザイマス、利根川ハ至ッテ長イ流域ヲ持ッテ居リマス川デゴザイマス、四十有餘里ニ亙ッテ居リマス、其中ノ裾ノ方、即チ下流ノ方十里ノ所ヲ割ッテ、第一ノ工事ニ取掛ルト云フコトデゴザイマス、即チ下總國佐原町ヨリ銚子町ニ達スル、十里ノ河身ヲ改修スルト云フコトデゴザイマス、デ此十里ノ箇所ハ至ッテ其利根ノ水流ノ高低ノナイ所デ、サウシテ潮ノ満ツルトキニハ、此十里ヲ溯ルト云フヤウナ、平生ノ有様ニナッテ居ルノデス、ソレデゴザイマスカラ、此利根川ノ吐口タル銚子ノ河口ハ、餘程必要ナ場所ニナッテ居ル、此河口ニ於テ少シク障害ガアルトキニハ、即チ利根ノ下流ト云フモノハ、水ガ淹滞致シマシテ流レナイ、潮ガ干ルトキニモ流レルコトハ出來ナイ、今日ノ現況ハ即チ其通デアアルノデス、潮ノ干ルトキニモ流レナイ、ソレデ諸君ノ御承知ノ通、利根川ハ下流ハ東南ノ方ニ向イテ流レテ居リマシテ、河口ノ方デ東北ニ向ッテ居ルノデゴザイマスガ、其東北ノ方ヘ一大沙ノ堤防ガ出來テ居リマシテ、現今ニ至ッテハ此堤防ヲ越シテ、東北ノ風ガ少シク荒ムトキニハ、潮ガドン／＼突上ゲテ參リマシテ、十里モ河上マデ潮ガ流上ルト云フヤウナ現況ニナッテ居ルノデス、此河口ヲ治メナケレバ第一期ノ工事ト云フモノハ、サノミ效能ガナカラウト思フノデス、ソレデ第一期ノ工事費ト云フモノハ、御承知ノ通六百餘萬圓ノ金ノ掛ルコトデゴザイマシテ、其金額ハ頗ル大ナルモノデゴザイマスガ、其河口ニ政

府ノ爲スガ如クニ治メシテ、其上バカリ治メテ居ッテハ效能ガナイ、ソレ故ニ私ノ考デハ其河口ヲ修メント致シテモ、自然ノ勢到底之ヲ人力ヲ以テ治メ得ルコトハ出來マセヌ、故ニ其南方ニ更ニ一川ヲ鑿チマシテ、サウシテ下流ノ淹滞ヲ、南分ニ注ガムトスルノ建議案デゴザイマス、サウスレバ金ガ澤山掛ルダラウト云フ、諸君ノ御懸念モゴザイマセウケレドモ、是レハ工事ノ遺線ヲ致シマスレバ、金ハ増サナクトモ、其下流ヲ掘割ルコトハ出來ルノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、此建議案ガ通過致シマシテモ、別ニ新ナル費額ヲ政府ニ於テ要求シナクトモ、六百何十萬ト云フ金ガ議シテゴザイマスカラ、其金ヲ以テ工事ヲ仕遂ゲルコトガ出來ル、其金ヲ以テ前ノ設計ヲ少シク變ヘテ下サレタナラバ、其功績ハ大ナルモノデゴザイマセウ、然レドモ今政府ニ於テ出サムトシツ、アル計畫ニ於テハ、效能ガ悲シイ哉金ノ掛ル割合デハ、不足シテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、此建議案ヲ提出シタノデゴザイマス、願ハクハ是ニ御贊同下サレマシテ、六百何十萬ト云フノ第一期工事費ノ、金ヲ費シタダケノ效能ノアルヤウナコトニ、御贊成下サレンコトヲ、偏ニ希望致シマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 是ハ委員付託ニナランコトヲ望ミマス、金ガイラスト云ッテモ、設計ニ係ルコトデアリマスカラ、委員ニ付託願イマス

(政府委員內務省土木局長田邊輝實君演壇ニ登ル)

○政府委員(田邊輝實君) 此本建議案デゴザイマスガ、是ハ唯今提出者カラシテ希望ヲ述ベマシテゴザイマスガ、全體此利根川ノ改修ノコトニ附キマシテハ、唯今內務省ニ於テ目論見マシテ、著手シテ居リマス所デハ、當時ノ銚子ノ入口ニ於キマシテハ、改修ヲ致シマスダケノ水ハ、十分吐キ得ルコトガ出來ルト云フ計算カラシテ、處分ヲシテ居リマスノデゴザイマス、唯今計畫ヲシテ居リマス所ノ金高ヲ以テ、此新ナル河川ヲ掘割ルト云フコトガ出來ルヤ否ヤハ、甚ダ覺束ナク思フノデアリマス、ソレカラ之ヲ必ズ掘割リマスノガ必要デアルカト云フコトモ分ラナイ、就キマシテハドウゾ此建議案ニハ、委細ニ內務省ノ計畫ヲ能ク御話ヲシタ上ニ、御決議ニナル方ガ御便利デアラウト思ヒマスカラ、委員付託ニナッテ尙ホ研究スルヤウニ希望ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ委員付託ノ説ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 此委員ハ、九名ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ十四中等學校教員養成ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、安藤龜太郎君

十四

中等學校教員養成ニ關スル建議案(安藤龜太郎君外一名提出)

中等學校教員ノ闕乏ハ近年非常ノ大數ニ達シ爲ニ教育ノ發達ヲ害スルノミ

ナラス施テ國家ノ進運ニ障礙ヲ與フルモノ少カラス故ニ政府ハ速ニ中等學校教員養成ノ機關ヲ完備シ且適當ノ方法ヲ設ケテ教員補充ノ目的ヲ達セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(安藤龜太郎君演壇ニ登ル)

○安藤龜太郎君(二百七十三番) 諸君、諸君、私ハ中等學校教員養成ニ關スル建議案ヲ出シテ置キマシタガ、此理由ヲ簡短ニ述ベマス、此中等學校ノ教員ハ年々歳々不足ヲ告ゲマシテ、殆ド最近ノ統計表デ見マシテモ、三十一年ニハ教員總數ノ中三千七百三十九人中、無資格者ガ四千四百六十五人トナッテ居リマス、而シテ三十二年ニハ總員四千三百五十一人中、千七百三十五人無資格者ガアリマス、三十三年ニハ總員四千九百八十二人中、無資格者ハ二千九百九十八人、此結果實ニ二千二百餘人ノ不足ヲ告ゲテ居ルコトニナッテ居リマス、故ニ此補充ヲ必ズセヌケレバナラス、而シテ此補充ノ方法ハ、今ヤ廣島ノ高等師範學校ナドハ、非常ニ緩慢ナ設計ニナッテ居ル、即チ四十一年度デナケレバ、此生徒ヲ養成スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナッテ居ルカラシテ、是ナドハ設計ヲモウ少シ早メテ、即チ三十五年度、或ハ三十六年カラ致シマスレバ、教員ノ養成スル途モ立チマスルシ、其他高等師範學校等ニ詰リ選科生デモ置キマスレバ、十分此方法デ立チマスルコトデアリマスカラシテ、政府ハ之ニ對シテ十分ナ計畫ヲ立テ、速ニ教員補充ノ途ヲ立テラレンコトヲ、私ハ希望致スノデアリマス、併テ大學ノ設備ノ急ナルコトハ私ガ申スマデモゴザイマセヌガ、從ッテ是モ教員ノ養成ヲシマスルタメニ、共ニ最モ必要ノコトデアリマセウト思ヒマスカラ、聊カ其點モ附言シテ置キマス、而シテ其詳細ノコトハ之ヲ取調ベタモノガゴザリマスカラ、是ハ速記ニ托シテ諸君ノ御覽ニ供サウト思ヒマス、デ先ヅ此案ニ附イテハ委員付託ニナッテ、十分御審議アラシコトヲ偏ニ希望致シマス

○恆松隆慶君(二百三十六番) 是モ委員付託ニナランコトヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ十五國費ヲ以テ小學校用教科書ヲ編纂スルノ建議案

十五 國費ヲ以テ小學校用教科書ヲ編纂スルノ (委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 星松三郎君外一名提出

星松三郎君

○工藤行幹君(六十六番) 唯今委員會ノ結果ヲ報道致シマス

○議長(片岡健吉君) 委員長ノ報告デアリマスカ

○工藤行幹君(六十六番) サウデス
○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(六十六番) 私ハ唯今ノ案ノ委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、此委員會ハ二月二十一日ニ委員長理事ノ互選ヲ致シマシテ、私ガ委員長ニナリマシタコトデゴザイマス、同ジク二十五日ニ會議ヲ開キマシタガ、其時ニハ文部省カラハ即チ普通學務局長ノ澤柳政太郎君ト、ワレカラ文部ノ書記官ノ寺田勇吉君ガ出ラレマシタ、段々當局者ノ意見ヲ聽イテ見ルニ、此事ニハ毫モ反對ガナイト云フ譯デゴザイマス、唯タ之ガタメニ多少ノ費用ヲ要スル、此費用ハ大藏省デ果シテ協賛スルヤ否ヤト云フコトハ、分ラヌト云フコトデゴザイマス、然ルニ此費用ト云フモノハ、ドノ位掛ルカ、今當局者デナケレバ確トハ分リマセヌケレドモ、既ニ此小學校ノ修身教科書ヲ國費ニスルト云フコトニ附イテ、貴族院ノ建議ガ通過致シマシテ、目下文部省デ之ニ取掛ッテ居ル、而シテ其編纂費ハドレダケイルカト思フト、凡ソ一万四千圓バカリノ費用デヤッテ居ルデゴザイマスカラ、此教科書ハワレヨリハ修身書ト違ヒマシテ、モット數ガ多ウゴザイマスニ附イテ、若シ之ヲ三倍ト見タ所ガ三万—四万圓ニ足ラヌ位ノ費用デアリマスカラシテ、敢テ政府デモ之ヲヤリ切レヌト云フヤウナ、巨額ノモノデナイカラシテ、強テ大藏省ノ意見ヲ叩カナイデモ直チニ決シタラ宜カラウト云フコトデゴザイマシテ、直チニ即日ノ中ニ、是ハ滿場ノ一致ヲ以テ議決シタノデゴザイマス、ワコデ斯ク滿場ノ一致ヲ以テ議決シタリマシタ以上ハ、本會ニ於テモ御贊同ノコトダラウト思ヒマスカラ、何モ餘リ詳シクハ述ベタクナイノデゴザイマスガ、唯一應申上ゲテ置キタイコトハ、此事ハ隨分早イカラ、文部省ノ論ガアルケレドモ、餘程文部省デ困難シテ居ルト云フ事情デゴザイマス、果シテ之ヲヤラウト思ヘバ、當局者ハ餘程決心ヲ以テヤッテ吳レナクチャ往カレナイノデアアル、此事情ヲ一通リ御話シ申シテ見ルト云フト、一ノ論ニハ或ハ文部省デ此教科書ノ編成ヲヤッタトキニハ、他ニ競争者ガナイニ附イテ、完全ナル教科書ハ出來ナイカト云フヤウナ一ノ憂ガアル、學者間デ互ニ競争シテヤッタトキハ、其イ物が出來ル、ソレヲ文部省ガ競争ナシニヤッタトキニハ、ソレニ劣ッタ物が出來ハセヌカト云フ一ノ心配ガアル、ソレニ對シテ委員會ノ協議ハ、ソレハ決シテサウデナイ、既ニ文部省ノ許可ヲ得テヤルモノデゴザイマス、文部省ハ必ズ又自ラ之ヲヤラズシテ、或ハ懸賞問題或ハ學者ニソレ相當ノ報酬ヲ與ヘテ、サウシテ完全ナル物ヲ調ベルト云フコトハ、決シテ不完全ナル物ノ出來ル憂ハナイ、況ヤ北海道或ハ沖繩縣ナドノ教科書ハ、皆文部省デ編纂シテ之ヲ一同ニヤラセテ居ルニ、却テ全國ニ行レテ居ル所ノ教科書ヨリハ、優等ノ位置ヲ占メテ居ルヤウナコトデアアル、殊ニ又小學校ノ生徒ハ多クマダ幼年ノ者デアリマスカラシテサウ其教科書ノ一字一句ヲ以テ、大ニ學問上ノ利害ニ關スルト云フコトハナイ、而シテ之ヲ國費ニシタイト云フモノハ、是ニ附イテノ害ト云フモノガ非

常ニアルコトハ、諸君モ御承知ノ通デアル、殆ドマア賄賂ヲ取ツタカ取ツテナ
イカ、其事ハ摺イテモ、教科書ノ此審查會ノアル度毎ニ、醜聞百出、從ツテ學政
上ノ風紀ヲ墜スノデアル、果シテ取ツタカ取ラナイイカハ知ラナイケレドモ、各
新聞ガ器々ト書クヤウナコトニナレバ、此學事上ノ腐敗ヲ來スト云フコトハ
掩フベカラザル事實ニナツテ居ル、現ニ本年ナドハ我青森縣アタリデモ、聞ク
所ニ據レバ審查會員ト云フ者ハ、縣廳ニ留置イテ、其會議中ハ縣知事モ人ニ餘
リ會ハナイ、他ノ用ガアツテモ會ハナイ、又書記官ナドモ會ハナイ、サウシテ審
査會員ハ悉ク縣廳ニ寢起キヲシテ、賄ヲシテヤツタト云フ、囚人同様拘留セラ
レテ居ルト云フヤウナコトデアル、此一事ヲ以テ堂堂タル中學校ノ校長トカ、
師範學校ノ校長トカ云フ者ハ、囚人同様ニ身ヲ扼セラレテヤラナクチャナラ
ヌト云フハ、既ニ此弊害ノアルト云フ一ツノ證據デアル、又事實ハモウ一ツ
先年ニ遡テ見ルト云フト、新潟縣此審查會ヲヤツタトキニ、矢張賄賂ノ嫌
ヲ避ケルタメニ、彌彦山ヘ悉ク巡查ガ護送シテ、彌彦山ノ誰モ來ナイ所ヘ持ッ
テ往ツテ、サウシテ會議ヲ開イタト云フコトハ、事實上弊害ガアルモノデゴザ
イマヌルカラ、其弊害ヲ避ケントスルガタメニ、斯ノ如ク無理ナル手數ヲ執
ランケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ居ル、其上ニモウ一ツノ論者カラ
云フト、或ハ書肆即チ民間ノ業務ヲ、政府ガ奪フト云フコトニナリハシナイ
カト云フ掛念ガアルデゴザイマス、然レドモ是ハ委員會ノ見込デハ、決シテ
民間ノ業務ヲ奪フモノデナイ、若シ奪フニ當ツタ所ガ仕方ガナイモノデアル、
何ゼナレバ小學校ノ教育ハ即チ國家教育、義務教育、國家ガ費用ヲ出シテ、
教育シナケレバナラヌモノデゴザイマスカラ、ツレニ要スル所ノ書籍ハ成ル
ダケ安クシテ、成ルダケ便利ニシテヤルト云フコトハ、國家ノ義務デアルノ
デゴザイマス、既ニ此國家ハ之ヲ保護スルタメニ、昨年モ法律ヲ出シテ、願
ハクハ授業料ハ取ルマイト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、授業料モ何
モ無シニ、之ヲ教育シタイト云フ位ノ精神デアレバ、況ヤ此本ナドハ成リ得ル
限安イ値段ヲ以テ之ヲ生徒ニ與ヘタイト云フコトハ當リ前デアル、或ル西洋
各國ナドハ、或ハ石盤、或ハ鉛筆、或ハ本ナドハ官カラ之ヲ供給シテ、學事ヲ
勘メテ居ルト云フ位ノコトデアル、然ルニ今此文部省ノ調ニ依リマスルト、凡
ソ全國小學校ノ生徒ト云フモノハ四百萬人アル、之ヲ平均一人六十錢トシテ
モ凡ソ二百四十萬圓ノ金ニナル、之ヲ書肆ガヤツタトキニハ多少ノ儲ガナ
クチャナルマイ、況ヤ誰ガ取ツタカ、誰ガヤツタカ知ラヌケレドモ、多少書肆
ガ各所ニ人ヲ出シテ、旅費ヲ掛ケテサウシテ手代番頭ナドハ、遣ハナイ金ヲ
遣カツタト云フカモ知レナイ、大キナ金ヲ費スモノデゴザイマスカラ、恐ラク
ハ二割以上ノ利益ヲ占メナケレバナラヌト云フコトニナツテ其二割以上ノ利
益ヲ占メル者ハ、誰ガ支辨スルカト云フト、小學ノ生徒ガ之ヲ拂ハンケレバ
ナラヌト云フ譯合ニナルノデアリマス、故ニ縱令民間ノ業務ト雖モ、斯ノ如
ク國家ノ負擔スベキ教育ニ費スモノデゴザイマスレバ、是ヲ國家デ保護シ
テ成ルタカ安クヤラセルト云フコトハ、當然ノコトデアル、又當局者ニ聞イ

テ見ルト、隨分此書肆ナドニヤラセテ置クト云フト、既ニ專賣權ヲ得タト云
フトキニハ、段々紙質ガ惡ルクナリ版ガ惡ルクナル、何ゼカト云ヘバ得ルマ
デ見本ヲ出シテ置イテ、大變良イ本ヲ賣ツテ居ルケレドモ、最早我專賣ト云
フコトニナルト、敢テ惡意モアルマイケレドモ、誰シモ多ク儲ケタイカラ最早
競爭ノ必要ガ無クナルニ附イテ、紙ノ性質ヲ惡ルクシタリ本ヲ惡ルクシタリ、
ツレガタメニ生徒ハ大ニ不便ヲ來スト云フコトデアル、或ハ賣買上ニモ又困
ル、既ニ自分ノ專賣ヲ得テシマフト一時ニ本ヲドント拵ヘテ、全國ニ回シ
テシマフト、大變都合ガ好イケレドモ、凡ソ商賣上トシテ、サウ一時ニヤル
ト云フト、從ツテ職工カラ其他ノ費用ガ掛ルカラ、成ルタケ順次ニヤルタメニ
免角各地方ニ於テ求メタクトモ求ムルコトガ出來ナクツテ、往々不便ヲ感ジテ
居ルト云フコトハ、實際當局者ニ於テモ認メテ居ルト云フコトデゴザイマ
ス、或ハ文部省デモ此弊害ヲ改メタイト云フコトデ、府縣會カラ或ハ審查委
員ヲ置キ、或ハ小學ノ教員カラ置イタ所デハ、免角弊ガアルカラ、之ハ止メ
テシマツテ、サウシテ中學校長トカ、師範學校長ニ變ツテ見タケレドモ、尙ホ
本年ノ調査會ノ弊ガ未ダ全ク脱却シタト云フ譯ニ往カナイ、故ニ生徒デ學校
ト云フモノハ多ク風紀ヲ良クシテ、小サイカラ養成シナケレバナラヌ所ヘ、
此學校ノ本ノタメニ此ノ如キ弊害ノ百出スルト云フコトハ、國家ノタメニ甚
ダ憂フベキコトデアル、就イテハ多少費用ガ掛ツテモ、文部省ニ於テハ敢テ
ツレヲ以テ悉ク自分ノ手デ調製シナクテモ、版權サヘ得レバツレヲ以テ各書
肆ニ印刷サセテセラセテモ、此マデヨリ一層ノ便利ヲ得、又是マデノ弊害ヲ
削除スルト云フ當局者ノ見込デモアリ、委員會デモ亦其見込ヲ以テ、此案ノ
可決致シタコトデゴザイマス、ドウゾ滿場諸君、御賛成アラントコトヲ偏ニ希
望致シマス

○西原清東君(二十九番) 本案ヲ假ニ實行スルトシマシタトキニハ、現行法
ニ於テ著作ヲシテ檢定セラレタ教科書ヲ、自由ニ全國ノ小學校デ使用スルコ
トガ出來ナイト云フコトニナル、詰リ是マデノ民間ノ著作權ヲ持ツテ居ル所
ノ、其書籍ガ無價値ノモノニナル、ツレヲ其儘ニシテ置クト云フ御考案デア
リマスカ、或ハ相當ノ賠償ヲ與ヘテ買上ゲルト云フ御考デアリマスカ、其方法
ニ附イテ御意見ノアル所ヲ伺ヒ度ゴザイマス

○工藤行幹君(六十六番) 此方法ニ附イテハ、更ニ拵ヘタモノヲ賣出ス方法
ニ附イテハ色々アル、サウデスガ、ソレハ御質問外デアリマスカラ、御答致
シマセヌ、既ニ版權ヲ得タモノヲ買フカ買ハヌカト云フ御質問ノヤウデス
ガ、是ハ買ハナイ、敢テ之ヲ禁止スルニモ至ラヌ、御存ジノ通、教科書ハ四
年ニ一遍審查會ヲ開イテ、改良シテ往クノデゴザイマス、今既ニ其許可ヲ得
テ居ルモノハ、此四年ノ間ニ賣買シテ居ツテ、四年後ニ至ツテ又新シキモノヲ
拵ヘテ、文部省ノ檢定ヲ受ケテ出シテ往カナケレバナラヌ、前ノモノハ全ク
絶對的ニナクナリハシナイケレドモ、ツレデ文部省ガ拵ヘルト云ツテモ、今直
グニ出來ルモノデアリマセヌ、矢張四年ノ日月ノ間ハ檢定シテ出シテ、ソレ

テ各書肆が出シテ來ルモノガアツテ、出シテ見タ所ガ文部省ハ何モ儲ケルノ
デアリマセヌカラ、是ガ勝手ニヤラセテモ聊カ害ガナイトスレバ、民間デハ
敢テ直チニ持ツテ居タモノヲ、直グニ禁止サレト損害ニナルカラ、之ヲ買
ハナケレバナラヌガ、此四年ノ間ハ勝手ニ賣ラセル、新ニ出レバ各學校デ比
較シテ買キ安イ方ヲ買フノデアリマスカラ、自然ノ結果ニナルカラ、買上ゲ
ル賠償スルト云フ譯デナイノデアリマス
○重野謙次郎君(九十三番) 定數ガナイト思フ、此事ハ詰リ一次會二次會ト
以テ區別ガアリマスノデアリマスカラ、餘程關係ガ重大ナコトデアルト思
フ、定數モアリマセヌカラ、今日ハ是デ散會致シタイト思ヒマス
〔贊成々々〕ノ聲起ル
○議長(片岡健吉君) 定足數ガナイサウデアリマスカラ、議事ヲ止メテ是ヨ
リ報告ヲ致シマス

〔書記朗讀〕

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

家祿處分ニ關スル建議案

提出者 佐藤 清君 菅原 傳君 佐藤 琢治君

提出者 佐藤 幸平君 堀家 虎造君

山形縣下郡界變更法律案

提出者 重野 謙次郎君 戸狩 權之助君 山下 千代雄君

提出者 阿部 孫左衛門君

鐵道敷設法中改正法律案

提出者 高岡 忠郷君 佐藤 伊助君 秋保 親兼君

提出者 須藤 善一郎君

名和昆蟲研究所ニ交付スヘキ國庫補助金追加豫算ノ提出ニ關スル建議案

提出者 稻垣 示君 石井 鼎君 早川 龍介君

提出者 堀尾 茂助君 恆松 隆慶君

狩獵法改正法律案

提出者 堀越 寛介君

下總國舊牧開墾地ニ關スル建議案

提出者 高津 雅雄君 大須賀庸之助君 布施 甚七君

提出者 四宮 有信君 大塚 常次郎君 鈴木 儀左衛門君

委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

北海道會法案外二件

委員長 石田 貫之助君 理事 佐藤 琢治君

内務省所管藏出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律

案

委員長 山本 幸彦君 理事 高岡 忠郷君

事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案

委員長 瀧口 歸一君 理事 武市 庫太君

北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案

菊地 九郎君 阿部 興人君 岩瀬 武司君

石谷 董九郎君 林 元 俊君 大塚 常次郎君

熊代 謙三郎君 井上 彦左衛門君 畠山 雄三君

明治三十三年勅令第二百九十四號(承諾ヲ求ムル件)

原田 赴城君 三輪 潤太郎君 島田 三郎君

井上 信八君 武弘 宜路君 高須 賀 穰君

本間 直君 中島 祐八君 星野 甚右衛門君

社寺上地林處分法案外一件

森川 六右衛門君 天野 若圓君 出水 彌太郎君

小林 乾一郎君 高橋 九郎君 大須賀庸之助君

阿部 孫左衛門君

霜害地方畑地租免除ニ關スル法律案

室 孝次郎君 中村 彌六君 橋本 久太郎君

丸山 嵯峨一郎君 永井 嘉六郎君 藤 金 作君

串本 康三君 菅野 善右衛門君 秋山 元 藏君

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

江角 千代次郎君 藤野 辰次郎君 村瀬 庫次君

栗原 亮一君 門脇 重雄君 中田 彌平君

利根川修築ニ關スル建議案

鈴木 忠兵衛君 大隈 英 賢君 田邊 爲三郎君

清水 靜十郎君 久米 民之助君 鈴木 儀左衛門君

有馬 要介君 西川 宇吉郎君 田中 喜太郎君

中等學校教員養成ニ關スル建議案

堀尾 茂助君 堀越 寛介君 木村 格之輔君

山田 順一君 安部 井 磐根君 安藤 龜太郎君

堀尾 茂助君 高津 雅雄君 石井 鼎君

津野 常君 星 松三郎君 吉田 源八君

○議長(片岡健吉君) 明後十六日ハ會議ヲ開キマスガ、議事日程ハ公報ヲ以

テ御通知ヲスルコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後四時三十三分散會

